

Forum on



2004

Information Technology

第3回情報科学技術フォーラム

プログラム

会場案内図・交通案内図	1
バス時刻表	4
キャンパス図	5
プログラム概要	10
講演論文集の内容	14
FIT委員名簿	15
イベント企画の御案内	16
イベント企画講演概要	21
一般講演プログラム	50

平成16年9月7日(火)~9日(木)
同志社大学京田辺キャンパス(京都府京田辺市多々羅都谷1-3)

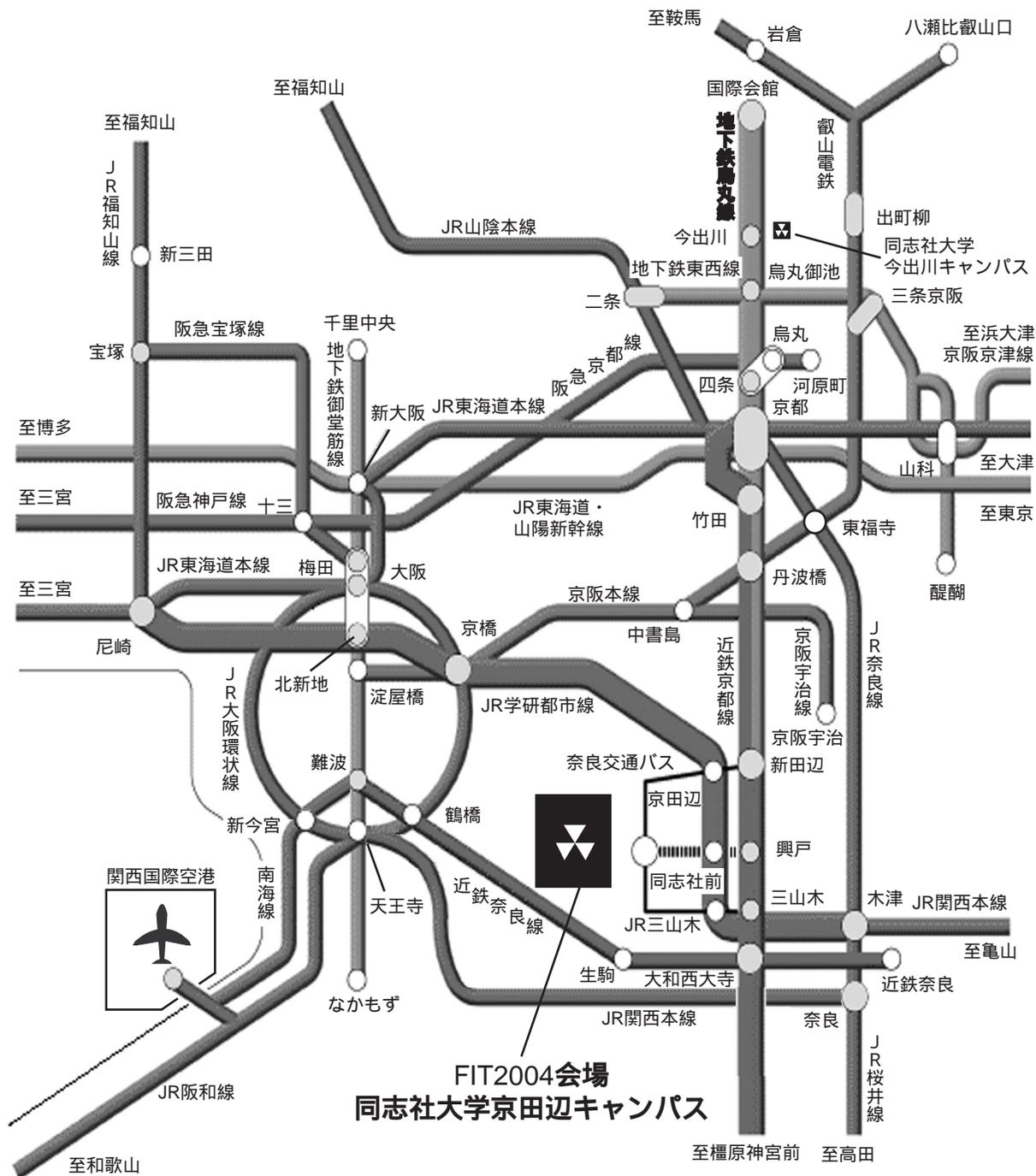
懇親会 9月8日(水) 18:00より
紫苑館 1F 食堂(会場キャンパス内)

FIT2004本部 恵道館2F KD204教室
電話:(0774)65-7478 FAX:(0774)65-7479

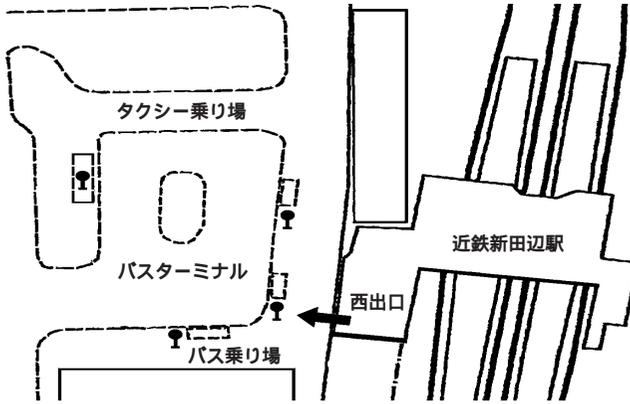
社団法人 電子情報通信学会
The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
情報・システムソサイエティ(ISS)
Information and Systems Society
ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)
Human Communication Group

社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

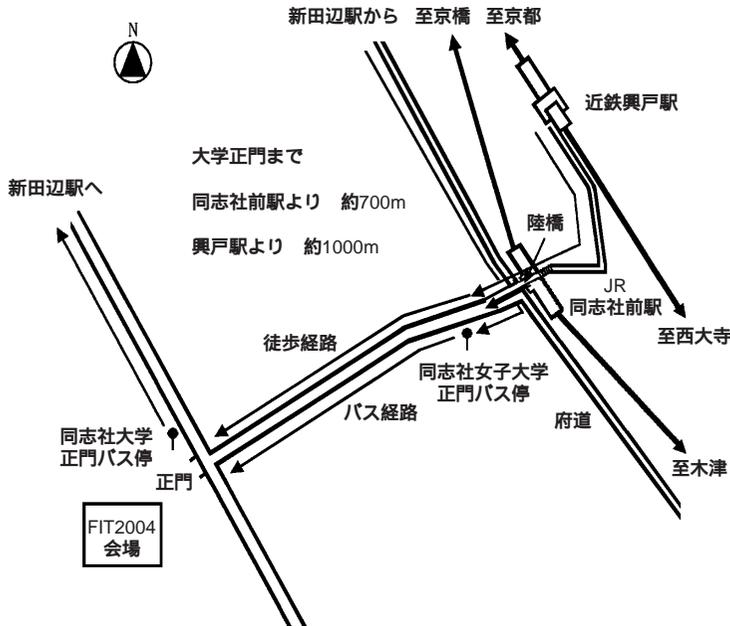
会場案内図



近鉄新田辺駅バス乗り場



近鉄興戸駅・JR同志社前駅から会場への経路



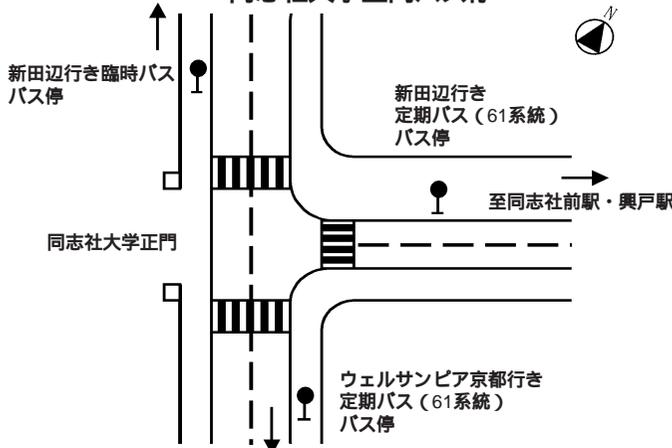
FIT2004 会場への経路

JR 京都駅から：
 近鉄京都駅より急行に乗車し
 新田辺駅下車。改札口右手の
 階段を下りた西出口を出てすぐの
 バスターミナル(2)番バス乗り場
 から、臨時の「同志社大学正門」
 行き乗車で約9分。
 (他に、ウェルサンピア京都行き
 7本(同志社大学正門下車)、
 同志社大学デヴィス記念館行き
 1本(同志社大学工学部下車)の
 定期バスがあります。)
 徒歩の場合は、新田辺駅で普通に
 乗り換え、次の興戸駅下車。途中
 JR同志社駅をまたぐ陸橋を越え、
 だらだら坂を登って約15分。な
 お、タクシー乗り場は新田辺駅
 のバスターミナル横にあります。

JR 大阪駅から：
 大阪環状線外回り電車に乗り、
 京橋駅で学研都市線快速に乗り
 換え、同志社前駅下車。改札前に
 連続してある交差点を渡り、
 だらだら坂を登り徒歩約10分
 (700M)。または大学へ向かう
 坂道の左側の歩道約80mの
 ところのバス停(同志社女子大
 正門)から「同志社大学正門」方
 面行きバス乗車約2分。

お車での御来校はできるだけ
 御遠慮願います。

同志社大学正門バス停



けいはんなオプションバスツアー 見学機関周辺マップ



バス時刻表

FIT2004会場（同志社大学京田辺キャンパス）行き

近鉄新田辺駅下車の場合 *1)

同志社正門行き臨時バス					路線バス
8時	0	15	30	45	
9時	0	15	30	45	30
10時	0		30		30
11時	0		30	45	
12時	0	15	30		52
13時	0		30		
14時	0		30		43
15時	0		30		32
16時	0		30	45	
17時	0	15	30		13
18時	0		30		13
19時	0		30	45	
20時	0	15	30	45	
21時	0				

所要9分（240円）

*1) 近鉄新田辺・2F改札を出て右手へ
西口前バスターミナル(2) 番乗り場
路線バス「ウェルサンピア京都行」の
降り場は「同志社大学正門」

JR同志社前駅下車の場合 *2)

同志社正門行き臨時バス					路線バス
8時	7	22	37	52	
9時	7	22	37	52	37
10時	7		37		37
11時	7		37	52	
12時	7	22	37		59
13時	7		37		
14時	7		37		50
15時	7		37		39
16時	7		37	52	
17時	7	22	37		20
18時	7		37		20
19時	7		37	52	
20時	7	22	37	52	
21時	7				

所要2分（170円）

*2) 乗り場は改札口正面にある交差点を
渡り、大学へ向かう坂道の左側の歩道
約50mのところ
路線バス「ウェルサンピア京都行」の
降り場は「同志社大学正門」

(注) 同志社女子大学正門から同志社大学
正門までは1駅です。緩やかな登り坂です。

(帰り) 近鉄新田辺駅 (JR同志社前) 方面行き

近鉄新田辺駅方面行き
同志社大学正門発 *3)

新田辺行き臨時バス					路線バス
8時					
9時			30	45	17
10時	0	15		45	10
11時		15		45	
12時	0	15	30	45	12
13時		15		45	31
14時			30		
15時		15		45	14
16時		15		45	39
17時	0	15	30	45	39
18時		15		45	39
19時		15		45	
20時	0	15	30	45	
21時	0	15			

所要8分（240円）

*3) 臨時バス乗り場は正門左側（降り場と同じ）
路線バス乗り場は正門前の横断歩道を正面に渡ってすぐ、
大学から見て道路左側。

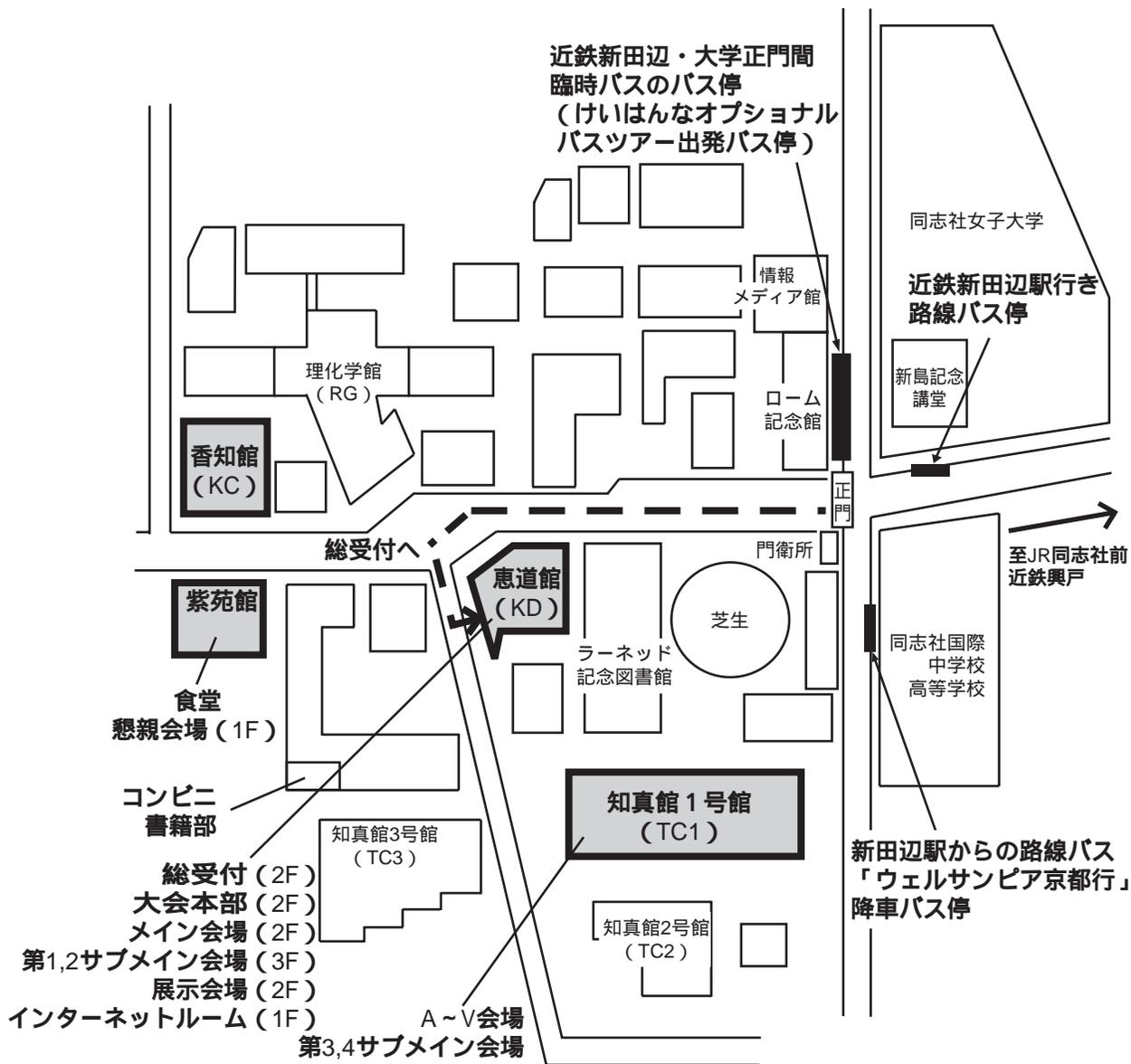
(注意) 帰りにJRを御利用の方は徒歩で坂を下り8分程で同志社前駅です、
バスを御利用の場合は、近鉄新田辺駅行きに御乗車の上「京田辺駅」で下車

オプションツアー

オプションツアーのバスは
9月9日（木）午後1時
同志社大学正門（臨時バス乗り場）
から出発。ATR、NTT-CS研NICTの
各機関毎約1時間。最後は近鉄京都線
新祝園駅で午後5時頃に解散。

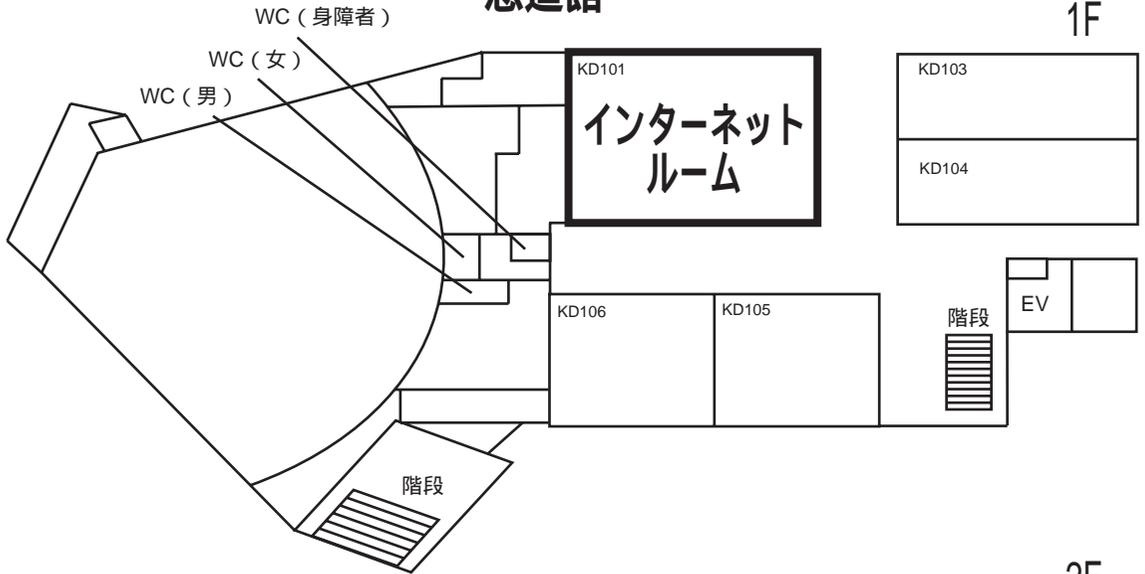
(新祝園駅は近鉄線、JR線の両方に
乗れます)

同志社大学京田辺キャンパス図

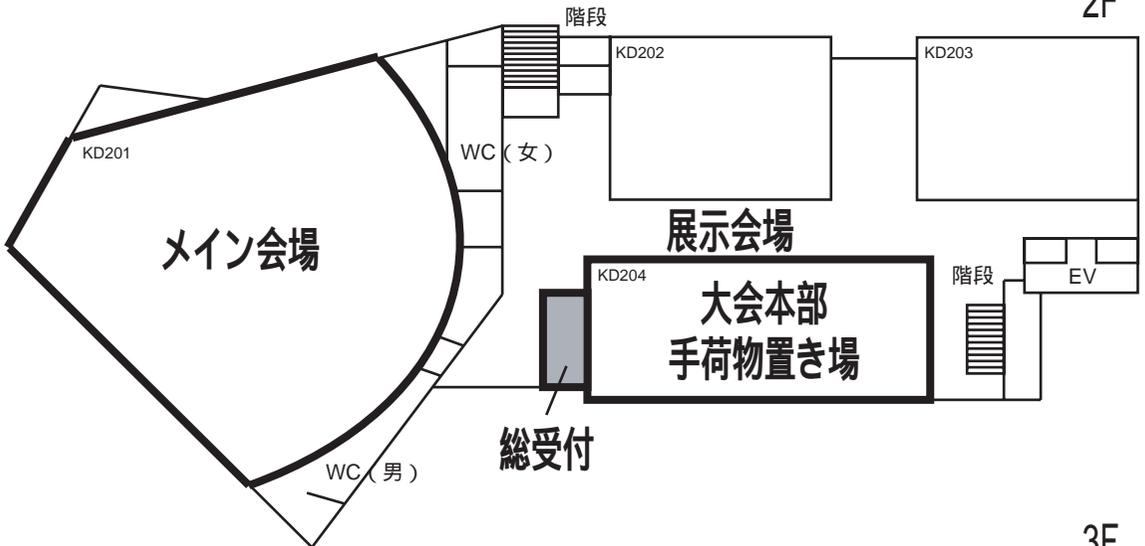


恵道館

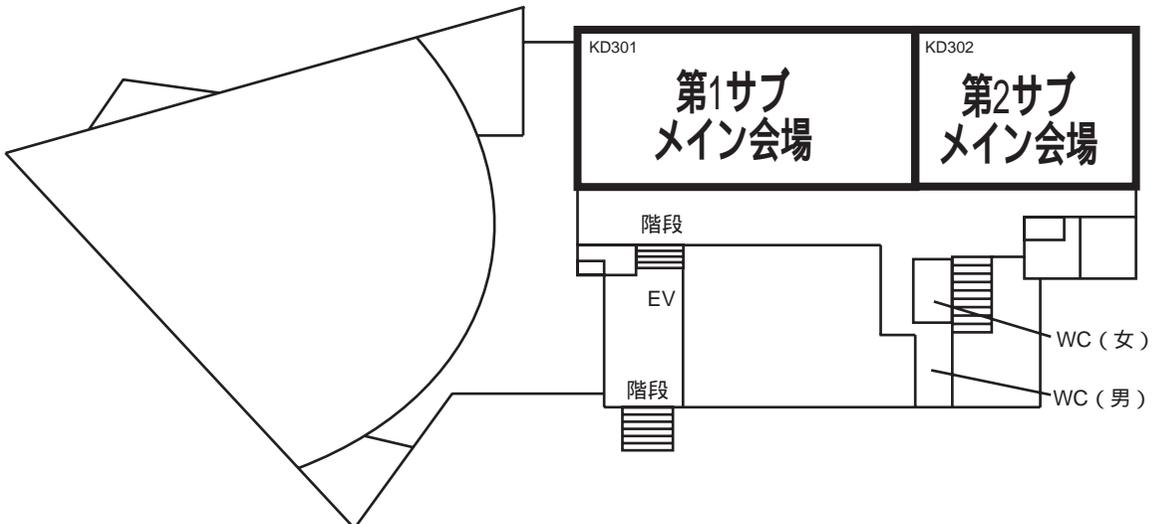
1F



2F



3F



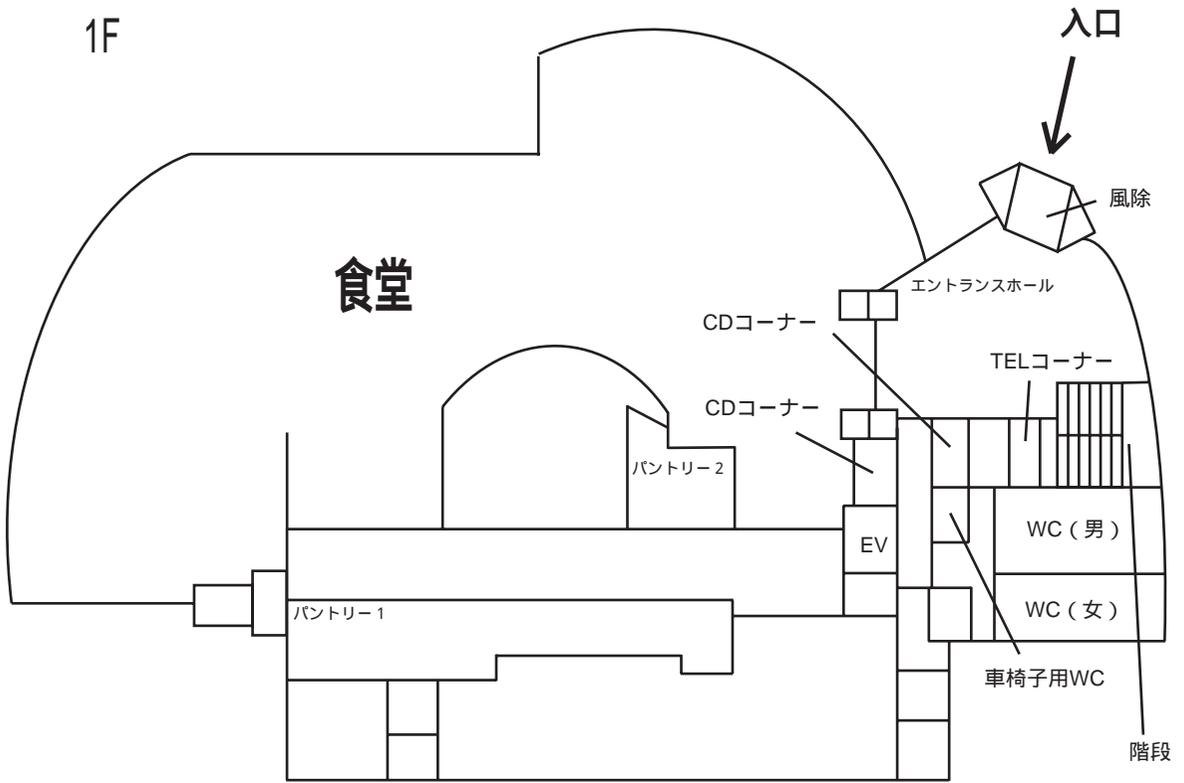
知真館

1F

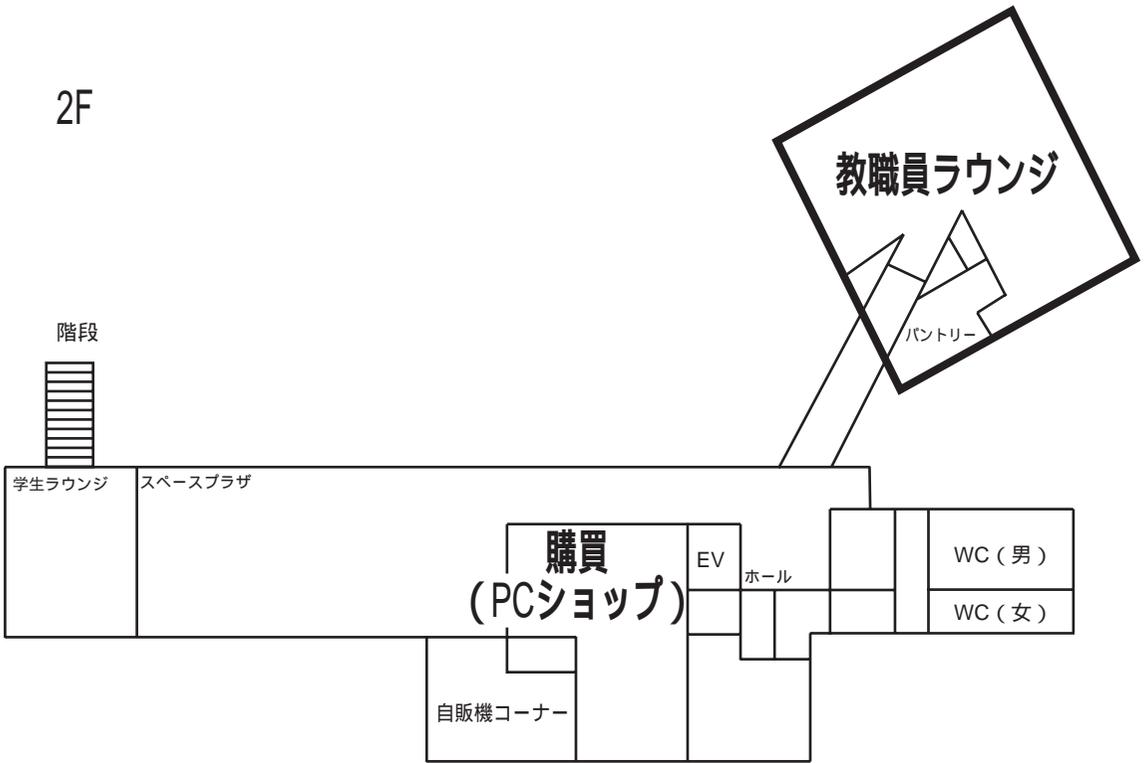


紫苑館

1F

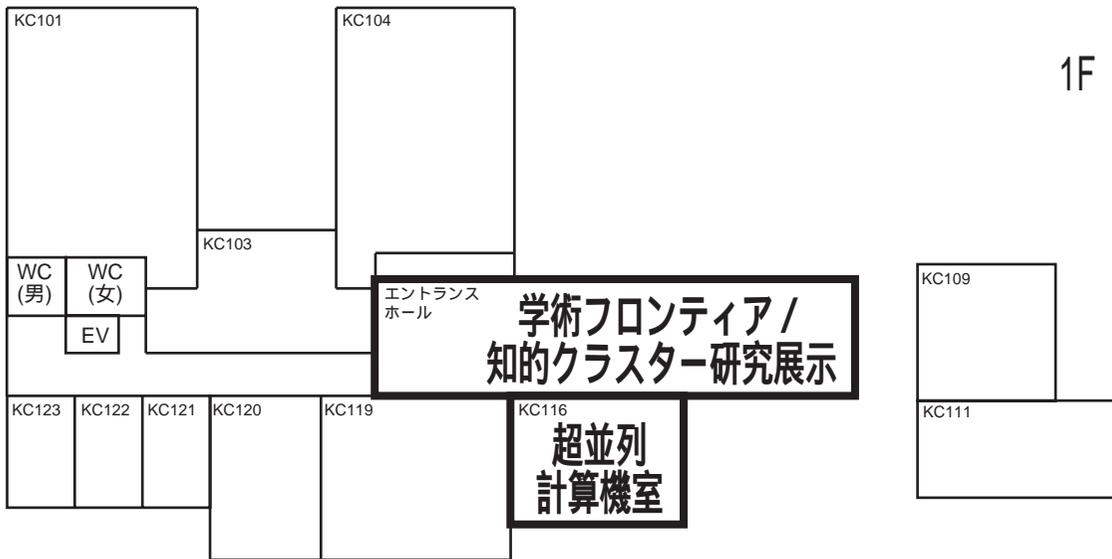


2F

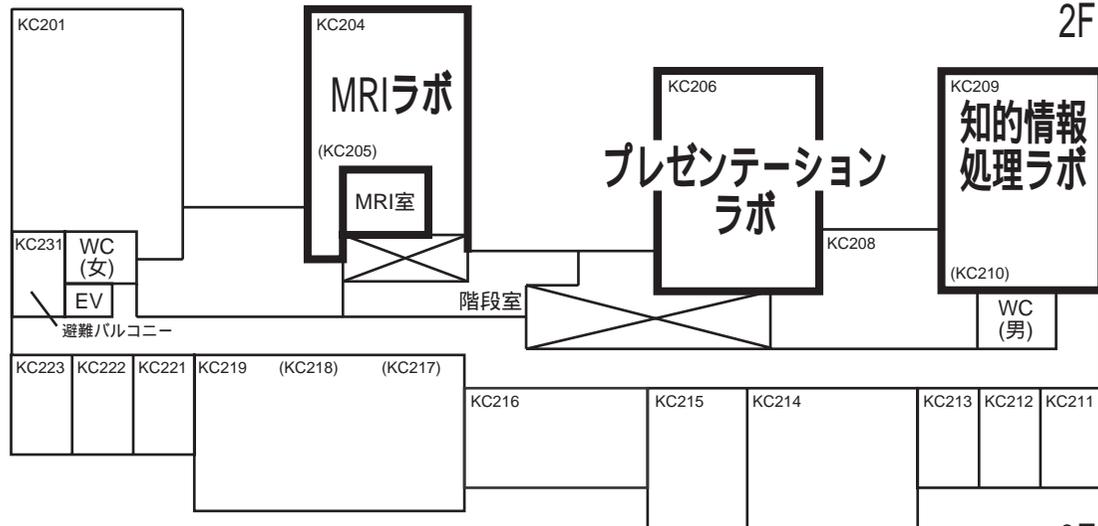


香知館

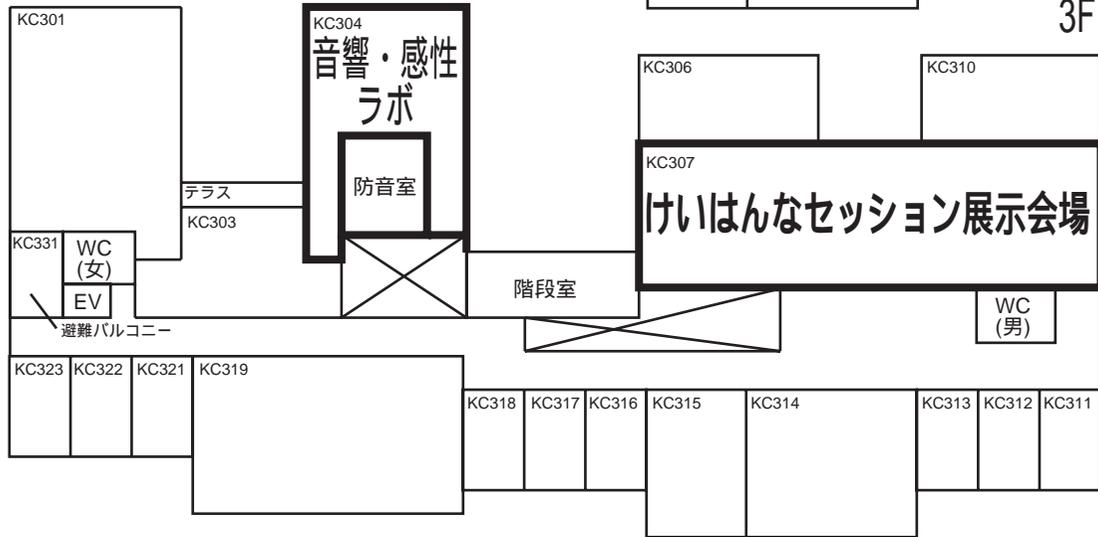
1F



2F



3F



日	会場	メイン会場	第1サブメイン会場	第2サブメイン会場	第3サブメイン会場	第4サブメイン会場
	時間	恵道館2F KD-201	恵道館3F KD-301	恵道館3F KD-302	知真館1F TC1-132	知真館1F TC1-116
9月7日(火)	9:00	9:30 - 12:00 企画セッション B-3 JABEE: 情報および 情報関連分野における 最低水準とは?	9:00 - 12:00 企画セッション A-10 SPAM 対策技術の最前線 インターネット技術 スペシャルセッション		9:00 - 12:00 船井ベストペーパー賞 選考会 (午前の部 6件)	
	12:00	22	26		19	
	13:00	12:30 - 17:45	13:00 - 16:30	14:00 - 17:30	13:00 - 16:00	13:00 - 17:40
	15:00	企画セッション A-3 プレミアワークショップ: ユビキタス・ モバイルネットワークと セキュリティ	企画セッション A-6 ソフトウェアと、 日本の社会 ~特徴を強みに 変えていくには~	企画セッション B-5 情報科学技術分野の ファンディング戦略 ~JSTのPriority Settingにむけて~	船井ベストペーパー賞 選考会 (午後の部 6件)	企画セッション C-1 けいはんな学研 セッション(1)
15:30	3					
17:30	23	27	34	19	45	
9月8日(水)	9:00		10:30 - 12:00 企画セッション B-2 ここに注意しよう 日本人の英語の発音	9:00 - 12:00 企画セッション A-7 高度医療を支える 安全ME技術	9:00 - 12:00 企画セッション B-4 FIT賢人会議: 情報学の セントラルドグマ	9:00 - 12:00 企画セッション C-1 けいはんな学研 セッション(2)
	12:00		29	36	42	48
	13:00	13:00 - 14:30 特別講演 金出武雄 (カーネギーメロン大) 計算機視覚の研究 - その仕組みと今後 -				
	14:30	21				
9月9日(木)	15:00	15:00 - 17:00 企画セッション B-6 パネル討論: 『素人発想、玄人実行』 金出教授と若手研究者の 本音とーく	15:00 - 17:30 企画セッション B-1 『淘汰の時代』の産業界が 求める大学教育・ 研究レベル ~IT(情報・通信)分野の 大学評価結果発表~	14:30 - 18:00 企画セッション A-8 誰にでも参加できる 学会を目指した 情報保障の あり方について	15:00 - 17:30 企画セッション A-1 分子イメージング (Molecular Imaging)	
	17:30	21	30	37	44	
9月9日(木)	9:00		9:00 - 12:30 企画セッション A-2 リコンフィギャラブル 技術は役に立つのか?	9:00 - 12:00 企画セッション A-5 Web知的処理の基礎		
	12:00		31	40		
	13:00		13:00 - 16:00 企画セッション A-9 量子コンピュータの科学	13:00 - 15:50 企画セッション A-4 パターン認識・ メディア理解 アルゴリズムコンテスト		
16:00		33	41			

表中の中央下のアルファベットは分野を表します。また、右下の数字は当プログラム冊子の掲載ページ番号です。

プログラム概要

A会場 知真館1F TC1-101	B会場 知真館1F TC1-102	C会場 知真館1F TC1-103	D会場 知真館1F TC1-104	E会場 知真館1F TC1-105	F会場 知真館1F TC1-106	G会場 知真館1F TC1-107	H会場 知真館1F TC1-108
ニューロ コンピュー ティング(1) 佐藤 俊治 (東北福祉大) H 59	語彙・意味 福本 淳一 (立命館大) F 57	マルチメディア・ 仮想環境基礎 (1) 原 雅樹 (NEC) K 65	対話・ インタフェース 中村 哲 (ATR) G 58	表情認識と 情報提供支援 蒲池みゆき (ATR) K 65	教育システム 開発 中村 直人 (千葉工大) K 65	人文科学と コンピュータ 村上 晴美 (阪市大) N 72	Gridシステム 構成法 新城 靖 (筑波大) B 51
/	文書分類・QA 秋葉 友良 (豊橋科大) F 57	マルチメディア・ 仮想環境基礎 (2) 荒川 佳樹 (ATR) K 66	音声・話者認識 相川 清明 (東京科大) G 59	ヒト運動解析 矢野 澄男 (NHK) K 66	教育評価・ 分析手法 赤倉 貴子 (東京理科大) K 66	ソフトウェア/ プログラミング 教育(1) 竹田 尚彦 (愛知教育大) N 73	Grid応用 安崎 篤郎 (日立) B 52
/	デジタル ドキュメント 鬼塚 真 (NTT) E 56	テキスト マイニング・ 検索 菊井玄一郎 (ATR) E 56	音声一般 篠田 浩一 (東工大) G 59	心理評価と オブジェクト 喜多 伸一 (神戸大) K 67	e-learning 香山 瑞恵 (専修大) K 67	ソフトウェア/ プログラミング 教育(2) 高岡 詠子 (千歳科技大) N 73	/
ニューロ コンピュー ティング(2) 栗田多喜夫 (産総研) H 59	自然言語理解 中野 幹生 (ホンダ・リサーチ・ インスティテュート・ ジャパン) F 57	マルチメディア・ 仮想環境基礎 (3) 中川 雅通 (松下電器) K 67	管理とWeb 権藤 克彦 (東工大) B 52	XMLと Webサービス 奥乃 博 (京大) L 69	知能と複雑系 河野 浩之 (南山大) F 57	教育システム 中平 勝子 (長岡技科大) N 73	エージェント(1) 機 肅之 (NTT) F 57
/	/	/	/	/	/	/	/
/	人工知能一般 小林 正樹 (山梨大) F 57	翻訳・対話・ 知識表現 井佐原 均 (NICT) E 56	ゲーム情報学 上原 貴夫 (東京工大) E 56	保守と品質と 再利用 神谷 年洋 (科学技術振興機構) B 53	学習 岩沼 宏治 (山梨大) F 58	授業管理・支援 金子 敬一 (農工大) N 73	Web・データ マイニング(1) 上田 修功 (NTT) F 58
医用画像処理と 伝送 清水 昭伸 (農工大) H 60	エージェント(2) 松原 繁夫 (NTT) F 58	分類・要約 奥村 学 (東工大) E 56	音楽情報科学(1) 平田 圭司 (NTT) G 59	アドホック ネットワーク 阪田 史郎 (千葉大) M 71	ヒューマン コミュニ ケーション(1) 青木 義満 (芝浦工大) K 68	教育環境・社会 井出 明 (大阪経法大/ GLOCOM) N 73	数理モデルと 問題解決(1) 廣安 知之 (同志社大) A 51
MEとバイオ サイバネ ティックス 尾川 浩一 (法政大) H 60	Web・ データマイニング (2) 今井 倫太 (慶大) F 58	単語抽出・入力 森 辰則 (横浜国大) E 56	音楽情報科学(2) 片寄 晴弘 (関西学院大) G 59	アドホック ネットワークと ITS 久保田浩司 (NTT) M 72	ヒューマン コミュニ ケーション(2) 竹内 勇剛 (静岡大) K 68	各種教育と コンピュータ 北上 始 (広島市大) N 73	数理モデルと 問題解決(2) 中條 拓伯 (農工大) A 51

プログラム概要

Q会場 知真館1F TC1-122	R会場 知真館1F TC1-124	S会場 知真館1F TC1-125	T会場 知真館1F TC1-126	U会場 知真館1F TC1-127	V会場 知真館1F TC1-128
	環境と 情報システム 辻 秀一 (東海大) O 74	ストリーミング・ 伝送 今泉 浩幸 (NHK) J 63	イメージ, ペースト, レンダリング 斎藤 隆文 (農工大) J 63	センシング 福本 雅朗 (NTTドコモ) M 70	モバイル通信 山本 幹 (阪大) M 70
福祉情報工学(1) 中山 剛 (国立身体障害者 リハビリテーション センター) K 67	自動生成と 知能ソフトウェア 山口 高平 (慶大) B 52	画像処理(1) 内藤 整 (KDDI研) J 63	レンダリング 斎藤 豪 (東工大) J 63		
福祉情報工学(2) 坂井 忠裕 (NHK) K 67	形式手法 海尻 賢二 (信州大) B 52	画像処理(2) 相澤 清晴 (東大) J 63	CG応用 岡田 稔 (早大) J 63	グラフ・ 組合せ理論 定兼 邦彦 (九大) A 50	
福祉情報工学(3) 河井 良浩 (産総研) K 68	情報システムと 評価 片岡 信弘 (電通大) O 74	電子透かし 川田 亮一 (KDDI研) J 64	ホログラフィ 藤井 俊彰 (名大) J 64	アルゴリズム応用 渋谷 哲郎 (東大) A 50	コンテキスト アウェアネス 爰川 知宏 (NTT) M 71
	情報共有と 知識獲得支援 関 良明 (NTT) O 74	品質評価・ マルチメディア 遠藤 真 (NTTレゾナント) J 64	3Dモデリング 高橋 成雄 (東大) J 64	分散型 アルゴリズム 定兼 邦彦 (九大) A 50	
モバイル アプリケーション 國頭 吾郎 (NTTドコモ) M 71	ネットワークと 情報システム 刀川 眞 (NTTデータ) O 74	画像符号化(1) 高村 誠之 (NTT) J 64	映像検索 内海 章 (ATR) J 64	計算・符号理論 田中 圭介 (東工大) A 51	データ保護と システム セキュリティ 西垣 正勝 (静岡大) M 72
ネットワーク プロトコル 串田 高明 (日本IBM) M 72	情報システムの 構築 金田 重郎 (同志社大) O 74	画像符号化(2) 渡辺 裕 (早大) J 65	動き探索・ オブジェクト抽出 如澤 裕尚 (NTTレゾナント) J 65		ネットワーク セキュリティ 宇田 隆哉 (東京工科大) M 72

講演論文集の内容

発行日 平成 16 年 8 月 20 日

情報科学技術レターズ（査読付き論文）

コンピュータ関連、データベース関連、画像関連、ネットワーク関連

第 1 分冊（コンピュータ関連）

A 分野：モデル・アルゴリズム・プログラミング

B 分野：ソフトウェア

C 分野：アーキテクチャ・ハードウェア

特別分野：けいはんな学研セッション

第 2 分冊（データベース関連）

D 分野：データベース

E 分野：自然言語・文書・ゲーム

F 分野：人工知能

G 分野：音声・音楽

H 分野：生体情報科学

第 3 分冊（画像関連）

I 分野：画像認識・メディア理解

J 分野：グラフィクス・画像

K 分野：ヒューマンコミュニケーション&インタラクション

第 4 分冊（ネットワーク関連）

L 分野：インターネット

M 分野：ネットワーク・モバイルコンピューティング

N 分野：教育・人文科学

O 分野：情報システム

CD-ROM（分野，著者，所属，キーワード等で検索可能）

上記全論文，プログラムを収録

FIT 委員名簿

FIT 推進委員会

ISS 委員長	白井 良明 (阪大)
IPSJ 委員長	白鳥 則郎 (東北大)
ISS 委員	上倉 一人 (NTT), 西脇 大輔 (NEC), 荒井 秀一 (武蔵工大), 植芝 俊夫 (産総研)
	大田 友一 (筑波大 / FIT2004 実行委員長)
HCG 委員	前田 太郎 (NTT), 西田 豊明 (京大 / FIT2005 プログラム委員長)
IPSJ 委員	湯淺 太一 (京大), 山田 敬嗣 (NEC), 久世 和資 (日本IBM),
	萩谷 昌己 (東大 / FIT2004 プログラム委員長)
	清木 康 (慶大 / FIT2005 実行委員長)

FIT2004 実行委員会

委員長	大田 友一 (筑波大)
幹事	西脇 大輔 (NEC), 石畑 清 (明大)
会計幹事	石垣 一司 (富士通研), 湯淺 太一 (京大)
ISS 委員	瀧本 英二 (東北大), 富井 尚志 (横浜国大), 植野 彰規 (東京電機大),
	田 英作 (NTT), 藤井 俊彰 (名大)
HCG 委員	長嶋 祐二 (工学院大)
IPSJ 委員	高汐 一紀 (慶大), 堤 利幸 (明大), 内元 清貴 (NICT),
	河村 一樹 (東京国際大), 屋代 智之 (千葉工大)
委員 (現地)	河岡 司 (同志社大)

FIT2004 プログラム委員会

委員長	萩谷 昌己 (東大)
幹事	上倉 一人 (NTT), 萩谷 昌己 (東大 / 兼任)
ISS 委員	西脇 大輔 (NEC), 吉永 努 (電通大), 篠田 浩一 (東工大),
	上田 修功 (NTT), 渡辺 澄夫 (東工大), 小泉 稔 (日立)
HCG 委員	青木 義満 (芝浦工大)
IPSJ 委員	石畑 清 (明大), 古瀬 慶博 (三菱スペース・ソフトウェア),
	原 隆浩 (阪大), 八木 康史 (阪大), 山口 泰 (東大),
	藤川 和利 (奈良先端大), 中野 潔 (阪市大)

FIT2004 担当委員

ISS 委員	植野 彰規 (東京電機大), 小泉 稔 (日立), 藤井 俊彰 (名大), 宇津呂武仁 (京大),
	吉永 努 (電通大), 瀧本 英二 (東北大), 櫛 肅之 (NTT), 榎藤 克彦 (東工大),
	富井 尚志 (横浜国大), 前田 英作 (NTT), 戸田 賢二 (産総研),
	渡辺 澄夫 (東工大), 山田 宏之 (愛媛大), 篠田 浩一 (東工大),
	中村 直人 (千葉工大), 杉本 直三 (京大), 松田 順 (綜研化学),
	中山 雅哉 (東大), 上田 修功 (NTT)
HCG 委員	青木 義満 (芝浦工大), 星野 聖 (筑波大), 小林 稔 (NTT), 長嶋 祐二 (工学院大)
IPSJ 委員	徳山 豪 (東北大), 古瀬 慶博 (三菱スペース・ソフトウェア), 高橋 大介 (筑波大),
	青山 幹雄 (南山大), 村上 昌己 (岡山大), 高汐 一紀 (慶大), 天野 英晴 (慶大),
	堤 利幸 (明大), 原 隆浩 (阪大), 岩山 真 (日立), 内元 清貴 (NICT),
	根岸 寛明 (富士通), 相川 清明 (東京工科大), 片寄 晴弘 (関西学院大),
	川村 秀憲 (北大), 田中 哲朗 (東大), 八木 康史 (阪大), 山口 泰 (東大),
	内藤 整 (KDDI 研), 田村 弘昭 (富士通研), 萩原 洋一 (東京農工大),
	藤川 和利 (奈良先端大), 関 良明 (NTT 東日本), 横田 英俊 (KDDI 研),
	戸辺 義人 (東京電機大), 佐藤 文明 (静岡大), 吉浦 裕 (電通大),
	河村 一樹 (東京国際大), 安達 文夫 (歴史民俗博物館), 中野 潔 (阪市大),
	阿部 昭博 (岩手県立大), 屋代 智之 (千葉工大), 河野 知行 (アイ・アイ・エム)

FIT2004 現地実行委員会

委員長	河岡 司 (同志社大)
副委員長	柳田 益造 (同志社大)
委員	金田 重郎 (同志社大), 三木 光範 (同志社大), 芳賀 博英 (同志社大),
	坂東 敏博 (同志社大), 渡部 広一 (同志社大), 廣安 知之 (同志社大),
	菅村 昇 (NTT), 萩田 紀博 (ATR), 岡崎龍太郎 (同志社大), 中山 治人 (CRL)

ISS : (社) 電子情報通信学会情報・システムソサイエティ,
HCG : (社) 電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ,
IPSJ : (社) 情報処理学会

この度のFIT開催にあたりましては、同志社大学様に同大学京田辺キャンパスを会場として無償で御提供頂き誠にありがとうございました。ここに厚く御礼申し上げます。

- イベント企画の御案内 -

特別講演：「計算機視覚の研究 - その仕組みと今後 - 」

金出 武雄（カーネギーメロン大）

特別企画講演：けいはんな学研セッション

講演・パネル討論

- ・『素人発想，玄人実行』金出教授と若手研究者の本音とーく
- ・JABEE：情報および情報関連分野における最低水準とは？
- ・プレミアワークショップ：ユビキタス・モバイルネットワークとセキュリティ
- ・SPAM 対策技術の最前線 - インターネット技術スペシャルセッション -
- ・ソフトウェアと，日本の社会～特徴を強みに変えていくには～
- ・ここに注意しよう日本人の英語の発音
- ・『淘汰の時代』の産業界が求める大学の教育・研究レベル
～ IT（情報・通信）分野の大学評価結果発表～
- ・リコンフィギャラブル技術は役に立つのか？
- ・量子コンピュータの科学
- ・情報科学技術分野のファンディング戦略～ JST の Priority Setting にむけて～
- ・高度医療を支える安全 ME 技術
- ・誰にでも参加できる学会を目指した情報保障のあり方について
- ・Web 知的処理の基礎
- ・パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
- ・FIT 賢人会議：情報学のセントラルドグマ
- ・分子イメージング

- イベント企画プログラム -

メイン会場（恵道館 2F KD-201）			
日	時間	内容	
7 日 (火)	9:30-12:00	JABEE：情報および情報関連分野における最低水準とは？ [9:30- 9:35] 講演 1：趣旨説明 牛島和夫（九州産業大） [9:35-10:00] 講演 2：キーワード案の説明 疋田輝雄（明大） [10:00-10:15] 講演 3：IS 領域からの意見 神沼靖子（埼玉大） [10:15-10:30] 講演 4：SE 領域からの意見 富樫 敦（宮城大） [10:30-10:45] 講演 5：電子情報通信学会からの意見 牧野光則（中大） [10:45-11:00] 講演 6：アクセレディテーション委員会からの意見 掛下哲郎（佐賀大） [11:00-12:00] 総合討論：JABEE：情報および情報関連分野における最低水準とは？ 司 会：牛島和夫（九州産業大） パネリスト：疋田輝雄（明大），神沼靖子（埼玉大），富樫 敦（宮城大），牧野光則（中大）， 掛下哲郎（佐賀大）	
		12:30-17:45	プレミアワークショップ：ユビキタス・モバイルネットワークとセキュリティ [12:30-13:20] 講演 1：Security Protocols for Wireless Communication （海外研究者講演予定） [13:30-13:55] 講演 2：時・空間依存オブジェクト同期とアプリケーション 齋藤正史（阪大） [13:55-14:20] 講演 3：ユビキタス・モバイル技術と協調学習環境 緒方広明（徳島大） [14:20-14:45] 講演 4：リモートオフィス環境構築とセキュリティ - 個人認証，VPN，脆弱性検査，そして被害予測 - 森井昌克（徳島大） [14:55-15:20] 講演 5：データマイニングと個人情報保護 菊池浩明（東海大） [15:20-15:45] 講演 6：交通情報のデフォルメ地図へのマッピング方式と モバイル交通情報提供システムの適用 丸山貴志子（日立） [15:45-16:10] 講演 7：cogma：ユビキタス情報環境を構築する基盤ソフトウェア 河口信夫（名大） [16:10-16:35] 講演 8：ユビキタス技術を用いた新たなサービス ～ Advanced- インストアマーケティングの可能性～ 小磯貴史（東芝） [16:45-17:45] パネル討論：ユビキタス・モバイルネットワークとプライバシー保護 司 会：佐々木良一（電機大） パネリスト：河口信夫（名大），新保史生（筑波大），菊池浩明（東海大）

メイン会場（恵道館 2F KD-201）		
日	時間	内 容
8 日 (水)	13:00-14:30	特別講演：計算機視覚の研究 - その仕組みと今後 - 金出武雄（カーネギーメロン大）
	15:00-17:00	パネル討論：『素人発想，玄人実行』金出教授と若手研究者の本音と一く 特別ゲスト：金出武雄（カーネギーメロン大） 司 会：田村秀行（立命館大） パネリスト：加賀美聡（産総研），芦ヶ原隆之（ソニー），佐藤いまり（東大），日浦慎作（阪大）

第1サブメイン会場（恵道館 3F KD-301）			
日	時間	内 容	
7 日 (火)	9:00-12:00	SPAM 対策技術の最前線 - インターネット技術スペシャルセッション - [9:00-10:00] 講演：SPAM 対策の技術と標準化動向 中村素典（京大） [10:00-12:00] パネル討論：SPAM 対策技術の現状と今後 司 会：安東孝二（東大） パネリスト：伊藤孝史（NTT ドコモ），加藤佳美（松下電器），近藤 学（IIJ）， 瀧田佐登子（Mozilla Japan），中島昭浩（KDDI），中村素典（京大）	
		13:00-16:30	ソフトウェアと、日本の社会～特徴を強みに変えていくには～ [13:00-13:05] あいさつ SWIM 研究会 [13:05-13:25] 講演 1：ソフトウェアと日本の社会～特徴を強みに変えていくには～ 松本正雄（九州産業大） [13:25-13:45] 講演 2：実証的ソフトウェア工学への取り組み 松本健一（奈良先端大） [13:45-14:05] 講演 3：ソフトウェアと日本の社会～特徴を強みに変えていくには～ 浅田隆治（ウッドランド） [14:05-14:25] 講演 4：ソフトウェアと日本の社会～特徴を強みに変えていくには～ 築地達郎（京都経済新聞／報道ネットワーク） [14:25-14:45] 講演 5：ソフトウェアと日本の社会～特徴を強みに変えていくには～ 末松千尋（京大） [14:45-16:30] パネル討論：ソフトウェアと日本の社会～特徴を強みに変えていくには～ 司 会：岩田祐一（NICT） パネリスト：浅田隆治（ウッドランド），末松千尋（京大），築地達郎（京都経済新聞／報道ネットワーク）， 松本健一（奈良先端大），松本正雄（九州産業大）
	8 日 (水)	10:30-12:00	ここに注意しよう日本人の英語の発音 金谷健一（岡山大）
		15:00-17:30	パネル討論：『淘汰の時代』の産業界が求める大学の教育・研究レベル ～ IT（情報・通信）分野の大学評価結果発表～ 司 会：阪田史郎（千葉大） パネリスト：大学連携推進課長（経済産業省），松嶋 登（都立大），山本真司（河合塾）， 佐藤雄二朗（アルゴ21），本位田真一（国立情報学研），伊東幸宏（静岡大）
	9 日 (木)	9:00-12:30	リコンフィギャラブル技術は役に立つのか？ [9:00- 9:45] 講演 1：最近のリコンフィギャラブル技術の概観 末吉敏則（熊本大） [9:45-10:15] 講演 2：動的リコンフィギャラブル技術の概観 天野英晴（慶大） [10:15-10:45] 講演 3：DAP/DNA とその設計環境 佐藤友美（IPFlex） [10:45-11:15] 講演 4：DRP とその設計環境 梶原信樹（NEC） [11:30-12:30] パネル討論：リコンフィギャラブル技術は役に立つのか 司 会：天野英晴（慶大） パネリスト：末吉敏則（熊本大），佐藤友美（IPFlex），梶原信樹（NEC）， 宮森 高（東芝），荒川文男（日立）
			13:00-16:00

第2サブメイン会場(恵道館3F KD-302)		
日	時間	内 容
7 日 (火)	14:00-17:30	情報科学技術分野のファンディング戦略～JSTのPriority Settingにむけて～
		[14:00-14:05] オープニング: 田中英彦(情報セキュリティ大学院大)
		[14:05-14:30] 講演1: JSTの情報分野に対するファンディングの現状 石田秋生(JST)
		[14:30-14:55] 講演2: 情報科学技術分野における今後の重要な研究分野とファンディング 林 弘(富士通研)
		[14:55-15:20] 講演3: 情報科学技術分野における今後の重要な研究分野とファンディング 村岡洋一(早大)
		[15:30-17:30] パネル討論: 情報科学技術分野のファンディング戦略～JSTのPriority Settingにむけて～ 司 会: 田中英彦(情報セキュリティ大学院大) パネリスト: 林 弘(富士通研), 村岡洋一(早大), 白鳥則郎(東北大), 喜連川優(東大), 湯浅太一(京大)
8 日 (水)	9:00-12:00	高度医療を支える安全ME技術
		[9:00- 9:40] 講演1: 精密誘導手術と医療トレーサビリティ 伊関 洋(東京女子医大)
		[9:40-10:20] 講演2: 集中医療における安全性向上のための医療機器情報の統合と警報支援システム 芥川正武(徳島大)
		[10:20-11:00] 講演3: 医療電磁環境の安全管理に必要な技術開発について 加納 隆(三井記念病院)
		[11:00-11:40] 講演4: 医療機器の安全性の試験 後藤和夫(テフ・ラインランド・ジャパン)
		[11:40-12:00] 総合討論
	14:30-18:00	誰にでも参加できる学会を目指した情報保障のあり方について
		[14:30-16:00] 新しい情報保障機器によるデモ展示と講演 聴覚障害関係 ・デモ講演1: 音声同時字幕システム 服部裕之(ビー・ユー・ジー) ・デモ講演2: 遠隔地情報支援システムの現状と課題 内藤一郎(筑波技術短大) 盲ろう関係 ・デモ講演3: 虹の架け橋「 Cubitsky 」 横田和博(指つき言語普及協会) ・デモ講演4: 音声自動認識ソフトを利用した盲聾者のための自動情報保障システムの可能性 朝尾伴啓(アスク研)
		ロービジョン関係 ・デモ講演5: プレゼンテーション環境の工夫による手頃な情報保障方式の検討 嵯川友宏(静岡大)
		・デモ講演6: 当日使用するその他情報保障機器の紹介
		[16:10-16:30] 講演: 海外の学会・大学における情報保障 渡辺哲也(国立特殊教育総研)
[16:30-18:00] パネル討論: 誰にでも参加できる学会を目指した情報保障のあり方について - 保障を受ける立場からの要望 - 司 会: 市川 薫(千葉大) パネリスト: 井上正之(NTT), 長谷川洋(筑波技術短大), 福井哲也(日本ライトハウス), 三宅洋信(「見やすさ」とデザインを考える会), 門川紳一郎(視聴覚二重障害者福祉センターすまいる)		
9 日 (木)	9:00-12:00	Web 知的処理の基礎
		[9:00-10:00] 講演1: テキスト処理に基づくWeb情報アクセス支援 - 検索から分類・追跡へ - 江口浩二(国立情報学研)
		[10:00-11:00] 講演2: Webページの知的探索・統合・加工 廣川佐千男(九大)
		[11:00-12:00] 講演3: セマンティックWeb技術に基づく知識循環プラットフォーム 和泉恵明(産総研)
	13:00-15:50	パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
[13:00-13:05] 開会挨拶 萩田紀博(ATR)		
[13:05-13:15] 課題概要説明, 審査結果発表		
[13:15-13:20] 表彰		
[13:20-14:50] 各受賞者の発表 [14:50-15:50] 講演: 画像位置合せ, 画像モザイクング, そしてビデオモザイクング 横矢直和(奈良先端大)		

第3サブメイン会場(知真館1F TC1-132)		
日	時間	内 容
7 日 (火)	9:00-12:00	船井ベストペーパー賞選考会
		午前の部
		[9:00- 9:30] 講演 1 : 遺伝子の機能分類を利用した遺伝子制御ネットワーク推定手法 瀧 浩平(阪大)
		[9:30-10:00] 講演 2 : スポッティバイト誤り制御符号 櫻山俊彦(東工大)
		[10:00-10:30] 講演 3 : 印象に基づく楽曲検索のための個人適応手法の設計と評価 熊本忠彦(NICT)
		[10:30-11:00] 講演 4 : 単一の長大なデータ系列上の系列パターンの出現尺度とその逆単調性 岩沼宏治(山梨大)
	13:00-16:00	午後の部
		[13:00-13:30] 講演 7 : 動的イベントの分節化・学習・認識のための Hybrid Dynamical System 川嶋宏彰(京大)
		[13:30-14:00] 講演 8 : H.264/MPEG-4 AVC の重み付き動き補償における高速重み係数推定の一検討 加藤晴久(KDDI 研)
		[14:00-14:30] 講演 9 : 話者の注目喚起行動による机上作業映像の自動編集 - ユーザインタフェースの側面からの評価 - 尾関基行(筑波大)
		[14:30-15:00] 講演 10 : Behind Touch 2:視覚障害者のための触覚・音声による携帯電話インタフェース 平岡茂夫(福岡工大)
		[15:00-15:30] 講演 11 : 発信者詐称 spam メールに起因するエラーメール集中への対策手法 山井成良(岡山大)
8 日 (水)	9:00-12:00	FIT 賢人会議：情報学のセントラルドグマ
		[9:00- 9:30] 講演 1 : 人工知能と情報処理 中島秀之(はこだて未来大)
		[9:30-10:00] 講演 2 : コンピュータ科学における芥川賞と直木賞 萩谷昌巳(東大)
		[10:00-10:30] 講演 3 : 情報学のセントラルドグマ 会話情報学 西田豊明(京大)
		[10:30-11:00] 講演 4 : 創ることと認知科学 諏訪正樹(中京大)
		[11:00-11:30] 講演 5 : 社会情報学 石田 亨(京大)
	15:00-17:30	分子イメージング
		[15:00-15:05] 挨拶 : 仁木 登(徳島大)
		[15:05-15:45] 講演 1 : 人生細胞内複数タンパク分子の多波長多光子励起分光イメージング 伊東一良(阪大)
		[15:45-16:25] 講演 2 : 小動物用 PET 装置を中心とした小動物用核医学イメージング装置とその利用 間賀田泰寛(浜松医大)
		[16:25-17:05] 講演 3 : MRI 拡散強調画像による全身スキャン(DWIBS) 今井 裕(東海大)
		[17:05-17:30] 総合討論

第4サブメイン会場（知真館 1F TC1-116）		
日	時間	内 容
7 日 (火)	13:00-17:40	けいはんな学研セッション（第1日）
		[13:00-13:10] オープニング： 石原好之（同志社大）
		[13:10-13:30] 講演1：関西文化学術研究都市の概要 小池幸男（国土交通省）
		[13:30-13:50] 講演2：関西文化学術研究都市における研究プロジェクト 輔信捷三（関西文化学術研究都市推進機構）
		[13:50-14:10] 講演3：同志社大学学術フロンティア「知能情報科学とその応用」研究プロジェクト 三木光範（同志社大）
		[14:10-14:30] 講演4：奈良先端科学技術大学院大学における研究プロジェクト 石井 信（奈良先端大）
		[14:30-14:50] 講演5：ATRメディア情報科学研究所知能ロボティクス研究所における研究プロジェクト 片桐恭弘（ATR）
		[14:50-15:10] 講演6：NTTコミュニケーション科学基礎研究所のビジョン 管村 昇（NTT）
		[15:20-15:40] 講演7：NICTけいはんな情報通信融合研究センター（KICR）の紹介 中山治人（NICT）
		[15:40-16:00] 講演8：松下電器産業株式会社先端技術研究所知能情報技術研究所の概要 丸野 進（松下電器）
		[16:00-16:20] 講演9：「協創」～オムロンイノベーションセンタを中心として～ 庄中 永（オムロン）
		[16:20-16:40] 講演10：知的クラスターネオカデンプロジェクト 渡辺好章（同志社大）
		[16:40-17:40] パネル討論：関西は燃えているか？ 司 会：三木光範（同志社大） パネリスト：石原好之（同志社大），小池幸男（国土交通省），輔信捷三（関西文化学術研究都市推進機構）， 石井 信（奈良先端大），片桐恭弘（ATR），管村 昇（NTT），中山治人（NICT）， 丸野 進（松下電器），庄中 永（オムロン），渡辺 好章（同志社大）
8 日 (水)	9:00-12:00	けいはんな学研セッション（第2日）
		[9:00- 9:10] オープニング： 三木光範（同志社大）
		[9:10-10:00] 講演1：同志社大学学術フロンティア「知能情報科学とその応用」研究プロジェクトに おける代表的研究 力丸 裕，柳田益造，三木光範（同志社大）
		[10:00-10:30] 講演2：奈良先端科学技術大学院大学の代表的研究 藤川和利（奈良先端大）
		[10:30-11:00] 講演3：ATRメディア情報科学研究所知能ロボティクス研究所の代表的研究 片桐恭弘（ATR）
		[11:00-11:30] 講演4：NTTコミュニケーション科学基礎研究所の代表的研究 森 啓（NTT）
[11:30-12:00] 講演5：NICT自然言語グループの紹介 井佐原均（NICT）		

展示会場（恵道館 2F）
7日（火）～ 12日（木）

一般講演会場（知真館 1F）
7日（火）9:00～12:00，13:00～15:00，15:30-17:30．8日（水）9:00～12:00，15:00～17:30．9日（木）9:00～12:00，13:00～16:00．

懇親会会場（紫苑館 1F 食堂）
8日（水）18:00～20:00 船井業績賞，船井ベストペーパー賞，FIT2004論文賞，FIT2003ヤングリサーチャー賞 表彰式も行います．

イベント企画 講演概要

特別講演：計算機視覚の研究 - その仕組みと今後 -
9月8日(水) 13:00-14:30 [メイン会場(恵道館2F KD-201)]



金出 武雄(カーネギーメロン大)

1974年 京都大学電子工学科 博士課程修了(工学博士)。1976年 同助教教授。
1980年 カーネギーメロン大学 計算機科学科・ロボット研究所高等研究員。1985年 同大学教授。
1992-2001年 カーネギーメロン大学ロボット研究所 所長。
1993年 - カーネギーメロン大学 U. A. and Helen Whitaker 記念教授。
2001年 - 独立法人産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究ラボ、ラボ長(兼任)。

[講演概要]

計算機に「目」- 画像を通じて外界を認識する機能 を持たせようという計算機視覚の研究は、1960年代に始まった人工知能研究において最も初期の時代から試みられた問題であり、夢であった。しかし、初期の時代から試みられた簡単な記号的知識と探索による方法で解けるほどやさしい問題ではなかった。以来、計算機視覚の研究は、ヒューリスティックな方法から数理物理的な方法、静的な観察から動的なセンシングによる方法、モデルにもとづく方法からサンプルにもとづく統計的方法などさまざまなアプローチによって、大きな変遷をとげ、とくにこの数年の飛躍的進歩によって新しい応用が開けてきた。この講演では、これらの研究の面白さと有効性を自身の経験と考えの変遷をもとに戻るとともに、今後は計算機視覚を巨大な探索問題としてみることで一層の進歩を得られるのではないかとという視点を述べたい。

パネル討論：『素人発想，玄人実行』金出教授と若手研究者の本音と一く
9月8日(水) 15:00-17:00 [メイン会場(恵道館2F KD-201)]

[討論概要]

FIT業績賞の受賞者、金出武雄教授が日本の研究者のために書き下ろした『素人のように考え、玄人として実行する：問題解決のメタ知識』(PHP研究所)は、研究アイデアの発想法、講演・論文発表術からプロポーザルの書き方、英会話上達までが語られている話題の書です。この本を題材に、新進気鋭の若手研究者たちが金出教授と本音で語り合うパネルを企画いたしました。フロアからの参加も大歓迎です。本を読んで感じた疑問をぶつけてみるもよし、本には書けなかった裏話を引き出してみるもよし、本は読まずにエッセンスだけ知りたいという「虫のいい考え」もありです。金出教授の実体験に基づく楽しいエピソードとウィットに富んだ警句の行間に触れる絶好の機会です。

特別ゲスト：金出 武雄(カーネギーメロン大)

写真および略歴は「特別講演：計算機視覚の研究 - その仕組みと今後 -」のページを参照。



司 会：田村 秀行(立命館大)

1970年京大・工・電気卒。電子技術総合研究所を経て、86年キヤノン入社。情報メディア研究所長等を歴任。97年1月より01年3月までMRシステム研究所取締役(のち専務取締役)を兼務し、「複合現実感研究プロジェクト」を率いた。画像情報処理、マルチメディア、複合現実感等の研究推進と実用化に従事。03年4月立命館大学理工学部教授。04年4月同情報理工学部に移籍。工学博士。電子情報通信学会フェロー。



パネリスト：加賀美 聡(産総研)

1997年3月、東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。博士(工学)。同年より、JSPS 未来開拓学術研究推進事業「マイクロ・ソフトメカトロニクス統合体としての高度生体機能機械の研究」により東京大学リサーチアソシエイト。2001年4月、(独)産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究ラボが金出 CMU 教授をラボ長として発足するのに伴い入所。主任研究員。2003年4月、改組によりデジタルヒューマン研究センター・ヒューマノイドインタラクションチームの研究チーム長。日本ロボット学会研究奨励賞(1997年)、日本ロボット学会論文賞(1998年)、IEEE ICHR Best Paper Award(2000年)など。



パネリスト：芦ヶ原隆之(ソニー)

1988早大・理工・応物卒。1990同大大学院修士課程了。同年ソニー(株)入社。1994-1996カーネギーメロン大学ロボット工学研究所客員研究員。現在、ソニー(株)情報技術研究所シニアリサーチャー。ロボットビジョン、3次元画像計測、ヒューマン・マシン・インタラクション等の研究に従事。



パネリスト：佐藤いまり(東大)

1994 慶応義塾大学・総合政策学部卒、2002 東京大学大学院・学際情報学府修士課程修了。同大学院博士課程に在学中。日本学術振興会特別研究員。1992.8-1993.8 Carnegie Mellon University (CMU) Center for Machine Translation, Research Assistant, 1994-1996 CMU, The Robotics Institute, Visiting Scholar。1997より東京大学生産技術研究所にてコンピュータビジョン、コンピュータグラフィックスに関する研究に従事。



パネリスト：日浦 慎作（阪大）

1972年生．1993年大阪大学基礎工学部制御工学科飛び級中退，1997年同大学院博士課程短期修了．同年京都大学リサーチアソシエイト，1999年大阪大学大学院基礎工学研究科助手，2003年同助教授．三次元動画像計測・処理とそのVR・コミュニケーション応用の研究に従事．1993年電気関係学会関西支部連合大会奨励賞，2000年画像センシングシンポジウム優秀論文賞受賞．電子情報通信学会，情報処理学会，日本バーチャリアリティ学会各会員．博士（工学）．

JABEE：情報および情報関連分野における最低水準とは？
9月7日（火）9:30-12:00 [メイン会場（恵道館2F KD-201）]

[全体概要]

JABEE（日本技術者教育認定機構）による教育プログラムの認定審査では，社会の要求する水準に関する議論を教育機関と審査チームが協力して行うことが期待されている．情報処理学会アクセディテーション委員会は，そのための第一歩として同学会コンピュータサイエンス教育小委員会に依頼して，JABEE情報および情報関連分野における分野別要件で修得すべき知識・能力として挙げている項目をより具体化したキーワードを検討して頂いた．また，これに対するSEおよびIS領域での議論，電子情報通信学会認定企画実施委員会，情報処理学会アクセディテーション委員会での議論を紹介するとともに，シンポジウム参加者との討論を通じて，情報および情報関連分野における最低水準に関する共通認識を深めることをシンポジウムの目的とする．

[9:30-9:35] 講演1：趣旨説明



牛島 和夫（九州産業大）

1961年東京大学工学部卒．1977年九州大学工学部教授．2001年九州大学名誉教授．
同年，財団法人九州システム情報技術研究所長．2002年4月九州産業大学情報科学部教授・学部長．
情報処理学会理事，監事，九州支部長を歴任．2003年情報処理学会名誉会員．
現在情報処理学会アクセディテーション委員会委員長．

[9:35-10:00] 講演2：キーワード案の説明



疋田 輝雄（明大）

明治大学理工学部情報科学科教授．
2003年より情報処理学会コンピュータサイエンス教育委員会委員長．大学評価・学位授与機構専門委員．
専門分野はプログラミング言語，ネットワークプログラミング．
朝倉書店「情報科学こんせがつ」シリーズ編集．

[10:00-10:15] 講演3：IS領域からの意見



神沼 靖子（埼玉大）

東京理科大学理学部卒業（1961）．
日本鋼管，横浜国大，埼玉大，帝京技科大を経て，前橋工科大学教授を2003年3月定年退職．現在は埼玉大学大学院文化科学研究科博士課程ほかの非常勤講師．
現在，情報処理学会のアクセディテーション委員会IS分科会委員長，情報処理教育委員会委員，生涯教育委員会委員など．専門分野：情報システム学．学術博士．情報処理学会フェロー．

[10:15-10:30] 講演4：SE領域からの意見



高樫 敦（宮城大）

1984年東北大学大学院工学研究科博士課程修了．東北大学電気通信研究所助手，助教授，静岡大学情報学部助教授，教授を経て，現在宮城大学事業構想学部教授．工学博士．プログラム理論や分散システム基礎論などの計算機科学分野について興味を持つ．情報処理学会情報処理教育委員，アクセディテーション委員，資格制度委員，分野別審査会委員などの委員を務める．静岡大学情報学部計算機科学コース認定試行（2001年度），受審（2002年度）プログラム責任者．情報処理学会，電子情報通信学会，日本ソフトウェア科学会，人工知能学会，ACM，IEEE各会員．

[10:30-10:45] 講演5：電子情報通信学会からの意見



牧野 光則（中大）

1987早稲田大・理工・電子通信卒．1992早稲田大院修了，博士（工学）．1991～1992早稲田大・助手，1992～現在中央大勤務．現在中央大学理工学部情報工学科教授．2003～2004イリノイ大学シカゴ校訪問研究員．コンピュータグラフィックス非線形システム解析に関する研究に従事．電子情報通信学会回路とシステム研究専門委員会幹事，基礎・境界ソサイエティ会計幹事・庶務幹事などを歴任．現在，電子情報通信学会認定企画委員会幹事，日本技術者教育認定機構（JABEE）基準委員．

[10 : 45- 11 : 00] 講演 6 : アクレディテーション委員会からの意見



掛下 哲郎 (佐賀大)

昭和59年九州大学情報工学科卒業。平成元年 同博士後期課程修了。工学博士。現在、佐賀大学知能情報システム学科助教授。平成13年度より学科のJABEE WG 座長として教育システムの構築を進め、同学科の教育プログラムは平成15年度にJABEEによる認定を受けた。平成16年度より情報処理学会アクレディテーション委員会 幹事。JABEE基準委員。データベースおよびソフトウェア工学を専門とする。情報処理学会、電子情報通信学会等会員。

[11 : 00- 12 : 00] 総合討論 : JABEE : 情報および情報関連分野における最低水準とは？

司 会 : 牛島 和夫 (九州産業大)

写真および略歴は「講演1: 趣旨説明」のページを参照。

パネリスト : 疋田 輝雄 (明大)

写真および略歴は「講演2: キーワード案の説明」のページを参照。

パネリスト : 神沼 靖子 (埼玉大)

写真および略歴は「講演3: IS 領域からの意見」のページを参照。

パネリスト : 宮裡 敦 (宮城大)

写真および略歴は「講演4: SE 領域からの意見」のページを参照。

パネリスト : 牧野 光則 (中大)

写真および略歴は「講演5: 電子情報通信学会からの意見」のページを参照。

パネリスト : 掛下 哲郎 (佐賀大)

写真および略歴は「講演6: アクレディテーション委員会からの意見」のページを参照。

プレミアワークショップ : ユビキタス・モバイルネットワークとセキュリティ 9月7日(火) 12:30-17:45 [メイン会場(恵道館2F KD-201)]

[全体概要]

近年、携帯電話、カーナビといった機器が「コンピュータ」となり、オフィス機器、家電、車がコンピュータで制御されるようになり、日常生活において意識されずにコンピュータが利用される時代となってきた。さらに、店舗や道路等多くの場所に様々な目的のセンサが遍在しており、これらが取得したマルチメディア情報を分散環境上でネットワーク技術を用いて有機的に結合し、協調した動作を考えることは、今後の情報技術の発展を考える上で非常に重要であると考えられる。一方、コンピュータやネットワークの安全性に関する情報が新聞などを賑わさない日はないといっても過言ではない。本ワークショップでは、今後のネットワーク技術の発展を考えるに当たり、これらユビキタス・モバイルネットワークにおける情報通信技術とセキュリティ技術に関連する、電子情報通信学会と情報処理学会の中の7研究会の代表発表とパネルを中心に、ユビキタス・モバイルネットワークとセキュリティについて議論する。

司会進行 : 東野輝夫 (阪大)、高橋 修 (はこだて未来大)

主催 : 電子情報通信学会 オフィスインフォメーションシステム研究会 (OIS)、情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会 (DPS)、グループウェアとネットワークサービス研究会 (GN)、モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会 (MBL)、コンピュータセキュリティ研究会 (CSEC)、高度交通システム研究会 (ITS)、ユビキタスコンピューティングシステム研究会 (UBI)

[12 : 30- 13 : 20] 講演 1 : Security Protocols for Wireless Communication

海外研究者講演予定

[13 : 30- 13 : 55] 講演 2 : 時・空間依存オブジェクト同期とアプリケーション



齋藤 正史 (阪大)

1983年東京工業大学情報工学科卒業。同年三菱電機(株)入社。

1992年コーネル大学コンピュータサイエンス学科修士課程修了。

2003年大阪大学情報科学研究科博士課程入学。

オペレーティングシステム、インターネット、分散システム、ITSの研究開発に従事。

[13 : 55- 14 : 20] 講演 3 : ユビキタス・モバイル技術と協調学習環境



緒方 広明 (徳島大)

1992年徳島大学工学部知能情報工学科卒。1994年同大学院博士前期課程修了。同年、同博士後期課程進学。1995年同課程退学。同年同大学助手。現在同助教授。博士(工学)。2001～2003年米国コロラド大学ボルダー校L3D研究所客員研究員。CSCW, CSCL, 特に社会ネットワークの支援やKnowledge Awarenessの研究に従事。教育システム情報学会論文賞, WebNet99 Top Paper Award受賞。ACM, IEEEなど8学会会員。

[講演概要]

本発表では、ユビキタスコンピューティング環境において、学習者一人一人にあった形で日常的な学びを支援するユビキタス学習環境を提案する。特に、学習者中心の学習環境として、いつでもどこでも利用できる学習環境ATAPL (Any Time and Any Place Learning) を提供するだけでなく、適切な場所で適切な時に適切な情報を提供する学習支援環境RTRPL (Right Time and Right Place Learning) を目指す。また、ユビキタス学習環境の学習ドメインの一つとして語学学習をとりあげる。言語学習は、教室内での授業や辞書を用いた学習だけでなく、日常生活を送る中で獲得される部分も大きいとされている。そこで本稿では、そのプロトタイプシステムとして、PDAを用いたユビキタス語学学習支援環境、CLUEについて述べる。

[14 : 20- 14 : 45] 講演 4 : リモートオフィス環境構築とセキュリティ - 個人認証, VPN, 脆弱性検査, そして被害予測 -



森井 昌克 (徳島大)

1958年大阪生。1989年大阪大学大学院工学研究科博士後期課程通信工学専攻修了, 工学博士。同年, 京都工芸繊維大学工学部助手。愛媛大学工学部講師, 助教授を経て, 1996年徳島大学工学部教授。電子情報通信学会オフィスインフォメーションシステム研究専門委員会委員長, 同情報セキュリティ専門委員会副委員長, 情報理論とその応用学会評議員。インターネット, ネットワークセキュリティ, 符号理論, 情報理論等の研究, 教育に従事。平成6年および9年電気通信普及財団賞, 平成15年暗号と情報セキュリティシンポジウム20周年記念論文賞受賞。

[講演概要]

「サテライトオフィス」という言葉が「ホームオフィス」から「ユビキタス」という環境に取って代わり, いつでもどこでも誰でもオフィスワークが可能な環境を与えようとしている。距離を克服するリモートオフィスにおいて, 通信環境が比較的満たされようとしている現在, 最大の課題がセキュリティの問題である。我々はリモートオフィスでのセキュリティを確保するために, 「認証技術」, 「通信路暗号化技術」および「不正アクセス対策技術」のそれぞれについて研究・開発を行い, いくつかの方式を提案し, 評価している。また, それらを利用することによって, リモートオフィスでの総合的セキュリティシステムの構築を行ってきた。本講演では, クライアント側のVPNクライアントモジュールをサーバ側から遠隔制御し, サーバ側のファイアウォールと連携することで, アクセス制御の集中管理が容易にできる新しいVPN方式を中心に, VPNと認証方式との連携, さらにサーバおよびクライアント脆弱性検査, 不正アクセスに対する被害予測システムについて述べる。

[14 : 55- 15 : 20] 講演 5 : データマイニングと個人情報保護



菊池 浩明 (東海大)

1988 明治大学工学部電子通信工学科卒。1990 同大学博士前期課程修了。1990 富士通研究所勤務。1994 東海大学工学部電気工学科助手。1995 同専任講師。1999 同助教授。1997 カーネギーメロン大学計算機科学科訪問研究員。2000 電子情報学部情報メディア学科助教授。博士(工学)。WIDEプロジェクト, 暗号メールシステムFJPEMの開発, 認証実用化実験協議会(ICAT), 広域認証技術タスクフォース, IPA独創情報技術育成事業「インターネットにおけるプライバシー技術構築と適用に関する研究開発」などに従事。ファジ理論, 多値論理, 機械学習, ソフトコンピューティングなどに興味を持つ。1990 日本ファジ学会奨励賞, 1993 情報処理学会奨励賞, 1996 SCIS論文賞。情報処理学会, 電子情報通信学会, 日本ファジ学会, IEEE各会員。

[15 : 20- 15 : 45] 講演 6 : 交通情報のデフォルメ地図へのマッピング方式とモバイル交通情報提供システムの適用



丸山貴志子 (日立)

昭和63年お茶の水女子大学大学院・理学研究科・物理学専攻修士課程修了, 平成4年総合研究大学院大学・数物科学研究科・統計科学専攻博士課程修了。博士(学術)。同年(株)日立製作所入所。以来, 中央研究所にて, 空間情報システムの研究に従事。現在, 同研究所・主任研究員。

[15 : 45- 16 : 10] 講演 7 : cogma : ユビキタス情報環境を構築する基盤ソフトウェア



河川 信夫 (名大)

1990年名古屋大学工学部電気系学科卒, 1995年同大学工学研究科博士課程情報工学専攻了. 同大学助手, 講師を経て, 2002年より名古屋大学情報連携基盤センター助教授(情報科学研究科併任). モバイルコミュニケーション, マルチモーダルインタフェースの研究に従事. 最近では, ユビキタス環境を構築する基盤ソフトウェアの研究開発を進める. 2004年に研究成果活用兼業にてベンチャー企業を設立し, 研究成果の社会還元を目指している. 電子情報通信学会, 情報処理学会, 日本ソフトウェア科学会, 人工知能学会, 日本音響学会, IEEE, ACM 各会員.

[16 : 10- 16 : 35] 講演 8 : ユビキタス技術を用いた新たなサービス
~ Advanced- インストアマーケティングの可能性 ~



小磯 貴史 (東芝)

1972年生. 1995年阪大・基工・制御工卒. 1997年阪大院・基工・システム科学分野修士了. 2000年阪大院・基工・システム人間系専攻博士了. 同年東芝入社, 研究開発センターシステム技術ラボラトリに配属, 現在に至る. 主にHDDキャッシュアルゴリズムの分析評価, 群集ナビゲーションの研究に従事. 最近は, 特に顧客属性や, 場のレイアウトによる顧客行動の変化をシミュレートする技術に興味を持つ. 工博(阪大). 趣味はスポーツ観戦等.

[16 : 45- 17 : 45] パネル討論 : ユビキタス・モバイルネットワークとプライバシー保護

[討論概要]

電子タグをはじめとする新たな技術は, ユビキタス社会の整備発展には欠くことができないものであるがゆえにその開発から実装に向けた取組が急ピッチで進められている. 反面, 個体識別技術の発達と個人のプライバシー保護との関係で大きな問題を生じさせる可能性も懸念されている.

プライバシー保護の問題は, ユビキタス社会の発展のために解決しなければならない重要な問題であると認識されつつある一方で, 「プライバシー」という概念が, 各個人の主観性に大きく影響される抽象的な概念であるがゆえに, それに対する配慮から最後の一步が踏み出せないことも多い.

情報化社会とは限りなくプライバシーが「保護されない」社会であるが, 「まったく保護されない」社会にならないために, 本報告では, 来年4月1日に施行される個人情報保護法も踏まえて, 「プライバシー」と「個人情報」の保護の問題を整理し, 新たな技術開発と個人の権利利益保護の調和点を探る.



司 会: 佐々木良一 (電機大)

昭和46年3月東京大学卒業. 同年4月日立製作所入所. システム開発研究所にてシステム高信頼化技術, セキュリティ技術, ネットワーク管理システム等の研究開発に従事. 同研究所第4部長, セキュリティシステム研究センタ長, 主管研究長等を経て平成13年4月より東京電機大学工学部教授. 工学博士(東京大学). 昭和58年電気学会論文賞受賞. 平成10年電気学会著作賞受賞. 平成14年情報処理学会論文賞受賞. 著書に, 「インターネットセキュリティ」オーム社1996年, 「インターネットセキュリティ入門」岩波新書1999年, 「情報セキュリティ事典」(代表編)共立出版2003年, 等. IEEE, 情報処理学会, 電子情報通信学会等の会員. 情報処理学会理事, フェロー. 情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会顧問. 日本セキュリティ・マネジメント学会常務理事, IFIP, TC11日本代表.

パネリスト: 河川 信夫 (名大)

写真および略歴は「講演7: cogma: ユビキタス情報環境を構築する基盤ソフトウェア」のページを参照.



パネリスト: 新保 史生 (筑波大)

筑波大学 図書館情報メディア研究科 助教授. 博士(法学).

専門: 憲法, 情報法. 所属学会: 情報ネットワーク法学会, 法とコンピュータ学会, 情報通信学会, 情報メディア学会. 主要著書: 『電子ネットワークと個人情報保護』(経済産業調査会2002: 共著), 『プライバシーの権利の生成と展開』(成文堂2000: 単著). (財)日本情報処理開発協会情報セキュリティ対策室研究員を経て, 2002年より現職.

パネリスト: 菊池 浩明 (東海大)

写真および略歴は「講演5: データマイニングと個人情報保護」のページを参照.

SPAM 対策技術の最前線 - インターネット技術スペシャルセッション - 9月7日(火) 9:00-12:00 [第1サブメイン会場(恵道館3F KD-301)]

[全体概要]

今や、電子メールは、研究やビジネスだけでなく、一般の社会生活におけるコミュニケーションツールとして広く浸透し、必要不可欠な存在となっている。しかし一方で、スパムと呼ばれる迷惑メール(UCE/UBE)も大量に行き交う状況にあり、ウィルスやワームにより送信元の電子メールアドレスが詐称されるケースも多くなってきた。これは、日本国内だけに限った問題ではなく、世界的にも認識されている問題である。そこで、本企画では、IAJapan/INTAP と連携して、電子メール配送に関わる問題への対策技術に関して IETF や IRTF での検討状況を中心とした最新動向を紹介すると共に、今後の技術展望について議論するパネルディスカッションを実施する。

[9:00- 10:00] 講演: SPAM 対策の技術と標準化動向



中村 素典(京大)

1994年京都大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。立命館大学理工学部助手、京都大学経済学部助教授、京都大学総合情報メディアセンター助教授を経て、2002年より京都大学学術情報メディアセンター助教授、現在に至る。博士(工学)。情報処理学会、日本ソフトウェア科学会各会員。コンピュータネットワーク、遠隔講義などの研究に従事。

[講演概要]

インターネットが商用利用に開放されて以来、電子メールはビジネスに必要な不可欠なものとなり、一般社会においても日常のコミュニケーションのために広く利用されるようになってきた。しかし、電子メールユーザの裾野の広がりとともに、電子メールを媒介としたウィルスやワームが出現・急増し、スパムと呼ばれる受信希望をした覚えがない宣伝メールも急激に増加の一途をたどっている。このままでは、電子メールの利便性が損なわれていくという危惧から、世界的にも様々な形で対策が検討されている。本講演では、IETF や IRTF における検討を中心とした各種対策技術に関する最新動向に関して紹介する。

[10:00- 12:00] パネル討論: SPAM 対策技術の現状と今後



司 会: 安東 孝二(東大)

1991年、東京大学工学部原子力工学科卒業、
1996年、東京大学大学院工学系研究科システム量子工学満期退学。
同年より東京大学教育用計算機センター助手を経て
1999年より東京大学情報基盤センター助手を務める。



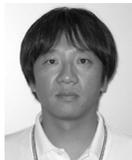
パネリスト: 伊藤 孝史(NTTドコモ)

平5豊橋技科大・情報卒。平7同大学修士課程修了。
同年NTT移動通信網株式会社(現NTTドコモ)入社。
無線局の保守業務を経て、平12年よりimodeセンタのサービスの開発の従事。



パネリスト: 加藤 佳美(松下電器)

1988年 東京大学電子工学科卒業 松下通信工業株式会社入社
1990年 パソコン通信(SiLK-NET)立ち上げに従事
1997年 ISP(hi-ho)立ち上げに従事
以降、hi-hoのサービシステム全般を統括するとともに電子メールの健全な普及に尽力中。



パネリスト: 近藤 学(IIJ)

1990年 徳島大学工学部精密機械工学科卒業、旭化成情報システム株式会社入社。プラントにおけるエキスパートシステムの開発等に従事。1998年 株式会社インターネットイニシアティブ入社。以来、主にメールサービスの企画・開発を担当。MAAWG(Messaging AntiAbuse Working Group)メンバー。



パネリスト: 瀧田佐登子(Mozilla Japan)

日電東芝情報システム、富士ゼロックス情報システム、東芝等を経て、1996年 Netscape Communications 入社。I18N、L10Nのエンジニアとして製品の開発及びプロモーション担当。2001年 US AOL/Netscape プロダクトマネージャとして日本の金融関連サポート及びNetscape 7.0のプロモーション業務担当。2003年 オレンジソフトとコンサルタント契約。携帯電話用POP/SMTPメーラー(BREWアプリ)の開発プロジェクトマネージャ。2004年 Mozillaの技術、関連技術の普及啓蒙を目的としてMozilla Japan設立。理事。



パネリスト：中島 昭浩（KDDI）

1988年2月に旧DDI入社，2003年10月，ソリューション商品開発部商品開発3部長に就任．

2004年4月，モバイルソリューション商品開発本部商品開発部長に就任．

1996年DION，97年EZwebのネットワーク構築，サービスプラットホーム開発の技術PMに就任，2000年BREWプラットフォーム開発のPM就任，現在に至る．

パネリスト：中村 泰典（京大）

写真および略歴は「講演1：SPAM対策の技術と標準化動向」のページを参照．

ソフトウェアと、日本の社会～特徴を強みに変えていくには～ 9月7日（火）13:00-16:30【第1サブメイン会場（恵道館3F KD-301）】

【13:00-13:05】あいさつ：SWIM研究会

【13:05-13:25】講演1：ソフトウェアと日本の社会～特徴を強みに変えてゆくには～



松本 正雄（九州産業大）

九州産業大学情報科学部教授．近年の研究テーマはIT革新と経営改革の共進化についてである．具体的には企業連携や行政組織などを結んだ『組織横断価値連鎖 Interpriseのモデル化』や『ソフトウェア技術の国際競争力の向上』である．従前，IEEE-CS，情報処理学会，日本科学技術連盟，国際連合ニューヨーク本部においてソフトウェア工学や品質管理の研究を遂行した．関連論文150件以上発表．'95年デ賞品質管理文献賞，'03年e-Society国際学会優秀論文賞をそれぞれ受賞．NEC，ドルトムント大学，筑波大学大学院社会学系教授を経て現職．工学博士．

【講演概要】

本問題を経営論または技術論のいずれかの視点だけから論ずるのでは，問題の本質を抉り出し核心に迫ってゆくことにならない．本問題は両者の関係上に存在しているものなので，技術経営論の視点から捉えてはじめて意義ある議論になる．今まで行われた研究の多くは，技術論が経営論のいずれかに偏っている．本問題の本質は投資効果でみた国際競争力の低さであり，その問題の因って来る根源は次の3点である：(1)人月ベースのビジネスモデルに準拠した産業特質を払拭できない状況が続いている．(2)加えるにソフトウェアに関連した科学や工学はそれを駆使することの経済的価値を実務家の納得する程度に説明できないほど脆弱なままである．(3)あまつさえ実業界が渴望する例えば情報システム学といった基盤技術を学会はいまだに満足に提供できていない．本問題の解決策は(1)目標指向のチームワークビジネスモデル，(2)周到な配慮力にものをいわせた製品開発やプロジェクト管理，(3)日本人社会が持つ優れたイノベーション能力の発揮，を機軸としたソフトウェアの国際展開ビジネスに徹することである．

【13:25-13:45】講演2：実証的ソフトウェア工学への取り組み



松本 健一（奈良先端大）

昭和60年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業．平成元年同大学大学院博士課程中退．

同年同大学基礎工学部情報工学科助手．平成5年奈良先端科学技術大学院大学助教授．

平成13年同大学教授．工学博士．エンピリカルソフトウェア工学，特に，プロジェクトデータ収集／利用支援の研究に従事．電子情報通信学会，情報処理学会，IEEE，ACM各会員．

【講演概要】

システム構築の遅延や予算オーバーの問題に悩まされていないSI会社やソフト会社は皆無だと言っても過言ではない．顧客の要求が明確でない，カットオーバーまでの期日が短い，人材育成が追いつかない，等の問題がボディプラーのようにシステム構築に大きな影響を与えている．エンドユーザにとっても，システム構築の失敗が経営を直撃する点では同じである．ソフトウェアの信頼性や生産性の研究は，ソフトウェア工学と呼ばれる分野において行われてきたが，その多くは，方法論やツールを個別に提示してきたに過ぎない．こうした状況を打破すべく，ソフトウェア開発に関するプロセスやプロダクトのデータを収集，分析し，信頼性や生産性の改善に役立てようという実証的ソフトウェア工学の研究や実践が盛んになってきている．本パネルでは，実証的ソフトウェア工学の意味や動向を紹介すると共に，日本のソフトウェア産業を強くする一助となりうるか議論したい．

[13 : 45- 14 : 05] 講演 3 : ソフトウェアと日本の社会 ~ 特徴を強みに変えてゆくには ~



浅田 隆治 (ウッドランド)

昭和 14 年 3 月 28 日生まれ。昭和 39 年 3 月京都大学文学部卒業。昭和 39 年 4 月神戸市立中学校教員。昭和 50 年公認会計士試験合格。昭和 51 年 2 月当社監査役。平成元年 3 月当社専務取締役。平成 9 年 6 月当社代表取締役社長。平成 15 年 4 月当社代表取締役会長(現任)。平成 16 年 6 月社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会会長(現任)。

[講演概要]

日本のソフトウェアビジネスの弱さ マーケティングに原因
組み込み型、ゲームを除いて、国際競争力がない。
特に、言葉や習慣の制約を受けない抽象的なレベルのソフトに問題あり。
しかし、技術的敗北ではなく、マーケティングの敗北である。
ソフトビジネスの難しさ
技術情報の濃密な共有の必要性和対象の巨大性への対応の両立。
「ソフト企業は 1 人でもできるが、生き残るソフトは世界で唯一」。
激しい競争の存在 マーケティングの重要性。
高度なマーケティング活動を持續する組織
日本の小集団主義から従属関係を排除すること。
シリコンバレーのクラスターモデル・・・1つの解。
新しい胎動・・・ベンチャーキャピタル、NPO、業界団体等々、仲介組織の登場。
成功の鍵・・・人材の育成と持続的な需要の存在。

[14 : 05- 14 : 25] 講演 4 : ソフトウェアと日本の社会 ~ 特徴を強みに変えてゆくには ~



築地 達郎 (京都経済新聞 / 報道ネットワーク)

1960 年生まれ。83 年京大工学部卒、日本経済新聞社入社。95 年独立。97 年(株)報道ネットワークと京都経済新聞社を設立し、代表取締役就任。公職は国際大学 GLOCOM フェロー(95 年～)、龍谷大学助教授(2005 年より予定)など。著書に「ビル・ゲイツが大統領になる日」「CALS から EC へー産業を変える電子商取引」(以上単著)「日本のジャーナリズムとは何か」(共著)など。『知恵蔵』ロボット項を執筆担当。

[講演概要]

ソフトウェア市場は、ビジネスや生活においてコンピューターがどのように活用されるかによって規定される。これまでは米国での活用方法が常に先導的であったため、世界のソフト産業は米国市場を志向してきた。
それに対して、日本では家電組み込みコンピューターの分野で圧倒的な優位を保ち、TRON をはじめとするソフト分野を創出してきた。
また、ブロードバンドの事実上全戸普及をいち早く達成した韓国では、個人間通信などでソフトウェア需要を生み出している。
次なる問題は、向こう 3 年ないし 5 年程度の将来にわたって、ビジネスや生活がどのように変化し、コンピューターの用途開発がどのように展開するかである。
本講演では、テロが横行する社会情勢や東アジア諸国における急激な少子高齢化などがもたらす社会的インパクトと、それに伴うビジネス展開を展望し、それに基づいてコンピューター用途の展開を考える。

[14 : 25- 14 : 45] 講演 5 : ソフトウェアと日本の社会 ~ 特徴を強みに変えてゆくには ~



末松 千尋 (京大)

京都大学大学院経済学研究科助教授(専門: 事業創成, IT ビジネス, IT 戦略)。79 年東京工業大学卒業。84 年スタンフォード大学大学院経営工学科修了。85 年より、マッキンゼー・アンド・カンパニー。88 年より独立、国内外の大手企業からベンチャーまで、IT をキーワードにした全社組織変革・戦略構築コンサルティング活動に従事。95-2000 年慶應義塾大学ビジネススクール講師を兼任。2001 年より現職。

[講演概要]

日本のソフトウェア産業を考える上で、市場規模の大きいと考えられる「業務系ソフト」と「組み込みソフト」の二つの領域について議論したい。企業業務で使用される業務系ソフトについては、ほとんど壊滅的状况にあるのは明らかであるが、それはオブジェクト化やアウトソーシングなど外部化の進展により、改善の可能性はないと過言ではない。特に、日本型経営と IT が排他的であることが、ソフトウェアを含む、あらゆる IT 産業の衰退の元凶となっている。一方、組み込みソフトの領域は、日本企業が以前、競争力を有している産業を網羅している。家電、デジタル家電、ゲーム、携帯、ロボット、機器制御、自動車(ナビゲーション、通信、アメニティ、駆動制御)、時計などである。従来、これらは縦割りの非効率な開発がなされてきたが、特に LINUX の台頭により、抜本的な生産性向上が期待され、それが製品力向上につなげる可能性を模索したい。

【14:45-16:30】パネル討論：ソフトウェアと日本の社会～特徴を強みに変えてゆくには～

【討論概要】

日本のソフトウェアおよびその関連産業(以下「ソフトウェア産業」)は現在、IT化/ブロードバンド化/コピキタス化の広がりに伴い、その先行きが注目されている。しかし一方、米国/アジア各国におけるソフトウェア産業の著しい伸長は、日本の現状および先行きに対する再評価を促している。そこで、日本の社会/風土等を踏まえ、日本ならではのソフトウェア産業の特徴を明らかにしながら、プレゼンテーション/パネルディスカッションを通じて、以下想定される論点を中心に議論を深めたい；

- ・日本のソフトウェア産業に関する現状認識(特徴/強み/弱み)
- ・日本のソフトウェア産業に関する今後の展望、ならびに強みを発揮できる分野(業務用ソフト/組込ソフト etc.)
- ・今後の展望におけるキーポイント(ハードウェア/通信サービスの動向、政官界の動向、技術的に解決すべきハードル etc.)
- ・学界がソフトウェア産業に対して、サポートすべきこと



司 会：岩田 祐一 (NICT)

1971年生まれ。東京大学経済学部卒業、筑波大学経営・政策科学研究科修了。1995年日本電信電話(株)入社、山梨支店、国際本部、NTTコミュニケーションズ(株)財務部を経て現在、(株)情報通信総合研究所経営研究グループリサーチャー。情報・通信ビジネス全般の経営・財務戦略調査分析を中心とした活動を行う。「米国ITビジネス企業の収益性サーベイ」(松本正雄と共著)で、第18回テレコム社会科学学生賞を受賞。

パネリスト：浅田 隆治 (ウッドランド)

写真および略歴は「講演3：ソフトウェアと日本の社会～特徴を強みに変えてゆくには～」のページを参照。

パネリスト：末松 千尋 (京大)

写真および略歴は「講演5：ソフトウェアと日本の社会～特徴を強みに変えてゆくには～」のページを参照。

パネリスト：築地 達郎 (京都経済新聞/報道ネットワーク)

写真および略歴は「講演4：ソフトウェアと日本の社会～特徴を強みに変えてゆくには～」のページを参照。

パネリスト：松本 健一 (奈良先端大)

写真および略歴は「講演2：実証的ソフトウェア工学への取り組み」のページを参照。

パネリスト：松本 正雄 (九州産業大)

写真および略歴は「講演1：ソフトウェアと日本の社会～特徴を強みに変えてゆくには～」のページを参照。

ここに注意しよう日本人の英語の発音

9月8日(水) 10:30-12:00 [第1サブメイン会場(恵道館3F KD-301)]



金谷 健一 (岡山大)

1972年東京大学工学部計数工学科(数理工学)卒業。1979年同大学院博士課程修了。工学博士。群馬大学工学部情報工学科教授を経て、現在岡山大学工学部情報工学科教授。この間米国Maryland大学、デンマークCopenhagen大学、英国Oxford大学、フランスINRIA研究所客員研究員。昭和61年度情報処理学会論文賞、平成11年電気通信普及財団賞。平成14年1月IEEEフェロー。コンピュータビジョンの統計的信頼性および最適化の数理解析に従事。

【講演概要】

先端技術は世界に発信して初めて意味があるが、日本人の国際会議における英語による口頭発表がまずいために国際的に評価されないことがしばしば起こる。そこでこの講演では日本人が間違えやすい発音やアクセントを実例を通して指摘し、なぜ日本人英語になるのか、どうすればネイティブ風に発音できるのかの要領を示す。

パネル討論：『淘汰の時代』の産業界が求める大学の教育・研究レベル ～ IT（情報・通信）分野の大学評価結果発表～ 9月8日（水）15:00-17:30 [第1サブメイン会場（恵道館 3F KD-301）]

[討論概要]

21世紀COEプログラムや大学評価機構による評価など、大学の研究や教育はかつてない厳しい評価にさらされている。大学の活動は、新産業の創出や人材の育成を通じた産業界の活性化に不可欠であると同時に、学問研究そのものが産業界に役立つ成果を出すことも求められる。一方で、現状の大学の教育内容が、産業界の求めるものと必ずしも一致しないことも指摘されている。経済産業省は、2003年度情報通信（IT）分野に絞り、情報通信系の産業界で求められる人材像毎に大学の取組みや成果を評価する指標を作成した。その指標を基に、情報処理学会・電子情報通信学会を軸とした研究者が所属する全国約1400の情報通信系の学科・専攻長にアンケートを送り、大学の人材養成機能を中心に、各大学の研究・教育活動を評価するための本格的調査を実施した。本パネルは、この評価の方法論やアンケートによる評価結果に基づき、大学と産業界の距離感の現状を提示し、産業界が大学に求める人材養成教育とは何か、大学はそれにどのように応えていくべきかを討議することにより、大学と産業界のよりよい関係を築く方向性を探ることを狙いとする。

本パネルでは、今回の「大学評価の目的とその評価結果」を提示した後、「産官学の各立場から問題」を提起し、全体討議を行う。



司 会：阪田 史郎（千葉大）

1974年早稲田大学理工学部電子通信修士卒。同年日本電気(株)入社、以来、同社中央研究所にて、コンピュータネットワーク、インターネット、マルチメディア通信、モバイルコンピューティング、ユビキタスシステム等コンピュータと通信の統合領域に関する研究に従事。同社、パーソナルC&C研究所所長、インターネットシステム研究所所長を経て2004年4月より千葉大学大学院教授。工学博士。1997 - 1999年奈良先端科学技術大学院大学客員教授。2002年情報処理学会フェロー。1997 - 99年同会理事、2004年 - 同会監事、2003年 - 電子情報通信学会理事。著書「マルチメディアとネットワークによるグループウェア実現技術」(SRC)、共著「マルチメディアシステム」(昭晃堂)、「インターネットとQoS制御」(装華房)、「モバイルコンピューティング」(アスキー出版)、「無線LAN」(オーム社)、「ユビキタス・ワイヤレス通信」(秀和システム)ほか多数。

パネリスト：大学連携推進課長（経済産業省）



パネリスト：松嶋 登（都立大）

2000年3月 神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了（修士（経営学））
2002年3月 神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了（博士（経営学））
2002年4月 東京都立大学経済学部講師
2002年10月 組織学会大会委員会幹事
2003年4月 東京都立大学経営大学院（ビジネス・スクール）兼任（現在に至る）
専門分野：経営組織論、技術管理論、経営情報論。



パネリスト：山本 真司（河合塾）

静岡県生まれ。1990年学校法人河合塾入塾。高校教員向け雑誌「ガイドライン」編集長に加え、今冬、評価と啓蒙を兼ねた、400人の学者が登場する『わかる！学問 環境・バイオの最前線-大学・研究者ランキング』、1250の学科によるランキング『わかる！学問 理科系の最先端』<共に角川書店刊>を手掛けた。他には、別冊宝島『学問の鉄人-大学教授ランキング<文科系編>』『14才と17才のBOOKガイド』<メディアファクトリー>等。



パネリスト：佐藤雄二朗（アルゴ21）

1933年生まれ。東京都出身。
1955年 立教大学経済学部卒業、吉澤会計機株式会社入社
1958年 日本レミントンユニバック株式会社（現日本ユニシス）入社
1984年 株式会社アルゴ21設立、代表取締役社長就任
2001年 社団法人情報サービス産業協会会長就任
2004年 株式会社アルゴ21代表取締役会長兼社長就任



パネリスト：本位田真一（国立情報学研）

1978年早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻修士課程修了。(株)東芝を経て2000年文部科学省国立情報学研究所教授、現在に至る。2001年から東京大学大学院情報理工学系研究科教授を併任、現在に至る。2002年5月～2003年1月、英国 University College of Londonならびに Imperial College 客員研究員。エージェント技術、オブジェクト指向技術、ソフトウェア工学の研究に従事。IEEE, ACM, 日本ソフトウェア科学会、情報処理学会など各会員。工学博士。

「ソフトウェア研究・教育のあり方と産学融合先端ソフトウェア技術者養成拠点」

以前から企業におけるソフトウェア開発現場と大学におけるソフトウェア教育の乖離が指摘されているが、明確な解決策が得られているわけではない。大学におけるソフトウェア科学の成果を開発現場の有する実問題にいかに関与するかのノウハウの獲得と共有化こそがその解決への道だと確信している。そこで、平成16年度からスタートした文科省科学技術振興調整費における我々の取り組み内容を紹介する。



パネリスト：伊東 幸宏（静岡大）

昭和32年生。昭和55年早稲田大学理工学部電子通信学科卒業。昭和62年早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。同年、同大学理工学部電子通信学科助手。平成2年静岡大学工学部情報知識工学科助教授。平成8年同大学情報学部情報科学科助教授。現在、静岡大学情報学部副学部長・教授、静岡大学教育研究評議会評議員。工学博士。自然言語処理、対話システム、知的教育システム当に興味をもつ。平成15年度情報処理学会優秀教材賞受賞。

リコンフィギャラブル技術は役に立つのか？

9月9日(木) 9:00-12:30 [第1サブメイン会場(恵道館3F KD-301)]

[9:00-9:45] 講演1：最近のリコンフィギャラブル技術の概観



末吉 敏則（熊本大）

1976年九州大学卒業，1978年九州大学大学院修士課程修了，同年九州大学助手。九州大学大学院助教授，九州工業大学助教授を経て，1997年より熊本大学教授。現在，熊本大学工学部数理情報システム工学科コンピュータシステム講座教授。工学博士。現在，電子情報通信学会リコンフィギャラブルシステム研究会委員長，同コンピュータシステム研究会副委員長，FPGA コンソーシアム代表を務める。

[講演概要]

再構成可能なデバイスを用いた新しいコンピュータシステムであるリコンフィギャラブルシステムが近年急速に発達し、実用化とともに注目を集めている。リコンフィギャラブルシステムは、対象とするアプリケーションに対して適応的に自らのハードウェア構成を変更することによって自然な形で処理を行い、高い性能と柔軟性を実現するシステムとして期待される。再構成可能な代表的なデバイスの一つにFPGAがある。最近のFPGAデバイスは、CPU混載大規模版から民生向け量産品にも使える廉価版まで品揃えが充実してきている。本講演では伸張著しいFPGAデバイスの動向を総括し、新たな潮流を紹介する。また、ARM組み込みプロセッサを搭載したFPGAを利用し、組み込みシステム向けのリアルタイムOSを実装・拡張して再構成処理をも含むタスクを適宜切替えることができる動的リコンフィギャラブルシステムの事例を紹介する。

[9:45-10:15] 講演2：動的リコンフィギャラブル技術の概観



天野 英晴（慶大）

1986年慶應義塾大学理工学研究科博士課程修了工学博士。

現在、同大学情報工学科教授。

並列計算機アーキテクチャ、相互結合網、リコンフィギャラブルシステムなどの研究に従事。

[講演概要]

動的リコンフィギャラブルデバイスは、FPGA/PLDなどの従来のリコンフィギャラブルデバイスの単純な発展形ではなく、SoC (System-on-a-Chip) のハードウェア部あるいはDSP部の代替製品として、より広い分野での応用を狙っている。これらのデバイスの多くは、(1)演算器レベルの粗粒度構成 (2) 高速かつ動的な再構成機能 (3) Cレベルの設計環境に特徴を持つ。動作中に高速に再構成することにより、必要なタスクを高い面積効率で実行することができ、高い柔軟性と低い開発コストの割りに高い性能を実現することができる。最近登場した代表的なデバイスを紹介し、他のデバイスに対しての特徴、性能、応用事例、問題点について概観する。

[10 : 15- 10 : 45] 講演 3 : DAP/DNA とその設計環境



佐藤 友美 (IPFlex)

1958年生まれ。アイビーフレックス(株)取締役副社長,CTO。1983年茨城大学工学部卒業後日立電線エンジニアリング(株)入社。以後数社を経て2000年アイビーフレックス(株)を設立,現在に至る。
実績:パケット交換型/回線交換型光LANの開発,インテル互換CPUの機能検証方式確立,386/486インテル完全互換マイクロプロセッサ開発,MPEG1ビデオ・デコーダLSI開発,MPEG2ビデオ・エンコーダLSI開発,アプリケーション特化型DSP・VUPU発明・開発。現在DAPDNAを発明・開発・商品化。

[講演概要]

FPGAを中心とするリコンフィギャブル技術が,激変する市場要求や即座に固定化し難い標準化作業等と並行する形でのハードウェア実装手段として大きな技術的貢献をしてきたという点は万人の認める所である。特に高級言語記述からLUTへの展開を自動化する論理合成技術やフィッティング技術の進歩は,開発時間やTATの大幅短縮等で開発コスト低減に貢献している。しかしユーザの開発ターゲットやシステムの大規模化につれ開発生産性にも限界が見え始めており,結果的に大規模システムを如何にLSI化して行くかという点で依然課題が多い。半導体の微細化とプロセス技術の進歩は専用LSIやASIC開発に対しより大きなNREを必要としており,リコンフィギャブル技術の優位性を保つ要因となっているが,より効率的な開発手法やデバイスが望まれてもいる。我が社のDAPDNA技術がどのような開発ソリューションを提供可能でどうアプリケーション開発をサポート可能なのかという視点で,具体的な提案と説明を行いたい。

[10 : 45- 11 : 15] 講演 4 : DRP とその設計環境



梶原 信樹 (NEC)

昭56山口大・工卒。昭58阪大大学院基礎工修士課程了。昭61同大学院博士課程了。同年日本電気(株)入社。C&Cシステム研究所にて,専用並列マシンの研究開発,再構成可能LSIとそれを用いた汎用アクセラレータの研究開発に従事。現在は同社システムデバイス研究所にて動的再構成プロセッサを搭載したSOCのシステムアーキテクチャの研究を推進。電子情報通信学会,情報処理学会会員。

[講演概要]

動的再構成プロセッサDRP (Dynamically Reconfigurable Processor) のアーキテクチャとその設計環境について紹介する。DRPは複数のデータバス回路を1クロックで切替えることにより,大規模なハードウェアもコンパクトに実装することができる。また,C言語ベースの開発環境によりDRPではソフトウェアライクな応用開発が可能である。このような特徴を備えたDRPを搭載したSOCでは,LSI製造後も機能の追加変更が容易で1つのLSIで多品種への展開が可能になり,またSOCの開発TATの大幅な削減が可能になる等大きな利点を備えている。DRPとCPUを搭載したSOCではCPUに負荷をかける処理の一部を切り出し,それをDRPで処理することにより全体の処理効率を上げることも可能である。CPUの負荷をDRPで軽減するためのサポートツールについても紹介する。

[11 : 30- 12 : 30] パネル討論 : リコンフィギャラブル技術は役に立つのか

司 会 : 天野 英晴 (慶大)

写真および略歴は「講演2:動的リコンフィギャラブル技術の概観」のページを参照。

パネリスト : 末吉 敏則 (熊本大)

写真および略歴は「講演1:最近のリコンフィギャラブル技術の概観」のページを参照。

パネリスト : 佐藤 友美 (IPFlex)

写真および略歴は「講演3:DAP/DNAとその設計環境」のページを参照。

パネリスト : 梶原 信樹 (NEC)

写真および略歴は「講演4:DRPとその設計環境」のページを参照。

パネリスト : 宮森 高 (東芝)

1985年 慶應義塾大学理工学部電気工学科卒業。1987年同大学理工学部電気工学専攻修士課程修了。同年株式会社東芝入社。半導体技術研究所,マイクロエレクトロニクス研究所にて,マクロプロセッサの研究開発に従事。1996-98年米国スタンフォード大学に客員研究員として滞在中,プロセッサに密結合するリコンフィギャラブルレイプロセッサを研究する。帰国後,マルチメディアSoCに組み込まれるコンフィギュラブルプロセッサの研究開発に従事。現在,株式会社東芝SoC研究開発センター主査。

「リコンフィギャラブル技術は役に立つのか?」

LSIの設計時にプロセッサの構成を変更したり,特殊な命令やハードウェア回路を追加することができるコンフィギュラブルプロセッサMeP (Mediaembedded Processor)と,これを内蔵したメディア処理用のSoCを開発している。この経験からプロセッサコアと密結合されたリコンフィギャラブルアレイで構成されるアーキテクチャについて議論する。例えば,MPEG-2 CODECに内蔵されているビデオCODEC用プロセッサでは,マクロブロックより上位の処理をプロセッサコアのソフトウェアで,下位の処理をコアに機能拡張したハードウェアで行なうことで,柔軟性と高性能を両立している。今後,画像符号化のフォーマットが増えることが予想されるが,ハードウェア拡張部をリコンフィギャラブルアレイなどで実現すれば,新しいフォーマットが登場しても,ソフトウェアを変更するかのようハードウェア拡張部を変えることができることが期待できる。





パネリスト：荒川 文男（日立）

1961年7月25日栃木県生まれ。1984年東京大学工学部物理工学科卒業。1986年同大学工学系研究科物理工学修士課程修了。同年(株)日立製作所入社。中央研究所にてマイクロプロセッサの研究開発に従事。2001年スーパーエイチジャパン(株)創立時に1年間在籍後、中央研究所に復帰。IEEE および電子情報通信学会メンバー。

現在、デジタル家電等に用いられているシステムLSIは、プロセッサコアと専用ハードによって製品が実現すべき処理能力をチップ上に実現している。プロセッサコアは最大で数GHzに達する高い動作周波数によって高い処理能力を提供しているが、主に電力の問題によって高周波数化が頭打ちとなりつつある。一方、専用ハードは目的の処理に対しては高性能であるが、他の処理には無力である。そして、多機能な製品を専用ハードで実現する場合には、専用ハードを多数搭載する必要がある。リコンフィギャラブル技術を用いると、特に演算処理において、プロセッサコアの汎用性と専用ハードの高性能の双方を高いレベルで実現できると期待されている。しかしながら、現状は面積が専用ハードの数倍から10倍程度あり、面積増に見合う魅力を提供できていない。本講演では、プロセッサアーキテクトの立場から、リコンフィギャラブル技術に対する期待や提言を述べる。

量子コンピュータの科学

9月9日(木) 13:00-16:00 [第1サブメイン会場(恵道館3F KD-301)]

[13:00-14:00] 講演1：量子情報処理 - 次世代モデルの新展開



今井 浩(東大)

1958年生。1981年東京大学工学部計数工学科卒業、1983、1986年東京大学大学院工学系研究科情報工学専門課程修士、博士課程修了、工学博士取得。1986～1990年、九州大学工学部情報工学科助教授、1990年東京大学理学部情報科学科助教授。現在、東京大学情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻教授、JST ERATO今井量子計算機構総括責任者。1987年冬カナダMcGill大学訪問副教授、1988年秋IBM T. J. Watson 研究所訪問研究員。量子情報科学、アルゴリズム論、計算幾何学、最適化の研究に従事。電子情報通信学会、情報処理学会、日本OR学会、ACM、IEEE他各会員。

[14:00-15:00] 講演2：計算機科学者から見た量子計算の原理と仕組み



岩間 一雄(京大)

73年京大卒(電気)。78年博士了。
京都産大講師、助教授、カリフォルニア大学バークレー客員準教授、九大助教授を経て、92年より九大教授。
97年京大教授。

[講演概要]

量子計算は、バックグラウンドの異なる様々な研究者が、様々な異なった立場から研究している希有なテーマであると言って良い。本講演では、計算機科学者、特にアルゴリズム研究を専門にしている者の立場からその原理と仕組みを易しく解説したい。物理現象は全て「モデル」に押し込めてしまうので、量子力学に代表される物理の知識は全く必要としない。

[15:00-16:00] 講演3：量子メカニズムと暗号通信

小柴 健史(ERATO プロジェクト京都オフィス)

情報科学技術分野のファンディング戦略～ JST の Priority Setting にむけて～ 9月7日(火) 14:00-17:30 [第2サブメイン会場(恵道館3F KD-302)]

[全体概要]

独立行政法人科学技術振興機構(JST)は、戦略的創造研究推進事業などを通して新技術の創製に資する基礎的研究を推進している。現在JSTでは有効なファンディングを行うため、各分野の研究者の衆知を集めてファンディング戦略を検討しているところであるが、その一環として本年1月に、電子情報通信系の今後重要となる研究テーマを時間軸を含めて明確にするためのワークショップを開催した。今回のFIT2004研究会では、情報科学技術分野についてその議論をベースに別の角度からも検討してより広い視野で眺めた Priority Setting に資するためのパネル討論を行いたい。なおその結果は、今後のJSTのファンディングに活かしていくとともに、文科省の戦略目標の設定、総合科学技術会議への発信などの形で活用していく予定である。

[14:00-14:05] オープニング



田中 英彦(情報セキュリティ大学院大)

昭和40年東京大学工学部電子工学科卒業。昭和45年同大学院博士課程終了。工学博士。昭和62年東京大学工学部教授、平成13年東京大学情報理工学系研究科教授、平成16年情報セキュリティ大学院大学教授。計算機アーキテクチャ、分散処理、デペンダブル情報システム等に興味を持っている。著書に「非ノイマンコンピュータ」「計算機アーキテクチャ」「VLSI コンピュータI, II」,「Parallel Inference Engine」などがある。

[14:05-14:30] 講演1: JSTの情報分野に対するファンディングの現状



石田 秋生(JST)

昭和25年8月27日生まれ。昭和52年早稲田大学理工学研究科物理及び応用物理専攻修了。昭和52年新技術開発事業団入団、あっせん部あっせん課。昭和56年プロジェクト部第一課。昭和60年管理部管理課。昭和62年通商産業省工業技術院。平成2年新技術事業団総務部企画調査室。平成6年総務部企画調査室調査役。平成8年基礎研究推進室調査役。科学技術振興事業団に改組。平成13年戦略的創造事業本部研究調整室調査役。平成14年戦略的創造事業本部特別プロジェクト推進室長。平成15年戦略的創造事業本部研究推進部長。

[講演概要]

科学技術振興機構(JST)の予算は平成16年度総額で約1100億円であり、そのうち半分強の約570億円が主に基礎研究に対する支援に割り当てられている。570億円のなかをなすものは戦略的創造研究推進事業である。戦略的創造研究推進事業は社会的・経済的ニーズを踏まえ、国が定めた戦略目標の達成に向けた基礎研究を推進するもので、これまでに20の戦略目標が国から示されている。JSTはこれらの戦略目標のもとに研究領域を設定し、公募などにより研究テーマを採択して研究を推進している。JSTは23年前から基礎研究を進めているが、情報科学技術を正面から取り上げるようになったのは比較的最近である。しかし近年は、科学技術基本計画に情報通信分野が4つの重点分野の1つとして位置づけられていることもあり、毎年新規テーマを取り上げて研究を推進している。講演では、これまでのJSTの情報科学技術への取り組みと最近の動きについて述べる。

[14:30-14:55] 講演2: 情報科学技術分野における今後の重要な研究分野とファンディング



林 弘(富士通研)

1967年東京大学工学部電気工学科卒業、富士通研究所入社。ミリ波通信の研究に従事。その後コンピュータアーキテクチャ、人工知能、第五世代コンピュータ、RWCの研究に従事。2000年株式会社富士通研究所常務取締役、現在に至る。情報処理学会副会長(2001年-2003年)、東京大学生産技術研究所顧問研究員。

[講演概要]

日本の産業界が漸く不況を乗り越え、情報家電を中心に新しい成長の時代を迎えようとしている。復活のベースとなっているのは情報技術を活用した「ものづくりの技術」である。高密度半導体デバイスが情報家電にとって必須となっているが、ここにおいてもVLSI CADによる設計技術の大幅な改善とプロセスシミュレーションを駆使した新しい半導体のプロセスの改良等情報処理技術が大きな力となっている。自動車業界においても過去数年かかっていた新車設計がスーパーコンピュータを活用することにより1年半で可能となってきた。さらにグローバル企業の生産活動を、国内だけでなく世界規模で管理運営することで効率化が進んでいる、またインターネットを活用した企業内、企業間、あるいはコミュニティ内、社会全体での情報共有、ノレッジマネジメントの活用が始まった。このような背景の中、今後の重要な研究分野とファンディングについて述べる。

[14:55-15:20] 講演3: 情報科学技術分野における今後の重要な研究分野とファンディング

村岡 洋一(早大)

[15 : 30- 17 : 30] パネル討論：情報科学技術分野のファンディング戦略～ JST の Priority Setting にむけて～

[討論概要]

今後 10 - 20 年後を考えたとき、我々の社会やビジネス、生活は大きく変わっているであろう。それには情報科学技術が大きな影響を与えているに相違ないと思われる。そのような時代において、わが国の科学技術が世界をリードしてゆく状況を作るためには今何をせねばならないであろうか。情報の分野は目まぐるしく動き変化が激しい。そのような分野の 10 年後を細かく予想するのは困難であるが、逆に目先に捕らわれず長期展望をして方向性を議論し、それに向けて基礎固めや基盤準備の研究をするのが重要であろう。国のファンディング戦略は特に、そのような基礎・基盤の研究をするのが任務である。このパネルでは、情報科学技術分野において、今後国が予算化する(たとえば科学技術振興機構などで)ことが重要と思われる基礎・基盤科学技術分野は何か、また、そのファンドのつけ方はどうあるべきかなどについて、パネリストとフロアを含めて議論する。

司 会：田中 英彦 (情報セキュリティ大学院大)

写真および略歴は「オープニング」のページを参照。

パネリスト：林 弘 (富士通研)

写真および略歴は「講演2: 情報科学技術分野における今後の重要な研究分野とファンディング」のページを参照。

パネリスト：村岡 洋一 (早大)



パネリスト：白鳥 則郎 (東北大)

1977 年東北大学大学院博士課程修了, 1984 年東北大学助教授 (電気通信研究所), 1990 年東北大学教授 (工学部情報工学科), 1993 年東北大学教授 (電気通信研究所)。やわらかいネットワーク, 人間 コンピュータ共生論の研究に従事。学振・未来開拓研究事業「動的ネットワーキング」プロジェクトリーダー (1999-2004), IEEE フェロー, 情報処理学会フェロー, 電子情報通信学会フェロー, 情報処理学会副会長。

「共生コンピューティングを目指して」

実空間とサイバースペースを融合し, 個々の人間とそれを取り巻く環境が共生するしくみを提供する新しい情報処理様式として, 共生コンピューティングを提案し議論する。「共生コンピューティング」は, ユビキタスコンピューティングの限界を超えて, 人間の持つ知識や社会知を効果的に用いて, 柔軟性の高い, 安心・安全な社会を築くための技術である。具体的には, (a) 感覚的現実創生技術, (b) 社会的現実創生技術, (c) フレキシブルネットワーク技術, (d) 能動コンテンツ技術, (e) 共生エージェントプラットフォーム技術, を新たに開発することにより, 次の4つの共生, すなわち, 1) 人工物と人間 2) 都市環境とコミュニティ 3) 自然環境とコミュニティ 4) コミュニティ集団と人間, を達成することを目的としている。



パネリスト：喜連川 優 (東大)

昭53 東大・工・電子卒。昭58 同大学院工学系研究科情報工学博士課程了。工博。同年同大生産技術研究所講師。現在, 同教授。戦略情報融合国際研究センター長。データベース工学, 並列処理, Web マイニングに関する研究に従事。H9, 10 年電子情報通信学会データ工学研究専門委員会委員長。情報処理学会フェロー。SNIA-Japan 顧問。H11-14 ACM SIGMOD Japan Chapter Chair, VLDB Trustee (97-02), IEEE TCDE Asian Coordinator。

「情報科学技術分野のファンディング戦略～ JST の Priority Setting にむけて～」

プライオリティをつけるという以前に, デバイス・自然科学分野に比べると情報分野は研究のシナリオのわかりにくさが常に問題として指摘される。更に, 目先のキャッチーな動きとは独立に, 訴えることが容易ではないものの, じっくりと暖めるべき長期視野に基づく情報基礎研究も不可欠である。JSTにはこのような情報分野における基礎研究の支援が強く期待される。しかしながらこの悩みは日本に限ったことでもないようである。研究のプライオリティをつけることは, 極めて困難な作業であり, つまるところ, 必要性を十分に理解すると共に, 妥当な夢を設定し, 大らかに見守ってくださる伯楽が不可欠であるということになるうか。

パネリスト：湯浅 太一 (京大)

高度医療を支える安全 ME 技術

9月8日(水) 9:00-12:00 [第2サブメイン会場(恵道館3F KD-302)]

[9:00-9:40] 講演1: 精密誘導手術と医療トレーサビリティ



伊関 洋(東京女子医大)

1974年東京大学医学部医学科卒業。同年東京女子医科大学脳神経センター脳神経外科医局入局。2001年4月から東京女子医科大学大学院先端生命医科学研究所先端工学外科学分野助教授/脳神経センター脳神経外科助教授(兼任)。現在に至る。日本脳神経外科学会,日本定位・機能神経外科学会,日本コンピュータ外科学会,日本神経超音波学会,日本バーチャルリアリティ学会各会員。博士(医学)。

[講演概要]

画像診断,特に術中診断技術の発達により,診断から治療までの時間差はほぼ0となり,診断即治療のリアルタイム性を追求する診断と治療が融合した時代となった。低侵襲外科手術の究極は,多分切らない外科手術である。しかし,その過程に行くまでには精密誘導技術を活用したマニピュレーション手術がその過渡期の外科を支えることになる。精密手術では,全て術前の計画どおりに正確に手術行程をこなす必要がある。そのためには,「外科医の新しい目・手・脳」が必要であり,医療情報の可視化を基にした診断・治療方針決定支援システムである戦略デスクが重要な柱となる。精密誘導手術は,先行予測型の次世代の医療システムである。また医療分野においても,医療従事者は受益者である患者・家族に治療・看護過程の履歴を開示し,安全性と品質を保证する医療のトレーサビリティ(治療・看護過程履歴の追跡管理)システムの整備が,求められている。

[9:40-10:20] 講演2: 集中医療における安全性向上のための医療機器情報の統合と警報支援システム



芥川 正武(徳島大)

1997年徳島大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。1997年徳島大学医療技術短期大学部助手。1998年博士(工学)(徳島大学)。2001年徳島大学医学部保健学助手。2004年徳島大学工学部電気電子工学科講師。ニューラルネットワークの応用,生体信号解析,医療情報システムの開発に関する研究に従事。

[講演概要]

近年医療事故の多発が社会問題になっており,より安全な医療の実現がこれまで以上に緊急の課題として取り上げられるようになってきた。何らかの事故(アクシデント)或いは事故に繋がる可能性のある事例(インシデント)が発生した場合,その報告と分析が同様のインシデントの再発防止のためには非常に重要である。この際,より正確な情報を得るためには人の記憶だけでなく,数多く現場に導入されている医療機器からの情報を利用するのが有用である。多くの医療機器にはRS-232Cのようなインターフェースが付属し,機器の様々な状態を外部へ出力可能であることから,機器の操作や警報等の様々な情報を収集し記録するシステムの作成は可能である。今回,様々な医療機器からの情報をRS-232C経由で収集し,LANアダプタを介してサーバに蓄積するシステムを開発したので報告する。

[10:20-11:00] 講演3: 医療電磁環境の安全管理に必要な技術開発について



加納 隆(三井記念病院)

昭和48年上智大学理工学部電気電子工学科卒業。昭和49年4月より三井記念病院MEサービス部に勤務,現在に至る。主に,病院内の各種ME機器管理,心臓カテテル室業務,循環器ならびにクリニカルエンジニアリング(臨床工学)の研究に従事。最近では病院内の電波管理を含むEMC(電磁環境),病院電気設備,ならびに医療機器のリスクマネジメントに関する研究発表・講演が多い。現在,東京都臨床工学技士会(会長),日本エム・イー学会専門別研究会:医療電磁環境研究会(会長),同じくCE安全研究会(幹事)。

[講演概要]

病院内の医療機器・設備の安全管理を徹底させることが患者の安全確保にとって非常に重要であることは論を待たないが,ではそれが徹底されているかとうことになるとはなはだ疑問である。最近でこそ医療事故の多発を背景に医療におけるリスクマネジメントが叫ばれているが,その多くがヒューマンエラーを防ぐための操作手順等の取り決めであったり,教育であったりするわけである。確かにこのようなソフト面も重要ではあるが,もう一歩進んでヒューマンエラーを防ぐための人間工学的設計や危険な状況の発生を想定した防護策などのハード面での技術開発も重要である。また,医療環境に一般電気製品や各種情報通信機器が持ち込まれ,医療機器と一緒に使用されることが多くなってきているが,これら一般電気製品や各種情報通信機器が医療機器へ及ぼす電磁的な影響が大きな問題となっており,これに対する評価ならびに防護策についての技術開発も重要である。

[11:00-11:40] 講演4: 医療機器の安全性の試験



後藤 和夫(テュフ・ラインランド・ジャパン)

1971年古野電気(船舶用電子機器メーカ)入社。技術サポートとして海外駐在・海外研修生教育・技術図書の作成等に従事。1993年フリーのテクニカルライターとして航空機搭載電子機器の技術図書等作成に従事。1996年テュフ・ラインランド・ジャパン(ドイツの第三者認証機関)入社。EMCエンジニアとして各種電気電子機器の電磁両立性テスト・適合性証明発行・コンサルティング等に従事し現在に至る。

[11:40-12:00] 総合討論

誰にでも参加できる学会を目指した情報保障のあり方について

9月8日(水) 14:30-18:00 [第2サブメイン会場(恵道館3F KD-302)]

[14:30-16:00] 新しい情報保障機器によるデモ展示と講演

・聴覚障害関係

デモ講演1: 音声同時字幕システム



服部 裕之 (ビー・ユー・ジー)

昭和32年生まれ。札幌出身。

昭和56年、北海道大学大学院工学研究科生体工学専攻修了。

北大院生時代に、システム開発の株式会社ビー・ユー・ジーを仲間4人と設立。

株式会社ビー・ユー・ジー代表取締役。

[講演概要]

本システムは、話し手の言葉をコンピュータを使って音声認識して文字化し、利用者の手元のパソコンや携帯電話、スクリーンなどに表示するシステムである。

国際会議での同時通訳の情報保障、教育現場での聴覚障害を持つ学生への情報保障など、様々な場面で利用することができる。2002年に札幌で開かれたDPI世界大会で、国際会議の同時通訳イヤホンで聞くことができない聴覚障害者のために開発されたが、健聴者にも好評であったことからさらに研究が進んだ。最大の特徴は、話した言葉とほぼ同じ量だけ文字化できる音声認識というコンピュータの優位性と人間の能力とを組み合わせたところである。またネットワークを使って遠隔地から支援することに注力しており、クリアで簡便で安価な音声伝送の仕組みを作り上げることが今後の課題でもある。ネットワーク化により、復唱や修正作業を在宅でできるようにすることで、障害を持つ人の働く場所の提供することも将来的な展望にある。

デモ講演2: 遠隔地情報支援システムの現状と課題



内藤 一郎 (筑波技術短大)

1991年、立教大学大学院理学研究科原子物理学専攻博士課程修了。同年、筑波技術短期大学電子情報学科電子工学専攻助手に着任、現在、同大学助教授。大学院では飛翔体(ロケット、人工衛星)による高層大気微量成分の観測に従事していたが、現在の大学へ着任後、聴覚障害者のコミュニケーションとテクノロジーの関わりに興味を抱き、関連する研究テーマ(移動体通信、遠隔地手話通訳、遠隔共同作業など)に取り組んでいる。博士(理学)。

[講演概要]

高速ネットワーク網の整備や様々な技術(画像圧縮技術、音声認識技術など)の進歩に伴って、テレビ電話による手話通訳や遠隔地からの要約筆記、音声認識による字幕提示などが可能になってきており、実際に一部サービスも開始され始めている。これら遠隔地からの情報支援システムが整備された社会においては、聴覚障害者が“いつでも、どこでも、どんなときにでも”コミュニケーションのサポートを受けられるようになることが期待される。しかし、現状においては、まだまだ多くの課題が残されているのも事実である。

筑波技術短期大学では、これらの技術を用いた遠隔地からの情報支援システムの開発を進めており、実際に、大学などの講義場面での試行的な運用・実験を実施している。本講演では、システムの概要と現在の開発の状況(試行的な支援実験の結果を含む)などを述べるとともに、こうしたシステムが抱える課題や今後の取組みの計画などについても報告する。

・盲ろう関係

デモ講演3: 虹の架け橋「ユビツキ」



横田 和博 (指つき言語普及協会)

平成8年 日本エコロジー有限公司 取締役社長就任

平成14年 千葉大学2002オープンリサーチ学長賞を受賞

平成16年 指つき言語普及協会会員

[講演概要]

このプロジェクトは指点字を機械化した指点機ゆびつき(以下ユビツキという)を媒体にして、盲聾者の情報保障を指点字で実現させようとするものです。ユビツキは指点字同士の複数人の会話から、指点字と音声や文字との会話を実現しました。更には、ネットワークなどの電子化された文字コードをユビツキに橋渡しして、手のひらの中で情報の入手と発信をおこなうことが可能となりました。即ち、情報都市に、指点字と文字に変換する架け橋を建設し、その橋をユビツキで渡ろうとするものです。盲聾者はインターネットなどの情報網にアクセスすることで、TVのスイッチを入れたように世界は広がります。しかし、盲聾者の情報保障の機器類は市場が狭い上に、普及が困難であることから、誰も手を出せませんでした。このプロジェクトは、この世で最も情報に困っている人の、最も事業化が困難な人の市場に挑むユビツキ物語です。

デモ講演4：音声自動認識ソフトを利用した盲聾者のための自動情報保障システムの可能性



朝尾 伴啓（アスク研）

京都大学工学部機械工学科精密工学部卒．1975年～1983年：ヤンマーディーゼル（株）研究所勤務．

1983年，同社退社．（株）ディーアンドエーシステムズ設立．

1999年，財団法人MMCAの「先導的コンテンツ拡充事業」のコンペ採択により，視覚障害者がインターネットを点字で読むことの出来るシステム開発．

2004年，（株）アスクにて回転円盤による連続点字表示方式の「ASKK てんてん」を開発，販売開始．

[講演概要]

口述内容をパソコン等で扱うことが出来るテキスト文書とし，その文書を自動的に点字化して出力することで，口述内容を介護者無しで盲聾者に伝えるシステムの可能性に関して検証を行う．

具体的には講演者の講演内容をBUGの音声認識ソフトでのテキスト化し，その結果をウェブサーバーに上げインターネットを介してパソコンにダウンロードすると同時に点訳ソフトIBUKI-TENで点訳し，点訳結果を「ASKK てんてん」に出力する．これら一連の動作をオペレータや介護者無しで盲聾者に伝達できる手法と結果の精度を向上させることで情報バイドの解消の実現を図る．

・ロービジョン関係

デモ講演5：プレゼンテーション環境の工夫による手頃な情報保障方式の検討



碓川 友宏（静岡大）

電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ学会・研究会における情報保障ワーキンググループ

委員．1995年 筑波大学大学院工学研究科入学．同年よりコード最適化を研究する傍ら，趣味で福祉機器のハード，ソフトを複数手がける．2000年 同大学院終了．同年より静岡大学情報学部助手として赴任．現在，情報家電とそのユニバーサルアクセスの研究に従事．

[講演概要]

研究発表会等における情報保障としては点訳のほか，手話通訳や要約筆記（以下，広義に通訳とよぶ）によるものが代表的であるが，これらは通訳者等の手配と費用負担の困難から一部の研究会でごく限定的に実施できているにすぎず，あらゆる研究会に広げていくことにも困難が伴う．筆者らは，通訳者等による情報保障が及ばない領域でも最低限の情報保障を実現するための，“手頃な”プレゼンテーションの保障方式について検討した．今回紹介する“手頃な”プレゼンテーション保障システムでは，弱視者への保障として画面の無線配信機能，色覚障害者への保障として配信画面の色補正機能，難聴者・失聴者への保障としてプレゼンテーションノート投影機能を有する．いずれの保障も発表者用PCにインストールしたプログラムの助けを借りて行われ，人手を介さずに実施可能である．また，特殊なプログラムのインストールなしに実施可能な，さらに敷居の低い簡便法についても紹介する．

デモ講演6：当日使用するその他情報保障機器の紹介

[16：10-16：30] 講演：海外の学会・大学における情報保障



渡辺 哲也（国立特殊教育総研）

1993年北海道大学大学院工学研究科修了．同年水産庁水産工学研究所研究員，1994年障害者職業総合センター研究員，2001年国立特殊教育総合研究所研究員，2004年3月～米国ウィスコンシン大学客員研究員．音声・触覚情報を用いた視覚障害補償技術の研究開発に従事．電子情報通信学会，日本音響学会，ヒューマンインタフェース学会，日本特殊教育学会，視覚障害リハビリテーション協会等各会員．博士（工学）．

[講演概要]

海外の学術会議における情報保障について，会議への参加，会議主催者へのインタビュー，会議のWebページ閲覧の各手法を通じて情報を収集した．その結果，障害者支援を扱う会議では，アクセシビリティサービスとして手話通訳，補聴システム，点字／拡大印刷などの情報保障サービスの提供が一般的であることがわかった．あわせて，海外の大学における情報保障（障害者支援サービス）についても簡単に報告する．

**[16 : 30- 18 : 00] パネル討論：誰にでも参加できる学会を目指した情報保障のあり方について
- 保障を受ける立場からの要望 -**

[討論概要]

もうろう者大会（残念ながら公的資金援助の都合で最近では中断されていると聞く）に何度か参加させていただいたことがある。参加されているもうろう者は、その程度や障害となった時期で必要な情報保障の形は様々で、「指点字」、「触手話」、「点字」、「要約筆記」などなど、まさに情報保障のデパートといったところであった。

学会では、口頭の報告に対する情報保障だけでなく、プロジェクトによる画像などを用いた発表の情報保障や、言語に障害のある方の発表や討論をどう保障するか、など様々な課題が予測される。さらには、会場でのその場での保障だけでなく、事前の対応策についても、検討が必要になるかもしれない。今回の特別企画第1部での情報保障の経験をベースに、これらの課題に対し、学会としてどのように対応してゆけば良いか、当事者の皆さんを中心に議論を進めたい。また、逆に情報保障を必要としない参加者への影響も議論する必要があろう。その立場からの発言もフロアから期待したい。



司 会：市川 薫（千葉大）

千葉大学大学院自然科学研究科教授・工博・電子情報通信学会フェロー・同学会理事、音声研究会委員長、福祉情報工学研究会委員長、手話情報学研究会副委員長、人工知能学会理事、経済産業省障害者等対応情報機器開発普及推進委員会委員等を歴任。

現在、日本音響学会評議員、人工知能学会評議員、日本手話学会監事、電子情報技術産業協会アクセシビリティ委員会委員、同標準化対応専門委員会委員長、など。



パネリスト：井上 正之（NTT）：「みんなのための学会を目指して～聴覚障害者の立場から～」

昭和34年宮城県生まれ。生後1年で失聴。昭和62年 早大学大学院博士課程後期電気工学専攻 修了（工学博士）同年 日本電信電話株式会社 入社、以来 通信網設計法に関する研究開発に従事。現在、NTTサービスインテグレーション基盤研究所主任研究員。昭和62年 電子情報通信学会篠原記念学術奨励賞受賞。



パネリスト：長谷川 洋（筑波技術短大）

名古屋大学大学院修士課程修了。工学博士（東京大学）。1965年より東大生産技術研究所でセラミックスの研究に従事。助手、講師を経て、1991年より筑波技術短期大学電子情報学科助教授。24歳のとき突発性難聴により失聴。日本聴覚障害者コンピュータ協会顧問。ろう・難聴教育研究会副会長。

「誰にでも参加できる学会を目指した情報保障のあり方について - 手話通訳・文字通訳を必要とする立場から - 」

学会で発表する場合は、学会が開かれる地域の手話通訳と文字通訳のサポートを受けてきた。私の場合は、発表は自分の声で行うが、質問を聞き取ることができないのでサポートを受ける。この場合、事前の打ち合わせが必須であった。こうした準備をしても、適した通訳とそうでない通訳があり、ときにはしばしば通訳不能になってしまうこともあった。講演を聴く立場でも、同じく手話通訳と文字通訳の両方のサポートを受けたことがある。どちらがよいかについては、話のテーマ・内容、話し方、その他の状況などで変わるので、一概には言えない。どちらかという、文字通訳の方が適している場合が多いと思われる。学会の場合、しばしば貴重な情報というのは、講演を聞く、質問をするというだけではなく、休憩時間や懇親会などでの個人的な話し合いの中から得られる場合も多い。こうした個人的な交流でも手話通訳などのサポートを得ることができる形が望まれる。



パネリスト：福井 哲也（日本ライトハウス）

1958年生まれ。早稲田大学法学部卒業。1985年より東京都に福祉職として勤務。2001年より社会福祉法人日本（にっぽん）ライトハウスに勤務、点字出版業務にたずさわる。早稲田大学非常勤講師（障害者福祉論）。日本点字委員会点字科学記号専門委員会委員。著書に「初歩から学ぶ英語点訳」（日本点字図書館）など。デジタル録音図書規格「DAISY（デイジー）」の普及にも強い関心をもっている。



パネリスト：三宅 洋信（「見やすさ」とデザインを考える会）:

弱視者の情報活用環境について - 当事者の Web 利用からの考察 -

愛媛県出身。先天性白内障による弱視。小学部から高等部まで盲学校在籍。東洋大学卒業。

平成12年より「見やすさ」とデザインを考える会の活動を通じて、ロービジョンとユニバーサルデザインやコンピュータ利用について研究中。

著書「見えにくい人の初めてのEメール」((株)大活字)執筆。



パネリスト：門川紳一郎（視聴覚二重障害者福祉センターすまいる）

1965年、大阪に生まれる。生後発熱を繰り返し、目が見えにくいことをまわりが気づく。その後も発熱を繰り返し、4歳のときにかかった猩紅熱のために、聴覚に障害が生じ、聞こえなくなる。1984年、大阪市立盲学校高等部を卒業。1985年、桃山学院大学社会学部入学。1989年、大学卒業後、「障害者リーダー海外派遣事業（現在のダスキンの事業）研修生」として、ニューヨークにあるヘレン・ケラーナショナルセンターへ研修留学。1990年、ギャロウデット大学に留学し、アメリカ手話（ASL）を学ぶ。1993年、ニューヨーク大学大学院「聴覚障害リハビリテーション」で、MA（文学修士）を取得。1995年から4年間、大阪盲ろう者友の会代表。現在、NPO法人視聴覚二重障害者福祉センターすまいる理事長、国立身体障害者リハビリテーションセンター学院非常勤講師、全国盲ろう者協会評議員。一言：盲ろう者の人権を守り、盲ろう者が社会の一員として平等に当たり前な生活ができるように、盲ろう者の良き仲間を増やしていきたい。多くの仲間と共に、明るくて楽しい生きかたを見つけていきたい。

Web 知的処理の基礎

9月9日（木）9:00-12:00 [第2サブメイン会場（恵道館3F KD-302）]

[9:00-10:00] 講演1：テキスト処理に基づく Web 情報アクセス支援 - 検索から分類・追跡へ -



江口 浩二（国立情報学研）

国立情報学研究所助手。1993年同志社大学工学部電子工学科卒。1999年関西大学工学研究科電気工学専攻博士課程修了。博士（工学）。学術情報センター助手を経て2000年より現職。総合研究大学院大学情報学専攻助手を併任。情報検索、Web情報アクセスに関する研究に従事。情報処理学会、電子情報通信学会、人工知能学会、ACM各会員。

[講演概要]

World-Wide Webにおいて、人間の知的活動の様々な領域に関する情報が豊富に提供されるに伴って、Web情報アクセスシステムの代表例であるWeb検索エンジンはWeb上の情報にアクセスするための手段としてなくてはならないものとなっている。Web上の情報の単位となるのがWeb文書である。本講演では、Web文書にアクセスする上で問題となり得る諸々の問題について述べ、Web文書にアクセスするための基本的な手段であるWeb検索技術について説明する。また、Web情報アクセスをより高度に実現するためのテキスト処理として、Web文書分類技術、トピック追跡技術を取り上げる。さらに、Web情報アクセス技術の評価の試みとして、TREC、NTCIR、TDTの動向を紹介する。

[10:00-11:00] 講演2：Web ページの知的探索・統合・加工



廣川佐千男（九大）

昭和54年九州大学大学院理学研究科修士課程了。静岡大学工学部情報工学科助手、九州大学教養部助教授、九州大学理学部助教授、九州大学大学院システム情報科学研究科教授を経て、現在、九州大学情報基盤センター教授。リンク情報によるWWW空間の解析、半構造化データからのデータマイニング、および型理論の研究に従事。情報処理学会、電子情報通信学会、人工知能学会、ソフトウェア科学会、数学会、ASL、EATCS各会員。博士（理学）。

[講演概要]

インターネット上のホームページ群は世界際大の知識の書物と呼べる。増え続けるWeb空間から効率良く知識を獲得する手法の開発は、現在の情報社会における最も重要な研究テーマといえる。本講演では、Web上の高品質文書群を効率良く発見、統合、加工し活用するための研究を紹介する。すべてのホームページを網羅的に収集するのではなく、同系統の文書群に着目する研究について紹介する。すなわち、多量な同系統文書群は高品質であるというヒューリスティックに基づくWEBページの知的探索・統合・加工についての研究動向を紹介する。具体的には、HTMLファイルに繰り返し現われる特徴的なタグ・パターンの抽出法に関する研究、複数のページ群から類似構造を持つ文書群を網羅的に検出するための研究、リンク構造と構造類似性で特徴付けられる「シリーズ型文書群」の概念と、それらを対象としたWebマイニングの研究などについて紹介する。

【11:00-12:00】講演3：セマンティック Web 技術に基づく知識循環プラットフォーム



和泉 意明 (産総研)

1992年大阪府立大学工学部卒業，1996年11月大阪府立大学大学院博士後期過程中途退学し，1996年12月静岡大学情報学部助手，2002年4月より，産業技術総合研究所研究員，博士（工学）（慶応義塾大学）．人工知能学会，ソフトウェア科学会，電子情報通信学会，情報処理学会各会員．人工知能学会KBS研究会幹事，ソフトウェア科学会チュートリアル「意味理解のための次世代 Web」講師，環太平洋知識獲得ワークショッププログラム委員，オントロジーとエージェントシステムワークショップ，AAMASプログラム委員など．知識獲得の観点から知識管理とアプリケーション開発の研究に従事．主に，企業情報システムと企業アプリケーション統合，ワークフロー管理などに応用している．最近では，ビジネスプロセスモデリングの観点から，セマンティック Web と Web サービスの融合を試みている．

【講演概要】

本講演では，産業技術総合研究所情報技術研究部門にて推進している知識循環のプラットフォーム研究について述べる．本研究は，知識工学技術と自然言語処理技術を駆使することによりセマンティック Web と Web サービスの研究を展開させるものである．ここでは，Web などのデジタル世界のユーザと，情報家電利用などの実世界のユーザとの間で，さまざまコンテンツを共有させるというフレームワークについて，コンテンツドリブなアプローチから研究を行っている．

そして，Web ブラウザなどへプラグインするユーザインタフェース技術や，Web コンテンツからの知識抽出，知的コンテンツのオーサリング技術やセマンティック Web コンテンツの開発支援技術などを統合化することにより，Web 上のサービスをユーザがアクセスしているコンテンツに応じて連携させるという，知的情報基盤の確立に関するプロジェクトについて紹介する予定である．

パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト

9月9日（木）13:00-15:50【第2サブメイン会場（恵道館3F KD-302）】

【企画概要】

パターン認識・メディア理解（PRMU）研究専門委員会では，当該研究分野における若手研究者の育成と研究会活動の活性化を目的として平成9年度より，秋の大会併催事業としてパターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテストを実施している．本事業は，若手研究者およびこれから研究者を目指す学生（主に，高専，学部・大学院生）を主たる対象に，具体的な課題を解決することの楽しさを通して研究の面白さを体験してもらうことを目指している．プログラムの応募に加えて，入賞者の一部には，次年度の実行委員会協力メンバーとして学会活動に参加してもらうことにより，次世代の学会活動を支える人材の育成も視野に入れている．本事業は，その継続性に意義があり，第8回コンテストを情報情報科学技術フォーラム（FIT2004）における企画として予定している．具体的なテーマを設定し，Web 上でサンプル画像データを公開し，複数の難易度に分けて，平成16年5月からアルゴリズムを募集する．審査委員会では，アルゴリズムの新規性，性能（認識性能，計算時間）等をもとに応募アルゴリズムを評価する．FIT2004においては，コンテスト応募プログラムの講評，入賞者の発表・表彰，入賞プログラムに関する口頭発表，特別講演等からなるセッションを構成する．

【13:00-13:05】開会挨拶



秋田 紀博 (ATR)

1978年慶応義塾大学大学院工学研究科修士課程修了後，日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所に入所．NTT 基礎研究所，NTT コミュニケーション科学基礎研究所の研究部長などを経て，2001年10月より，ATR メディア情報科学研究所長，2002年10月より ATR 知能ロボティクス研究所長．工学博士．

【13:05-13:15】課題概要説明，審査結果発表

【13:15-13:20】表彰

【13:20-14:50】各受賞者の発表

[14 : 50-15 : 50] 講演 : 画像位置合せ, 画像モザイクング, そしてビデオモザイクング



横矢 直和 (奈良先端大)

1979年3月 大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了(工学博士). 1979年4月 通商産業省工業技術院電子技術総合研究所研究員. 1983年10月 同研究所主任研究官. 1986年10月 マッギル大学(カナダ)知能機械研究センター客員教授(1987年9月まで). 1992年5月 奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター教授(併任). 1993年4月 奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター教授. 1994年9月 同大学情報科学研究科 教授.(現在, 副研究科長と情報科学センター長を兼務)

[講演概要]

複数の重なりのある画像の位置合せを行い張り合わせることによって広視野の画像を生成するモザイクング技術の研究は、衛星画像・航空写真を用いたリモートセンシングや医用画像処理の分野において1960年代後半、デジタル画像処理の黎明期から取り上げられていた。非常に限られた専門分野での技術であったモザイクングが一般に馴染みのあるものとなり研究が活発に行われるようになったのは、デジタルカメラ・ビデオの登場以降である。特に、1990年代中頃のQuickTime VRの発表を契機に、手軽にパノラマ画像や全方位画像を作成するためのツールとして注目されてきた。本講演では、今回のPRMUアルゴリズムコンテストの課題である画像のモザイクング技術について、その歴史と基本手法を概観するとともに、手持ちのビデオカメラを用いてリアルタイムにモザイク画像を生成する最新の研究をビデオと実機を用いたデモを交えて紹介する。

FIT 賢人会議 : 情報学のセントラルドグマ

9月8日(水) 9:00-12:00 [第3サブメイン会場 (知真館 1F TC1-132)]

[9 : 00-9 : 30] 講演 1 : 人工知能と情報処理



中島 秀之(はこだて未来大)

1983年, 東京大学大学院情報工学専門課程修了(工学博士). 人工知能を状況依存性の観点から研究. マルチエージェントならびに複雑系の情報処理とその応用に興味を持っている. 現在, 公立はこだて未来大学学長. 産業技術総合研究所サイバースタディーズ研究センター研究顧問. 認知科学学会会長, ソフトウェア科学会元理事, 人工知能学会元理事, 情報処理学会元理事. マルチエージェントシステム国際財団理事. 主要編著書: AI事典第2版(共立出版), 知的エージェントのための集合と論理(共立出版), 思考(岩波講座認知科学8), 記号の世界(岩波書店), Prolog(産業図書).

[講演概要]

初期の情報処理のセントラルドグマは「記号処理」であった。しかし最近ではスケールフリーネットワークやマルチエージェント、ユビキタスコンピューティングなどが話題の中心である。つまり、個々の記号ではなくその関係性の方に注目が集まっている。この関係性は要素の性質には還元できず、上位層で創発するものである。

このような新しい対象を前にして情報の学問体系が問われている。要素への還元を主目的とする自然科学的分析的手法に代わる、これとは逆方向の、大規模な関係性構築のための構成的手法が必要とされている。これを構成的情報学と名付け、そのセントラルドグマを探る。そこには従来の世界観とは異なる新しい世界観が必要であることを述べ、それに基づく研究手法を提案する。

[9 : 30-10 : 00] 講演 2 : コンピュータ科学における芥川賞と直木賞



萩谷 昌巳(東大)

昭和57年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。京都大学数理解析研究所を経て、現在、東京大学大学院情報理工学系研究科教授(コンピュータ科学専攻)。検証などプログラミングやソフトウェアの基礎に関する研究を行うかたわら、新しい計算パラダイム、特に分子コンピューティングの研究を行っている。

[講演概要]

実際の学問の現場においては、分析的学問と構成的学問が明確に区別されているわけではなく、両者は重層して現れる。ここでは、前者を小説を通して人間性の本質を究めようとする芥川賞の純文学と対応させ、後者を物語性を重視する直木賞の大衆文学と対応させながら、コンピュータ科学における分析的学問と構成的学問について議論する。コンピュータ科学における両者の特徴は、分析的学問が構成的学問の基盤として先行することは稀であり、構成的学問の成果に対する分析的態度として現れることの方がはるかに多い点にある。この点において、構成的学問の方がコンピュータ科学の王道と言うことができる。しかし、研究者は得てして芥川賞を目指す。芥川賞の方が評価が明確であり後世に残り易いからである。もちろん、構成的学問の基盤となる重要な研究は評価されてしかるべきであるが、直木賞的研究を的確に評価し支援する仕組みを整えることがより重要であると考えられる。

[10 : 00-10 : 30] 講演 3 : 情報学のセントラルドグマ 会話情報学



西田 豊明 (京大)

1977年3月京都大学工学部情報工学科卒業。その後、大学院、京都大学工学部情報工学科助手、助教授、奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授、東京大学大学院工学系研究科教授、東京大学大学院情報理工学系研究科教授を経て、2004年4月から京都大学大学院情報学研究科教授（東京大学兼任）。京都大学工学博士。学術創成研究や社会技術のプロジェクトのリーダー。社会知のデザインに関する国際ワークショップを創設、主催。

[講演概要]

「会話情報学」は、人間の会話行動、なかでも知識創造と活用に関わる会話行動の理解の深化と支援技術の確立を目的とする学問領域である。会話情報学では、人間にとって最も自然なコミュニケーション様式である会話という現象を原点に置き、会話現象解析や会話支援技術の確立を中心的な課題として設定して、従来細分化していた学問領域の融合・高度化・サービス化のための構成的な学問領域となることをねらっている。会話計測分析学、会話環境デザイン学、会話的人工物学、会話コンテンツ学、会話応用創成学の5つの部門を相互に連携させつつ、会話情報学としての統合を試みる。

本講演では、会話情報学という視点からのさまざまな試みを紹介し、それを一般化することにより、現象の理解、アイデアのプロダクト化、プロダクトの社会への実装、社会での評価を機軸とする構成的な情報学を実現するための具体的な方略について検討する。

[10 : 30-11 : 00] 講演 4 : 創ることと認知科学



諏訪 正樹 (中京大)

1989年、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了(工学博士)。日立製作所基礎研究所にて、推論学習の研究に従事。1994年より、スタンフォード大学 CSLI 研究所にて客員研究員。1997年退社。同年シドニー大学建築デザイン学科主任研究員。2000年より中京大学情報科学部メディア科学科助教授、2004年より、認知科学科教授。

[講演概要]

我々人間は、身体を介して外的環境から知覚し、考え、行動することにより環境を変える。知覚 思考 行動が、互いが他に影響を与えながら動的に更新されることで、身体と外的環境の関係を創り続ける。環境の中で身体の新しい振る舞い方を発見したり、デザイナーや芸術家が創造したり、ある領域で新しい技やこつを習得するという現象は、ほぼ、上記の特徴を有している。これからの認知科学は、身体と外的環境の関係を創り続けるための方法論を 様々な社会的文化的領域を例題にして探求すべきであると考えられる。そのためには、身体と環境の関係構築の証拠を客観的に外部観察者の視点から分析することに留まるべきではない。身体の内側視点から主観的に身体と環境の関係を「語る」こと(例えばメタ認知)、そして構成的に現象を創りだすことが、認知科学の重要な研究手法となる。

[11 : 00-11 : 30] 講演 5 : 社会情報学



石田 亨 (京大)

1976年京都大学工学部情報工学科卒業、1978年同大学院修士課程修了。同年日本電信電話公社電気通信研究所入所。ミュンヘン工科大学、パリ第六大学、メリーランド大学客員教授などを経験。工学博士。IEEE Fellow。現在、京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻教授、上海交通大学客員教授、NTT リサーチプロフェッサ。人工知能、コミュニケーション、社会情報システムに興味を持つ。現在、デジタルシティプロジェクト、異文化コラボレーション実験に取り組んでいる。

[講演概要]

社会情報学の対象は人間社会で広く用いられる情報システム全般である。経営情報システム、医療情報システムなどを含む。ACMの計算機科学のカリキュラムで言えば、社会情報学はコア科目の外側の、人工知能やヒューマンインタフェースのさらに外側に位置する。セントラルドグマどころかペリフェラルのさらに外側に位置するが、情報学という器の中では、実は本質に最も近いのではないかと密かに思っている。

経済学が社会を財の流れと捉える学問であるとするれば、社会情報学は社会を情報の流れと捉える。調査を中心とする分析的アプローチと、設計を中心とする構成的アプローチがあるが、激しく変化する情報環境の中にあっては、後者に力点を置かざるを得ない。そのためには、リアルスケールの実験が必要であり、実験から実システムへとシームレスに移行するための参加型技術が鍵となる。本講演では、京都大学社会情報学専攻における6年余の取り組みを紹介しつつ、interdisciplinaryな活動から新しいdisciplineが生まれることへの期待を述べる。

[11 : 30-12 : 00] 総合討論

分子イメージング

9月8日(水) 15:00-17:30 [第3サブメイン会場(知真館 1F TC1-132)]

[全体概要]

分子イメージングは細胞・分子レベルにおいて生体の生物的特徴の機能計測や解明を可能にして大変興味深いアプローチである。ここでは、光、MRI、PETのイメージングに関連する3名の研究者をお招きして最先端の分子イメージングの現況と展望をして頂き、最後に講演者と参加者でこれらの課題について研究討論をし、同分野について理解を深める。

[15:00-15:05] 挨拶: 仁木 登(徳島大)

[15:05-15:45] 講演1: 人生細胞内複数タンパク分子の多波長多光子励起分光イメージング



伊東 一良(阪大)

1971年大阪大学工学部応用物理学科卒。1971年日本鋼管(株)技術研究所勤務。1973年大阪大学大学院工学研究科応用物理学専攻修士課程入学。1975年松下電器産業(株)第1開発(事)光学開発室勤務。1978年北海道大学工学部助手。1986年大阪大学工学部助手。1989年大阪大学工学部助教授。1995年大阪大学大学院工学研究科教授。1998年より米国光学会(OSA)フェロー。2000年より国際光学会(SPIE)フェロー。2002-3年、Jpn.J.Appl.Phys.編集委員長、応用学会理事。

[講演概要]

生きた細胞内で複数の蛋白質を長時間観察できる機器が開発されれば、医学や創薬の研究に大いに貢献できる。本講演では、応用生物学の専門家と共同で進めている、2光子多波長同時励起とその多波長蛍光観察が可能なレーザー走査顕微鏡システムについて紹介する。最終的には、生体分子1個または数個の集団を測定対象とし、可視域を8分光スペクトルバンド程度に分割した3次元空間情報を1細胞周期(25時間程度)にわたって、数100ナノメートル立方の空間分解能で、100回以上計測が可能であり且つ、ひとつのサンプル点に於いては、サブミリ秒の時間分解能を有する可視化技術と、生細胞内部のタンパク質分子や細胞小器官のフェムト秒レーザーパルスによる制御技術の開発を目指している。システム開発の現状と、固定細胞、生細胞の可視化、細胞内小器官(ミトコンドリアなど)のフェムト秒レーザーパルスによる破壊や移動の実験結果について報告する。

[15:45-16:25] 講演2: 小動物用PET装置を中心とした小動物用核医学イメージング装置とその利用



間賀田泰寛(浜松医大)

1982年3月京都大学薬学部卒業。1988年3月同大学大学院薬学研究科博士課程を修了し、薬学博士授与。同年4月より、京都大学医学部附属病院核医学科助手となる。1997年7月より翌年8月まで米国国立衛生研究所(NIH)病院PET部門にて客員研究員として留学後、1999年6月京都大学大学院薬学研究科助教授となる。2002年1月浜松医科大学光量子医学研究センターゲノムバイオフォトンクス研究分野教授に着任し、現在に至る。

[講演概要]

放射性同位元素で標識された放射性医薬品を体内に投与すると、ある時間経過後、その化合物が有する生物学的性質に従って生体内で特徴的な分布を示す。核医学技術とはこうして分布した化合物から放出された放射線を体外より計測して画像を作成する技術である。その性格上、形態を観察することは苦手であるが、観察したい機能に合致した放射性医薬品を準備することで特徴的な機能画像を得ることが出来る。なかでも放射性同位元素としてポジトロン放出核種を用いるものをPETと呼び、臨床現場を中心に用いられている。近年、小動物専用のPET装置が開発され、その空間分解能は1.3mmと、装置としての限界に近づきつつある。分子イメージングという言葉の定義は難しいが、生体内で遺伝子情報が発現した最終形としての酵素やレセプターをはじめとするタンパク質等のインビボでの機能画像として演者は捉えている。これまでPET薬剤の開発を通して、小動物用PET装置によるインビボイメージングに関わってきたので、その一端をご紹介します。

[16:25-17:05] 講演3: MRI 拡散強調画像による全身スキャン(DWIBS)



今井 裕(東海大)

1978年に慶應義塾大学医学部を卒業、慶應義塾大学医学部放射線科に入局。1981~82年に慶應義塾大学医学部中核病理部に勤務。1988年~89年には米国ペンシルバニア大学医学部放射線科訪問講師としてMRIセンターに勤務。1995年~99年は国家公務員共済組合立川病院放射線科部長、2000年に慶應義塾大学医学部放射線科学専任講師。2001年には東海大学医学部基盤診療学系画像診断学教授に就任(現職)。専門は画像診断学、とくに消化器および泌尿器科領域の診断。

[講演概要]

拡散強調画像は、これまで主に脳神経領域において超急性期脳梗塞の診断に応用されてきた。MRIが捉えている拡散現象は、組織内における水分子の不規則な運動であるブラウン運動を可視化したものと言える。しかし組織内の灌流の影響を少なくするためには、撮影時に印加する一対の傾斜磁場(motion probing gradient: MPG)の強さを示すb値を大きくする必要がある。そこで躯幹部においても高いb値を用い、自由呼吸下で、ある程度の撮像時間をかけて撮像することにより組織内の微視的な拡散現象の違いを表示することが可能となり、この撮像方法をDWIBS(Diffusion weighted whole body imaging with background body signal suppression)と呼んでいる。この撮像ではスキャンした範囲の躯幹部に存在する腫瘍、リンパ節および他臓器転移巣、そのほか炎症などの腫瘍以外の疾患も検出が可能となる。

[17:05-17:30] 総合討論

けいはんな学研セッション（第1日）

9月7日（火）13:00-17:40 [第4サブメイン会場（知真館1F TC1-116）]

[13:00-13:10] オープニング



石原 好之（同志社大）

1941年6月生まれ。1964年同志社大学工学部電気学科卒業。同年4月岡山大学工学部助手。岡山大学講師、助教授を経て、1981年同志社大学工学部助教授。1985年工学部教授、2003年4月より工学部長。工学博士（九州大学）。主として、有限要素法による電気機器の磁界解析、電力用磁性材料の磁気特性測定法及び特性評価法、太陽光発電システム、電気・電子機器からの電磁ノイズ放射に関する研究に従事。

[13:10-13:30] 講演1：関西文化学術研究都市の概要



小池 幸男（国土交通省）

昭和55年3月北海道大学工学部土木工学科卒業。平成3年4月建設省道路局高速国道課課長補佐。平成6年10月栃木県土木部道路建設課長。平成9年4月建設省道路局企画課道路防災対策室専門官、阪神淡路復興対策本部事務局上席局員。平成11年4月建設省甲府工事事務所長。平成13年4月愛知県豊田市助役。平成16年4月現職。

[13:30-13:50] 講演2：関西文化学術研究都市における研究プロジェクト



輔信 捷三（関西文化学術研究都市推進機構）

昭和42年大阪工業大学工学部土木工学科卒業。昭和46年日本住宅公団（現 都市再生機構）入所いらい都市開発部門でニュータウン開発に関わる上下水道等の供給施設計画に従事。その間、難視対策からCATV計画にも多く従事して導入区域を拡大すると同時にインターネットの導入計画にも関わってきた。平成12年財団法人関西文化学術研究都市推進機構常務理事就任。ITS社会実験導入、知的クラスター採択、知的特区指定などに取り組んだ。

[講演概要]

本都市建設などにかかわる企画立案などを担当している関西文化学術研究都市推進機構の立場から、関西文化学術研究都市（愛称けいはんな学研都市）について下記項目の報告をする。1) 関西文化学術研究都市推進機構の役割。2) 研究実態調査からみた学研都市。3) 知的クラスター創成事業など。4) 情報発信のとりくみ。5) 産業連携のとりくみ。6) けいはんな学研都市が目指すもの。

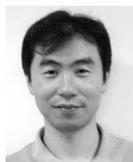
[13:50-14:10] 講演3：同志社大学学術フロンティア「知能情報科学とその応用」研究プロジェクト



三木 光範（同志社大）

1950年生。1978年大阪市立大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士。大阪市立工業研究所研究員、金沢工業大学助教授を経て1987年大阪府立大学工学部航空宇宙工学科助教授、1994年同志社大学工学部知識工学科教授。専門分野は最適設計、並列処理、システム工学、知的システムの設計。現在の研究テーマは、並列分散処理に基づくシステムの最適化、遺伝的アルゴリズムやシミュレーテッドアニーリングなどの進化的最適化手法の分散並列化、PCクラスター・コンピューティングなど。主な著書は「進化する人工物」(オーム社)、「工学問題を解決する適応化・知能化・最適化法」(技法堂出版)など。IEEE、情報処理学会、人工知能学会、システム制御情報学会、日本機械学会、計算工学会、超並列計算研究会代表、経済産業省産業技術審議会委員など、各方面で幅広く活躍している。2000年度から文部科学省補助事業である学術フロンティア「知能情報科学とその応用」研究プロジェクトのプロジェクトリーダー。昨年構築したPCクラスターはAMDのOpteronプロセッサを512台、ギガビットイーサネットという高速ネットワークで結合したもので、ベンチマークテストLinpackで1.169テラフロップスを達成、世界スーパーコンピュータのランキングで93位を獲得した。日本のPCクラスターでは1位の性能を出した(2003年11月現在)。

[14:10-14:30] 講演4：奈良先端科学技術大学院大学における研究プロジェクト



石井 信（奈良先端大）

1986年東京大学工学部卒業、1988年同大学院工学系研究科修士課程修了。(株)リコー中央研究所研究員、ATR人間情報通信研究所研究員、奈良先端科学技術大学院大学助教授を経て、2001年より奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授。博士(工学)。機械学習、脳型情報処理、システム神経生物学、バイオインフォマティクスなどの研究を行っている。

【 14 : 30-14 : 50 】 講演 5 : ATR メディア情報科学研究所知能ロボティクス研究所における研究プロジェクト



片桐 恭弘 (ATR)

1981年, 東京大学工学系研究科情報工学専攻修了. 工学博士.
NTT 基礎研究所を経て現在 ATR メディア情報科学研究所所長.
自然言語処理, 社会的インタフェース, マルチモーダル対話の認知科学の研究を行う.

【 講演概要 】

ATR メディア情報科学研究所・知能ロボティクス研究所では, 今までに見逃してきた人々の体験や出来事, 感動を観測し, 他の人々と共に体験を共有可能にする, 新しいインタラクション・メディアの基盤技術を確立することを目的として, 研究を進めている. 本稿においては, それらの研究の中から, 代表的ないくつかの研究を紹介する.

【 14 : 50-15 : 10 】 講演 6 : NTT コミュニケーション科学基礎研究所のビジョン



管村 昇 (NTT)

1950年神戸生まれ. 1975年大阪大学大学院工学研究科修了. 工学博士 (1985年: 大阪大学). 1975年日本電信電話公社 (現 NTT) 武蔵野電気通信研究所勤務. 1995年 (株) NTT データ勤務, 情報科学研究所長, 人材開発部長を経て2000年7月 NTT コミュニケーション科学基礎研究所副所長. 2003年4月 NTT コミュニケーション科学基礎研究所所長. 2004年1月 IEEE Fellow. 主な研究分野: 音声情報処理・ヒューマンインタフェース技術.

【 講演概要 】

20世紀後半は, インターネットや携帯電話などの情報通信技術により社会や市民の生活が大きく変化した. コミュニケーションは, 質・量とも拡大の一途をたどり, ビジネスや日常生活への影響だけでなく, 人間のコミュニケーション行動そのものにも大きな変革をもたらしている. 人間と人間との音声によるコミュニケーションは, さらに人間とモノ, またモノとモノのコミュニケーションへと多様化してきている. 1991年7月4日, やがて迎える21世紀にはコミュニケーションの研究が最重要課題になるとの認識のもと, コミュニケーション科学研究所がけいはんな学研都市内に設立された. その後, 組織の再編により1999年コミュニケーション科学基礎研究所が誕生した. コミュニケーション科学基礎研究所は, コミュニケーションの本質を探索することにより, 情報通信の未来に向かって新しい原理や概念の創出をめざしている.

【 15 : 20-15 : 40 】 講演 7 : NICT けいはんな情報通信融合研究センター (KICR) の紹介



中山 治人 (NICT)

1951年生まれ. 京都府出身. 1975年名古屋大学理学部卒業. 1983年大阪大学大学院基礎工学研究科生物工学専攻修了, 工学博士. 1983年関西学院大学理学部助手. 1986年新技術事業団 (現科学技術振興機構) 技術参事. 1991年郵政省通信総合研究所 (現独立行政法人情報通信研究機構) 関西先端研究センター生体物性研究室長. 2000年同研究所けいはんな情報通信融合研究センター長. 現在ヒューマンインタフェース/コンテンツ処理技術の研究所経営に従事.

【 講演概要 】

けいはんな情報通信融合研究センターは, (当時) 総務省通信総合研究所の情報通信技術のうちユーザに近い領域, 例えばヒューマンインタフェースやコンテンツ処理などの技術分野の研究をけいはんなに集約し, 研究を発展させるために2000年7月に設置された. けいはんなに立地したこと自体が示すように, この技術分野の研究の関西での高いポテンシャルを期待し, 産や学など外部との本格的連携を研究センターの基本的な性格として出発した. センター自身の組織としては当初より5研究グループ体制をとり, 要素的な研究として, (1) 分散協調コミュニケーションの研究 (分散協調メディアグループ) (2) バリアフリー・コミュニケーションの研究 (ユニバーサル端末グループ) (3) 身体的コミュニケーションメカニズムの研究 (社会的インタラクショングループ) (4) コンテンツ融合環境構築技術の研究 (メディアインタラクショングループ) (5) 自然言語の研究 (自然言語グループ) の研究を進めている. 2002年, 総務省の施策 (補正予算) により KICR に産学官連携の基盤となる研究施設 (オープンラボ) を整備することとなり, これを基盤に産学官連携の中味を作ることを目指した. 外部でもこれに呼応してオープンラボ施設を活用して連携の活力を生み出すことを目指した動きがすすみ, 関係連を中心とした活動により, 施設の完成 (2003年春) に先立ってけいはんな情報通信オープンラボ協議会が設立された. 協議会は設立当初より精力的に KICR と一体となった研究プロジェクトの構築をすすめた. 以下, オープンラボ活動を軸とした KICR の展開を簡略に示す.

【 15 : 40-16 : 00 】 講演 8 : 松下電器産業株式会社先端技術研究所知能情報技術研究所の概要



丸野 進 (松下電器)

1978年3月静岡大学卒業. 1978年4月松下電器産業株式会社入社. 中央研究所にて画像処理, 画像記録関係の研究開発に従事. 1987年5月~1989年10月米国ユタ大学ヘルスサイエンス研究センター客員科学員. 神経信号制御, 神経生理の研究に従事. 1989年11月松下電器産業株式会社中央研究所. 1997年1月同社本社経営企画室技術企画担当副参事. 2000年5月同社 R&D 企画室. 2000年7月同社本社技術部門ソフトウェア技術戦略室室長. ソフトウェア開発本部ソフトウェアエンジニアリング G マネージャーを経て2001年8月同社先端技術研究所. 2001年10月同社先端技術研究所ヒューマンウェア研究所所長. 2003年9月同社先端技術研究所知能情報技術研究所所長. 現在に至る.

【16:00-16:20】講演9:「協創」～オムロンイノベーションセンタを中心として～



庄中 永(オムロン)

昭和54年大阪大・工卒，同年立石電機株式会社(現オムロン(株))入社。
平成14年現職の技術本部企画室長に就任。
平成15年オムロン京阪奈イノベーションセンタ事業所長に就任。

【16:20-16:40】講演10:知的クラスターネオカデンプロジェクト



渡辺 好章(同志社大)

1974年同志社大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了，1981年同志社大学助手・講師・助教授を経て1992年教授。超音波エレクトロニクス，非線形音響の工学的応用，生物ソナー等の研究に従事。電子情報通信学会，日本音響学会，日本超音波医学会，海洋音響学会等会員。工学博士。現在，文部科学省知的クラスター創成事業ヒューマンエルキュープ研究統括，日本音響学会副会長。

【講演概要】

けいはんなには産官学のさまざまな研究機関が点在しており，これら研究機関の連携を核としてさまざまなプロジェクトが推進されている。その代表的なプロジェクトとして，2002年度を初年度として5年間の実施が予定されている文部科学省知的クラスター創成事業「ヒューマンエルキュープ産業創成のための研究プロジェクト」が挙げられる。知的クラスター事業の狙いは，それぞれの地域においてその特色を活かしたプロジェクトを推進することによって，大学を核とした日本版シリコンバレーを創出することであり，この事業の実施によって，大学内に蓄積されている技術シーズを核として，新しい製品さらには事業を展開することが期待されている。従って，この事業における研究者に対する評価も，いかにすぐれた学術的な論文を書くこともさることながら，製品化あるいは事業化を指向した技術の開発ならびにその知的所有権化がより大きな評価対象となるという特色を持つ。

「ヒューマンエルキュープ」とは，Life，Living，Learningの3つのLを表しており，このプロジェクトにおいては，これらのLで構成される豊かな人間生活を実現するためのさまざまな技術群を開発すると同時に，そのバランスの良いフォーメーションの実現が課題としてあげられている。ヒューマンエルキュープにおいては，現在8つの中核プロジェクトが推進されており，表題にある「ネオカデン」はその中で特に，LivingとLearningに関連する4つのプロジェクトを束ねるキーワードである。ネオカデンプロジェクトにおいては，本学会と関連の深いIT技術やソフトウェアアルゴリズムを基盤としたプロジェクト展開が多い。そこでここでは，ネオカデンの基本コンセプトについて概説する。

【16:40-17:40】パネル討論：関西は燃えているか？

司 会：三木 光範(同志社大)

写真および略歴は「講演3：同志社大学学術フロンティア「知能情報科学とその応用」研究プロジェクト」のページを参照。

パネリスト：石原 好之(同志社大)

写真および略歴は「オープニング」のページを参照。

パネリスト：小池 幸男(国土交通省)

写真および略歴は「講演1：関西文化学術研究都市の概要」のページを参照。

パネリスト：輔信 捷三(関西文化学術研究都市推進機構)

写真および略歴は「講演2：関西文化学術研究都市における研究プロジェクト」のページを参照。

パネリスト：石井 信(奈良先端大)

写真および略歴は「講演4：奈良先端科学技術大学院大学における研究プロジェクト」のページを参照。

パネリスト：片桐 恭弘(ATR)

写真および略歴は「講演5：ATRメディア情報科学研究所知能ロボティクス研究所における研究プロジェクト」のページを参照。

パネリスト：管村 昇(NTT)

写真および略歴は「講演6：NTTコミュニケーション科学基礎研究所のビジョン」のページを参照。

パネリスト：中山 治人(NICT)

写真および略歴は「講演7：NICTけいはんな情報通信融合研究センター(KICR)の紹介」のページを参照。

パネリスト：丸野 進(松下電器)

写真および略歴は「講演8：松下電器産業株式会社先端技術研究所知能情報技術研究所の概要」のページを参照。

パネリスト：庄中 永(オムロン)

写真および略歴は「講演9：「協創」～オムロンイノベーションセンタを中心として～」のページを参照。

パネリスト：渡辺 好章(同志社大)

写真および略歴は「講演10：知的クラスターネオカデンプロジェクト」のページを参照。

けいはんな学研セッション（第2日）

9月8日（水）9:00-12:00 [第4サブメイン会場（知真館1F TC1-116）]

【9:00-9:10】オープニング

三木 光範（同志社大）

写真および略歴はけいはんな学研セッション（第1日）「講演3：同志社大学学術フロンティア「知能情報科学とその応用」研究プロジェクト」のページを参照。

【9:10-10:00】講演1：同志社大学学術フロンティア「知能情報科学とその応用」研究プロジェクトにおける代表的研究



力丸 裕（同志社大）

福岡県生まれ。京都大学工学部卒。米国 Northwestern 大学（Chicago）にて Communication Science and Disorders の分野で PhD 取得（1987年）。Washington 大学（St. Louis）にてコウモリ生物ソナーの神経機構解明の研究に従事。1991年から理化学研究所フロンティア研究システム（現：理化学研究所脳科学総合研究センター）にてサル聴覚中枢研究を開始。1994年に科学技術庁「さきがけ21」研究員に採用。1995年より、同志社大学工学部知識工学科教授。



柳田 益造（同志社大）

1969 阪大・工卒，71 同・修士了，同年 NHK 入局，72-75 阪大・産研・研究生，78 同・博士了，同年 同大・産研・助手，同・助教授を経て，87 郵政省電波研（現：情報通信研究機構）・音声研究室長。89 通信総研関西支所を経て，94 同志社大・工・教授。現在に至る。この間，EXPO'70 西独館ミキサー，78-79 オランダ国立グローニンゲン大・音声研・客員研究員。2004 音響学会佐藤論文賞受賞。工博。日本音響学会理事，音楽知覚認知学会理事，電子情報通信学会，情報処理学会，IEEE，ASA など，各会員。

三木 光範（同志社大）

写真および略歴はけいはんな学研セッション（第1日）「講演3：同志社大学学術フロンティア「知能情報科学とその応用」研究プロジェクト」のページを参照。

【講演概要】

従来の脳機能研究は，刺激となる信号に対して，脳神経系がどのように応答するかを測定する際に，静的な信号に対する静的な応答として取り組んできた。しかし，殆どの刺激は時間的に変化する動的なものであり，脳神経系の応答も時間的に変化する動的なものである。我々の脳神経系は，リアルタイムで多くのことを手際よく処理している。しかし，その処理速度（演算速度）は極めて遅く，たかだか 1 kHz のクロックに相当する程度であるので，現在のパソコンの演算速度の 300 万分の 1 程度である。聴覚や視覚などの感覚系では，リアルタイム処理に加えて，不良設定問題を効率良く解く必要がある。演算速度に依存した現在一般に行われている「認識」技術では，不良設定問題を解くことは困難である。本論文では，極端に遅いプロセッサでリアルタイム，時分割処理を実施している脳神経系に着目し，通常存在する情報が欠落しても安定した知覚を創りだすための脳神経機構の好例であるヒトの音声知覚機構のロバストネスに関して論ずる。ここで論ずる研究の方向性は，ME 分野のヒューマンインターフェイスの改良や効率の良い障害者用診断・訓練機器の開発の実現化につながる。

【10:00-10:30】講演2：奈良先端科学技術大学院大学の代表的研究



藤川 和利（奈良先端大）

昭和63年3月大阪大学基礎工学部情報工学科卒業，平成3年9月同大学院基礎工学研究科研究科博士後期課程中退後，大阪大学助手，奈良先端科学技術大学院大学助手，大阪市立大学講師，奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター助教授，現在に至る。この間，マルチメディア通信技術，マルチメディアネットワークアプリケーション技術に関する研究に従事。現在，ユビキタスコンピューティング，P2P 技術に興味を持つ。

【10:30-11:00】講演3：ATR メディア情報科学研究所知能ロボティクス研究所の代表的研究

片桐 恭弘（ATR）

写真および略歴はけいはんな学研セッション（第1日）「講演5：ATR メディア情報科学研究所知能ロボティクス研究所における研究プロジェクト」のページを参照。

【11:00-11:30】講演4：NTT コミュニケーション科学基礎研究所の代表的研究



森 啓 (NTT)

1986年東北大学工学部電子工学科卒。1988年東北大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了。1988年NTT 情報通信処理研究所勤務。1994年NTT コミュニケーション科学研究所へ異動。1998年西日本電信電話株式会社関西システム開発センタへ異動。1999年西日本電信電話株式会社法人営業本部勤務。2003年西日本電信電話株式会社ブロードバンド推進本部BBアプリケーションサービス部勤務。2004年NTT コミュニケーション科学基礎研究所へ移動、現職に至る。

【講演概要】

近年、インターネット、ブロードバンド環境が急速に、かつ全国的に普及するに至り、情報の発信とアクセス手段が一部の専門家、研究機関から一般利用者、家庭へと渡り、しかも時間と場所の制約を超えて何時でも何処でも情報を身近に感じる生活へと変わった。一方、誰でもが情報を発信して、アクセスできるということは、相互理解の促進の可能性を拡張する反面、それを正しく理解し使う能力が求められる。つまり、情報を伝え受ける最低限のハードウェアのネットワークから、それを人間が想いを伝え理解し、受け止め合えるコミュニケーションへとより高いレベルの研究が求められていることを意味している。NTT コミュニケーション科学基礎研究所は、その状況下でコミュニケーションの理想像を描き、人間の相互理解を深める研究を推進している。本文では、コミュニケーションを科学する研究を5つのカテゴリ〔感覚の拡張、対話能力の拡張、伝達能力の拡張、情報収集能力の拡張、計算能力の拡張〕に分類して代表的な例を交えながら、その研究活動を紹介する。

【11:30-12:00】講演5：NICT 自然言語グループの紹介



井佐原 均 (NICT)

1954年生まれ。大阪府出身。1978年京都大学工学部卒業。1980年京都大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了、博士(工学)。1980年通商産業省工業技術院電子技術総合研究所入所。1995年郵政省通信総合研究所入所。知的機能研究室長。現在独立行政法人情報通信研究機構けいはんな情報通信融合研究センター自然言語グループリーダー兼タイ自然言語ラボラトリー長。自然言語処理、機械翻訳の研究に従事。

【講演概要】

情報通信研究機構(NICT)の自然言語グループでは、自然言語処理技術の研究開発を行っており、その基盤として、言語に関する研究と、研究用言語資源の開発を行っている。また、アジア圏における研究協力の拠点として、バンコク北部にタイ自然言語ラボラトリーを設置し、アジア言語の研究開発を行っている。さらに、けいはんな情報通信融合研究センター内にオープンラボを設置し、企業との連携の下で、自然言語処理システムに関する研究開発を行っている。以下、これらの各項目について概説する。

講演プログラム

(著者の印は講演者、ただし講演者が32才以下(開催年)の場合は印)
このプログラムはインターネットで申し込まれたデータを元に作成しています。(所属は略称)
講演番号の分野の前に「L」が付いているものは情報技術レタース掲載論文です。

特別企画講演：けいはんな学研セッション(第1分冊)

[けいはんな学研セッション 第1日目]

9月7日(火) 13:00 ~ 17:40 第4サブメイン会場(知真館1F TC1-116)

講演1	関西文化学術研究都市の概要	小池幸男(国土交通省)
講演2	関西文化学術研究都市における研究プロジェクト	輔信捷三(関西文化学術研究都市推進機構)
講演3	同志社大学学術フロンティア「知能情報科学とその応用」研究プロジェクト	三木光範(同志社大)
講演4	奈良先端科学技術大学院大学における研究プロジェクト	石井信(奈良先端大)
講演5	ATRメディア情報科学研究所知能ロボティクス研究所における研究プロジェクト	片桐恭弘(ATR)
講演6	NTTコミュニケーション科学基礎研究所における研究プロジェクト	管村昇(NTT)
講演7	NICTけいはんな情報通信融合研究センター(KICR)の紹介	中山治人(NICT)
講演8	松下電器産業株式会社先端技術研究所知能情報技術研究所の概要	丸野進(松下電器)
講演9	「協創」~オムロンイノベーションセンタを中心として~	庄中永(オムロン)
講演10	知的クラスターネオカデンプロジェクト	渡辺好章(同志社大)

[けいはんな学研セッション 第2日目]

9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 第4サブメイン会場(知真館1F TC1-116)

講演1	同志社大学学術フロンティア「知能情報科学とその応用」研究プロジェクトにおける代表的研究	力丸裕・柳田益造・三木光範(同志社大)
講演2	奈良先端科学技術大学院大学の代表的研究	藤川和利(奈良先端大)
講演3	ATRメディア情報科学研究所知能ロボティクス研究所の代表的研究	片桐恭弘(ATR)
講演4	NTTコミュニケーション科学基礎研究所の代表的研究	森啓(NTT)
講演5	NICT自然言語グループの紹介	井佐原均(NICT)

分野A. モデル・アルゴリズム・プログラミング(第1分冊)

[グラフ・組合せ理論]

9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3U会場(知真館1F TC1-127)

A-001	Balanced C_{16} -Bowtie Decomposition Algorithm of Complete Graphs	潮和彦・藤本英昭(近畿大)
A-002	Balanced C_{16} -Trefoil Decomposition Algorithm of Complete Graphs	藤本英昭・潮和彦(近畿大)
LA-001	Generating All Series-parallel Graphs	川野晋一郎・中野真一(群馬大)
A-003	DNAを用いた0-1整数計画問題の解法	厚山耕太・藤原暁宏(九工大)
LA-002	無向ネットワーク中のソース配置問題に対する近似アルゴリズム	坂下麻里子・牧野和久(阪大)・藤重悟(京大)
A-004	大規模な最大クリーク問題に対するk-opt局所探索法の性能評価	濱本明宏・片山謙吾・成久洋之(岡山理科大)

[アルゴリズム応用]

9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4U会場(知真館1F TC1-127)

A-005	長時間インパルス応答と無限長信号のコンボリューションのための2重オーバーラップ法	飯干紘史・柳田益造(同志社大)
A-006	TZBMアプローチを用いた作業の平準化モデル	田雅杰(ATR)・劉遠(京大)・下原勝憲(ATR)・榎木哲夫(京大)
LA-003	協調フィルタリングにおける相関係数法の改善手法の提案	平山巧馬(立命館大)・小柳滋(立命館大)
A-007	R木を用いた非矩形領域探索アルゴリズムの評価	田村壮・能登谷淳一・草苺良至・笠井雅夫(秋田県大)
A-008	組み合わせ最適化アルゴリズムに基づく研究室配属システムの開発	伊豆田慎・藤原暁宏(九工大)
A-009	構造最適化と数値最適化に着目した画像処理自動生成法	藤嶋航・長尾智晴(横浜国大)
A-010	GPによって生成された木構造画像処理フィルタの解析	篠原知子・長尾智晴(横浜国大)
A-011	遺伝的アルゴリズムを用いたコージェネレーションシステムの最適設計	廣安知之・三木光範・平井聡・下坂久司・梅田良人・青木修一・田中洋一(同志社大)

[分散型アルゴリズム]

9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5U会場(知真館1F TC1-127)

A-012	分散グループ相互排除アルゴリズム	尾崎比呂人・角川裕次(広島大)
A-013	局所名前付け自己安定アルゴリズム	川井裕之・角川裕次(広島大)
A-014	グリッドコンピューティングを用いた連立代数方程式の解法-根の振る舞いの解析に向けて-	鈴木秀男(能力開発総合大東京校)・小林英恒(日大)・三浦正浩(創夢)
A-015	アドホックネットワーク向け自己安定トークン巡回アルゴリズムの実験的評価	梶原大輔・角川裕次(広島大)
A-016	確率的弱コラムシステムを用いたP2P環境オブジェクト検索アルゴリズムの実験的評価	田川太郎・三浦健・角川裕次(広島大)
A-017	グリッド環境における完全交換に対するスケジューリングアルゴリズム	中平健太・藤原暁宏(九工大)
A-018	分散メモリマルチコンピュータにおける線形及び非線形回帰演算の並列化アルゴリズム	若谷彰良・小林寛(甲南大)

[数理モデルと問題解決 (1)]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6H会場(知真館1F TC1-108) 座長 廣安 知之(同志社大)
- A-019 遺伝的アルゴリズムによる複雑ネットワークの解法の基礎的検討
..... 廣安知之・三木光範・佐藤史隆(同志社大)・鈴木泰博(東京医歯大)
- A-020 並列分散対話型遺伝的アルゴリズムを用いた合意形成システムの有効性 ... 三木光範・廣安知之・富岡弘志(同志社大)
- A-021 連続最適化問題におけるシミュレーテッドアニーリングアルゴリズムの解探索性能の比較
..... 廣安知之・三木光範・昌山 智(同志社大)・岡本祐幸(岡崎国立共同研究機構)
- A-022 多目的遺伝的アルゴリズムにおける制約条件の取り扱いの検討
..... 廣安知之・三木光範・鈴木和徳・金 美和(同志社大)
- A-023 ダミー目的関数をもつ多目的確率的山登り法 三木光範・廣安知之・日和 悟・實田 健(同志社大)
- A-024 推定誤差を有する適応度関数の実数値遺伝的アルゴリズムによる最適化
..... 手塚 大(北大/日立東日本ソリューションズ)・棟朝雅晴・赤間 清(北大)
- A-025 CD ブートLinuxを用いたグリッドによるFDTD並列計算の負荷分散特性 ... 木村功児・園田 潤(仙台電波高専)
- A-026 推移確率行列を用いた時系列データの予測信頼度 千葉隆司・松葉育雄(千葉大)

[プログラミング]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6I会場(知真館1F TC1-110) 座長 小宮 常康(豊橋技科大)
- A-027 メモリリークを防ぐためのC++ライブラリの開発 田中 学(茨城工業高等専門学校)
- A-028 プロセス情報と負荷変動傾向を用いた計算機負荷長期予測モデル 立見博史・菅谷至寛・阿曾弘具(東北大)
- LA-004 コンポーネントベース開発のためのアプリケーションフレームワーク
..... 井上晶広・蔵川 圭・中西正樹・渡邊勝正(奈良先端大)
- A-029 (講演取消)
- A-030 オブジェクトのインスタンス化とインスタンス単位でのアスペクトの適用 下滝亜里(阪産大)
- A-031 オブジェクト指向プログラミングにおけるオブジェクトの自動可視化
-Nigariへの実装を例として 鈴木健司・小田嶋祐介・長 慎也(早大)・甲斐宗徳(成蹊大)・筑 捷彦(早大)
- A-032 オブジェクトの場所を区別せずにプログラムを書く事が出来る言語機能の提案 原田英明・山本浩樹(早大)

[計算・符号理論]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6U会場(知真館1F TC1-127) 座長 田中 圭介(東工大)
- A-033 正規表現をNFAに変換するためのアルゴリズムについて
..... 山本博章(信州大)・宮崎 敬(長野高専)・岡本正行(信州大)
- A-034 Persistence of Termination for Non-Overlapping Term Rewriting Systems 岩見宗弘(島根大)
- LA-005 項書換えシステムにおける可簡約演算子とその応用 中村正樹・二木厚吉(北陸先端大)
- A-035 SATはNP完全か?(Cookの定理は間違っていた!) 山口人生(I.I.I.)
- A-036 高速なLZ77型圧縮アルゴリズム 井谷宣子・小田切淳一・吉田 茂(富士通研)
- A-037 格子縮約を用いた素因数分解アルゴリズムについて 伊豆哲也(富士通研)

[数理モデルと問題解決 (2)]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7H会場(知真館1F TC1-108) 座長 中條 拓伯(農工大)
- LA-006 組合せオークションモデルに基づく異常時の鉄道乗務員運用変更計画作成アルゴリズム
..... 藤森 淳・富井規雄(鉄道総研)・平山純一郎(ニューメディア総研)
- A-038 ニューラルネットを用いた特性予測に基づく量子井戸デバイス設計法 河野芳江・安藤太郎(ATR)
- A-039 あるクラスの属性グラフ文法に対する属性評価アルゴリズム 安達由洋(東洋大)
- A-040 On Computation of Minimal Free Energy and Partition Function of Multiple Nucleic Acid Sequences
..... Masami Hagiya・ Keiichiro Takahashi (University of Tokyo)
- A-041 Rho 族 GTP アーゼ・インタラクトーム・ネットワークの再構築:核受容体とのクロストークの調整メカニズム
..... 劉 健勳・下原勝憲(ATR)
- LA-007 最大クリーク抽出の より高速なアルゴリズム 森田昭広・富田悦次(電通大)・亀田宗克(オリンピア)
- LA-008 遺伝子の機能分類を利用した遺伝子制御ネットワーク推定手法
..... 瀧 浩平(阪大)・寺本礼仁(住友製薬)・竹中要一・松田秀雄(阪大)
- A-042 p-median 問題に対するアントアルゴリズムの適用 山本浩司・土屋達弘・菊野 亨(阪大)

分野B. ソフトウェア (第1分冊)

[Gridシステム構成法]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1H会場(知真館1F TC1-108) 座長 新城 靖(筑波大)
- B-001 補助スレッドによるソフトウェアの信頼性向上 ... 本山英典(早大)・古閑 聡・小松秀昭(日本IBM)・深澤良彰(早大)
- B-002 環境適応型スケジューリング実現方式の検討 井上悠佑(九大)・小坂隆浩(同志社大)・福田 晃(九大)
- B-003 NAS CG ベンチマークによるプリフェッチ機能付きメモリモジュールの性能評価 箱崎博孝(横浜国大)・
田邊 昇(東芝)・安藤 宏・土肥康孝(横浜国大)・中條拓伯(農工大)・天野英晴(慶大)
- B-004 iSCSI ストレージアクセス時におけるTCP輻輳ウィンドウとシステム性能の関連性評価
..... 豊田真智子(お茶の水女子大)・山口実靖(東大)・小口正人(お茶の水女子大)
- B-005 広域分散環境における最適化計算システムの開発 下坂久司・廣安知之・三木光範(同志社大)
- B-006 Grid環境における情報管理サービスの検討 杉内 創・小坂隆浩(同志社大)・福田 晃(九大)
- B-007 実時間グリッド計算のための資源割当システムの設計
..... 伊野文彦(阪大)・土屋博之(東芝情報システム)・萩原兼一(阪大)

[高信頼システムの構成法]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1K会場(知真館1F TC1-114) 座長 早川 栄一(拓殖大)
- B-008 RAIDシステム内蔵型NAS(1)-高速I/Oコマンドインタフェース- 山崎康雄・須藤敦之・坂口明彦(日立)
- B-009 RAIDシステム内蔵型NAS(2)-高信頼ファイルシステム- 中村隆喜(日立)
- B-010 RAIDシステム内蔵型NAS(3)-多世代スナップショット機能の高速化- 須藤敦之・山崎康雄(日立)
- B-011 RAIDシステム内蔵型NAS(4)-多世代スナップショット機能における最大論理ボリューム数拡大- 清水 晃・山崎康雄(日立)
- B-012 メモリ使用量削減を考慮したプロセスレプリケーション方式の設計 ... 菅原智義(NECシステムプラットフォーム研究所)
- B-013 SMPシステムに対応するLinux稼動中バッチ方式の検討 ... 畑崎恵介(日立)・船生真紀子(日立超LSIシステムズ)
- B-014 メモリアクセス特性を用いたメモリ管理ポリシー選択の自動化 川原 葵・小林良岳・前川 守(電通大)
- B-015 携帯機器で多言語リソースを利用可能にするクライアント・サーバモデル 小林さとみ(京大)

[Grid 応用]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2H会場(知真館1F TC1-108) 座長 安崎 篤郎(日立)
- B-016 NetSolveを用いたPSA/GAcによるタンパク質立体構造予測 廣安知之・三木光範・宇野尚子(同志社大)・岡本祐幸(岡崎国立共同研究機構)
- B-017 Webサービスを用いたタンパク質立体構造予測システムの開発 ... 廣安知之・三木光範・狩野浩一・下坂久司(同志社大)
- B-018 MPI-HMMERのGrid向けスケジューリング 松井洋介・小舟康予・小坂隆浩(同志社大)・福田 晃(九大)
- B-019 PCクラスタによるFFT処理の実行と性能評価 齋藤 毅・當山孝義・谷澤 茂(日本工大)
- B-020 広域分散環境における「環視」システムの構築 釘井睦和・廣安知之・三木光範・谷口義樹(同志社大)
- B-021 PCクラスタにおける並列言語MpCとOpenMPの性能比較 ... 長尾知幸・渡辺義人・緑川博子・飯塚 肇(成蹊大)

[自動生成と知能ソフトウェア]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2R会場(知真館1F TC1-124) 座長 山口 高平(慶大)
- B-022 データディクショナリ共用による効率的な多言語プログラム自動合成手法 山村喜恒・鹿島啓吾・西本幸治・山口 潔・秋元敏夫(日立)
- B-023 ソフトウェアの操作学習支援をする操作マップの自動生成手法 黒岩大輔・岩田 一(早大)・白銀純子(東京女子大)・深澤良彰(早大)
- B-024 番組情報獲得システムにおけるラッパエージェント構築法 宮崎 勝・後藤 淳・小峯一晃・浦谷則好(NHK)
- B-025 GAにおける逆位の性能改善について 今泉一郎・高木真里・若林美穂・佐藤 章(東洋大)
- B-026 GAを用いたファジィグラフの頂点配置 若林美穂・今泉一郎・植田佳典・佐藤 章(東洋大)

[ユーザレベルOS/組込みシステム/セキュアなシステム]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3K会場(知真館1F TC1-114) 座長 菅原 智義(NEC)
- B-027 CopyOnWriteを適用したUML-KNOPPIX 須崎有康・飯島賢吾(産総研)・丹 英之(アルファシステムズ)・八木豊志樹(産総研)
- B-028 ユーザレベルOSのためのユーザレベルネットワーク機能 榮樂英樹(筑波大)・新城 靖・加藤和彦(筑波大/JST CREST)
- B-029 仮想マシン環境を用いたオペレーティングシステム構成法 山本茂樹・早川栄一(拓大)
- B-030 組込みSW更新を目的としたオブジェクト配置方法 三井 聡・清原良三(三菱)
- B-031 コンシューマ向け組込み機器に対する組込みLinuxの評価 播津 敦・伊藤孝之・落合真一(三菱)
- B-032 ネットワークアプリケーションをテストするための通信記録再生機能 今里邦夫・新城 靖・鈴木真一・板野肯三(筑波大)・加藤和彦(筑波大/JST CREST)
- B-033 SoftwarePotへのチェックポイント機構の導入 横山陽介・大山恵弘・米澤明恵(東大)

[形式手法]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3R会場(知真館1F TC1-124) 座長 海尻 賢二(信州大)
- B-034 隠蔽度数に基づく命令型プログラム言語の意味論の記述と検証 渡辺真啓・中村正樹・二木厚吉(北陸先端大)
- B-035 Provable Translator from OTS/CafeOBJ Specifications to Java Programs Jittisak Senachak・清野貴博(Japan Advanced Institute of Science and Technology)・緒方和博(NEC Software Hokiriku, Ltd.)・二木厚吉(Japan Advanced Institute of Science and Technology)
- B-036 代数仕様言語CafeOBJと証明支援系CoqによるSTSプロトコルの形式化と検証 原 光太郎・中村正樹・二木厚吉・緒方和博(北陸先端大)
- B-037 Zによる仕様記述と状態遷移規則の比較による誤り検出法 平岡雅也・織田 健(電通大)
- B-038 効率のよいコース探査のための抽象化 大矢野 潤(千葉商科大)

[管理とWeb]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4D会場(知真館1F TC1-104) 座長 権藤 克彦(東工大)
- B-039 アジャイルソフトウェア開発におけるプロジェクト能力計測ツールの開発 大蔵君治・花川典子(阪南大)
- B-040 「リスク駆動型プロジェクトマネジメント」の提唱 武田和昭(日本IBM)
- B-041 システム開発における作業状況観測方法に関する一提案 池田貴之・大原茂之(東海大)
- B-042 開発規模見積もりのためのソフトウェアドキュメントに関する研究 齋藤達也(インテック)・高橋正和(ギャラクシー・エクスプレス)・津田和彦(筑波大)
- B-043 (講演取消)
- B-044 組込みWebサービス構築環境 μ WS-Suite 阿部一裕・炭崎竜平・荒井兼秀・遠藤義雄(三菱)
- B-045 外部データと連携して自動更新する要素を含むWeb画面の実現 大崎雅代・寺岡照彦(三菱)

[保守と品質と再利用]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5E会場(知真館1F TC1-105) 座長 神谷 年洋 (科学技術振興機構)
- B-047 保守ドキュメント自動生成システム「SysSurf」による保守支援
..... 上村 学・吉野利明・五味俊明・伊藤栄信・松尾昭彦(富士通研)
- B-046 保守ドキュメント自動生成システム「SysSurf」 - ドキュメント化手法 -
..... 五味俊明・吉野利明・上村 学・松尾昭彦・伊藤栄信(富士通研)
- B-048 ソースコード生成法を用いた利用モデルの作成 高木智彦・古川善吾(香川大)
- B-049 リファクタリングプロセスのプログラム品質への影響に関する考察 藤原 巧・松浦佐江子(芝浦工大)
- B-050 多様な品質要求に応じたソフトウェア部品提供のためのリポジトリシステム 二木邦尚・織田 健(電通大)
- B-051 レガシーデータ移行のためのデータ設計におけるマッピングプロセス ... 矢部圭市郎・黒川史昭・島山康博(北大)
- B-052 ソフトウェアパターン文書の解析および体系化 久保淳人(早大)・鷲崎弘宣(国立情報学研)・深澤良彰(早大)

分野 C. アーキテクチャ・ハードウェア (第1分冊)

[LSI設計とシステム設計]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1I会場(知真館1F TC1-110) 座長 堤 利幸(明大)
- C-001 TCP/IP ハードコアの設計とその消費電力解析 榎町健一・井上弘土・ワシリー モシニャガ(福岡大)
- C-002 免疫システムアーキテクチャとその評価 尾関 剛・井上勇気・香川憲市・吉川雅弥・寺井秀一(立命館大)
- C-003 遺伝的アルゴリズムによるアナログIC自動レイアウトシステム
..... 吉田和生・山田 亮・吉川雅弥・藤野 毅・寺井秀一(立命館大)
- C-004 組み合わせ論理回路の自動修正について 平塚 聡(立命館大)・岡田 俊(ローム)・房岡 璋(立命館大)
- C-005 システムレベル言語を用いたハードウェア/ソフトウェア協調設計方式と構築
..... 松本祐輔・遠藤 祐(電機大)・清尾克彦(三菱)・小泉寿男(電機大)
- C-006 システムレベル設計のシーケンス制御への応用 小林憲貴・吉田紀彦(埼玉大)・植崎修二(長崎大)
- C-007 抽象仕様の再構成に基づくオブジェクト指向システムレベル設計
..... 山崎亮介・吉田紀彦(埼玉大)・植崎修二(長崎大)
- C-008 直交位相デジタル正弦波発振システム設計の検討 今井幸雄(東海大)

[ネットワークと分散システム]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2I会場(知真館1F TC1-110) 座長 岩崎 一彦(都立大)
- C-009 ゴシップ型マルチキャストにおけるメンバーシップビューの構造化が信頼性に及ぼす影響に関する研究
..... 五十嵐大輔・土屋達弘・菊野 亨(阪大)
- C-010 アドホックネットワークに対するゴシップ型ブロードキャストプロトコルの信頼性の分析
..... 池田伸一・土屋達弘・菊野 亨(阪大)
- C-011 負荷と重要度に基づく動的経路制御方式と検証 長家正和・小山恭平・島川博光(立命館大)
- C-012 自律運用管理システムにおけるポリシ相互伝播方式の提案 大野允裕・加藤清志・平池龍一(NEC)
- C-013 CIM/WBEMによるリソース分担管理機能の研究 ... 宮崎扶美・兼田泰典・藤田高広・浅野正靖・山本政行(日立)
- LC-001 Java アプリケーション多重実行におけるデータベースアクセス管理方式 ... 藤山健一郎・中村暢達・平池龍一(NEC)

[ハードウェアシステム]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3I会場(知真館1F TC1-110) 座長 小畑 正貴(岡山理科大)
- C-014 Handel-Cによる暗号処理ボード SEBSW-2への暗号回路の実装
..... 古市洋希(防衛大)・山内 剛(防衛庁陸上自衛隊)・梶崎浩嗣・岩井啓輔・黒川恭一(防衛大)
- C-015 多関節ロボットアームのリアルタイムシミュレーションによる運動の再現
..... 池田千恵・高津戸 稔・佐藤宏明・柏葉安兵衛(岩手大)
- C-016 責務とコンポーネントによるハードウェア/ファームウェア/ソフトウェア機能分割に関する研究
計算機基本動作教育マシンへの適用
..... 永井良作・金子正人・武内 惇・藤本 洋(日大)・大関隆一・園田孝造(富士通キヤドテック)
- C-017 ハードウェア実現した動的輪郭モデルによる唇の外側および内側の形状抽出について
..... 佐々木悠介・川村尚生・菅原一孔(鳥取大)
- LC-002 並列演算環境における消費電力量低減化手法 尾崎敦夫・佐藤裕幸(三菱)
- C-018 Hardware Design and Cost Evaluation of a Speculative Selection Router
..... Cong So Tran・Oyanagi Shigeru・Yamazaki Katsuhiko(立命館大)

[ソフトウェアシステムと応用]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3J会場(知真館1F TC1-113) 座長 吉永 努(電通大)
- LC-003 分散データ駆動型アーキテクチャによるOSSの実用化
..... 佐藤豪一・昆 孝志・秋山一宜・高橋和秀・神宮司 誠(NTTドコモ)
- LC-004 微小アプライアンス用カーネルUKにおけるタスク実行方式 小熊 寿・田中 聡・山崎憲一(NTTドコモ)
- C-019 操作対象ウィンドウの透視化機能を持つマルチウィンドウシステム
..... 茅野 功(川崎医療短大)・田邊勝也・佐藤洋一郎・横川智教・早瀬道芳(岡山県大)
- C-020 eラーニングにおける最適出題系列の求め方 清水次朗・堺 真悟(福岡工大)
- C-021 路線バス利用援助システムのネットワーク構成法について 楠神元輝・川村尚生・菅原一孔(鳥取大)

[高信頼プロセッサ, 回路技術, 符号]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4I会場(知真館1F TC1-110) 座長 戸田 賢二(産総研)
- C-022 データバス分割に基づく空間的冗長性を利用した高信頼プロセッサ 松坂茂治・井上弘土(福岡大)
- C-023 修理系 TMR プロセッサシステムの信頼性 大原 衛・新井雅之・福本 聡・岩崎一彦(都立大)

- C-024 デジタル LSI の製造後クロック調整におけるタイミング余裕度の検証
 諏佐達也(東邦大)・村川正宏・高橋栄一(半導体 MIRAI-産総研 ASRC)・古谷立美(東邦大)・樋口哲也(半導体 MIRAI-産総研 ASRC)
- LC-005 Open Fault Detection in CMOS Combinational Circuits by Logic Testing with Precharging 三浦幸也(都立大)
- C-025 畳込み圧縮器における誤り見逃し率の評価に関する一考察 新井雅之・福本 聡・岩崎一彦(都立大)
- LC-006 スポッティバイト誤り制御符号 樫山俊彦・鈴木一克・藤原英二(東工大)

[プロセッサの性能評価と並列化]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5I 会場(知真館 1F TC1-110) 座長 中島 康彦(京大)
- C-026 キャッシュ・ミス頻発命令が性能に与える影響 堂後靖博・井上弘士(福岡大)
- C-027 マルチ・スレッド実行を前提としたキャッシュ・リーク削減アルゴリズムの評価
 小宮礼子・井上弘士(福岡大)・ワシリー モシニャガ・村上和彰(九大)
- C-028 SR11000 コンパイラにおけるデータキャッシュ向け最適化 ... 本川敬子・伊藤信一・橋本博幸・久島伊知郎(日立)
- C-029 Verilog-HDL による並列キュープロセッサのデザイン
 三好宗之・ABDERAZEK Ben・繁田聡一・吉永 努・曾和将容(電通大)
- C-030 Superscalar Microprocessor Design in a Hardware Software Co-learning System ... Anh Tuan Hoang・Nakamura Koichiro・Yamazaki Katsuhiro・Oyanagi Shigeru(Ritsumeikan University)

[FPGA 応用]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7I 会場(知真館 1F TC1-110) 座長 天野 英晴(慶大)
- C-031 ダイナミックリコンフィギュレーションによる高速パケット転送処理回路の小型化
 山田博希・甲斐英則・片山 勝(NTT)
- C-032 リコンフィギャラブル・ロジックの画像処理への応用 斉藤友彦・玉真昭男(静岡理工科大)
- C-033 パノラマ映像生成機能を持つテレビ会議用ビデオカメラの開発 長瀬幸規・川村尚生・菅原一孔(鳥取大)
- LC-007 顔領域抽出機能を備えたビデオカメラの開発 山本貴彦・川村尚生・菅原一孔(鳥取大)
- LC-008 プロセッサアーキテクチャ教育用 FPGA ボードコンピュータシステムの開発
 中村浩一郎・池田修久・小柳 滋・山崎勝弘(立命館大)
- C-034 FPGA による動的再合成可能ハードウェアを用いた同相性検索専用計算機
 杉江崇繁・下馬場朋禄・戒崎俊一(理研)・伊藤智義(千葉大)
- C-035 巡回セールスマン問題を対象とする遺伝的アルゴリズムの FPGA 上への実装
 橋 達弘・村田佳洋(奈良先端大)・柴田直樹(滋賀大)・安本慶一・伊藤 実(奈良先端大)
- C-036 モンゴメリ逆元算の FPGA 化設計 クワン ゲン・岩井啓輔・黒川恭一(防衛大)
- C-037 クロスバー・スイッチ結合マルチプロセッサに適した排他制御機構の提案 山本 登(日大)

分野 D. データベース(第2分冊)

[Web・情報検索]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4J 会場(知真館 1F TC1-113) 座長 仲尾 由雄(富士通研)
- D-001 縁に注目した画像のタイプ分けを利用する検索画像へのテキスト付加 ... 中島 誠・高嶋 修・伊藤哲郎(大分大)
- LD-001 交差確認法に基づく適合性フィードバック 藤野昭典・上田修功・斉藤和巳(NTT)
- LD-002 印象に基づく楽曲検索のための個人適応手法の設計と評価 熊本忠彦(NICT)
- D-002 類似検索機能を有する灰色理論型データベースの一提案 ... 山口大輔・小林俊裕・水谷晃三・赤羽根隆広(帝京大)・張 雪元(北京科技大)・永井正武(帝京大)
- D-003 コンテンツ非依存特徴量に基づく動画話題分割手法 帆足啓一郎・菅野 勝・松本一則・菅谷史昭(KDDI 研)
- D-004 親ページ分類を用いた WEB 画像の実用的な検索方法
 植松幸生(NTT)・竹野 浩(NTT レゾナント)・片岡良治(NTT)
- D-005 ホームページ配色データベースの構築とその分析 富田隆三・木本晴夫(名古屋市大)
- D-006 ラベル指向情報検索における分類ラベル統合方式の検討 向井景洋・戸田浩之・片岡良治(NTT)

[ユビキタス・モバイル DB]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4K 会場(知真館 1F TC1-114) 座長 石川 佳治(筑波大)
- D-007 ズーミングメタファによるマルチメディアコンテンツの閲覧方式 荒木禎史(リコー)・宮森 恒(NICT)・加藤あい・小川泰嗣・飯沢篤志(リコー)・田中克己(京大)
- D-008 移動履歴と場所記述を活用したサービス選定 沢坂千晶・島川博光(立命館大)
- D-009 予定と履歴を手掛りとしたコンテキストによる情報管理 ... 丸島英稔・中村絵美・楓 仁志・島川博光(立命館大)
- D-010 対象のグループ化とアクセス時間を考慮した行動パターン 藤原聡子・島川博光(立命館大)
- D-011 アクセスの重要性を考慮した行動パターンの洗練 川端伸弥・藤原聡子・島川博光(立命館大)
- D-012 履歴に基づくコンテキストの表現とオフィス・ワークへの応用 中村絵美・楓 仁志・島川博光(立命館大)
- D-013 ライフログ検索のための異種メディア統合 牛尼剛聡(九大)・渡邊豊英(名大)

[データアクセス]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5J 会場(知真館 1F TC1-113) 座長 土田 正士(日立)
- LD-003 IP-SAN を利用したセキュアなストレージアクセスにおける性能向上手法の提案と検討
 神坂紀久子(お茶の水女子大)・山口実靖(東大)・小口正人(お茶の水女子大)
- D-014 (講演取消)
- D-015 空間インデックス GBD 木の高速初期構築法 根岸幸生・川崎 洋・大沢 裕(埼玉大)
- D-016 無共有型 DBMS 向けデータ領域マッピング機能の開発 伊藤大輔・牛嶋一智(日立)
- D-017 撮影位置情報と Web 検索を用いた写真及び映像インデキシング法 ... 岩崎季世子・山澤一誠・横矢直和(奈良先端大)

- D-018 IPネットワークストレージシステムのトレース解析 ... 山口実靖(東大)・小口正人(お茶の水女子大)・喜連川 優(東大)
 D-019 圧縮アルゴリズムによる大容量データの効率的検索に関する研究 比嘉克也・長山 格(琉球大)

[特徴抽出・データマイニング]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6J会場(知真館1F TC1-113) 座長 市川 哲彦(山口大)
 D-020 特徴検知に基づくストリーム中の因果関係の監視 山原裕之・島川博光(立命館大)
 D-021 高頻度アイテムセットによる多次元なログデータ分析を支援するデータキューブ機構
 大森 匡・成瀬正英・星 守(電通大)
 D-022 カスタマーキューブを用いたコンビニECにおける購買パターンの抽出
 福江義則(富士通)・結束雅雪(NTTデータ)・津田和彦(筑波大)
 D-023 Evaluation of Parallel Algorithms for Association Rule Mining
 Viet Anh Nguyen・山崎勝弘・小柳 滋(Ritsumeikan University)
 D-024 特許文献における医学分野の因果関係抽出
 石川大介・石塚英弘・宇陀則彦(筑波大)・藤原 譲(工業所有権総合情報館)
 D-025 Eigen Co-occurrence Matrix(ECM)手法を用いた医療データにおける患者のリスク評価と特徴抽出
 小磯知之・岡 瑞起(筑波大)・加藤和彦(筑波大/JST CREST)
 D-026 レーダ観測波形による目標類別 川上かおり・田中秀俊・山本和彦(三菱)
 D-027 SVMを用いたメンバーシップ関数による多種識別 田中秀俊(三菱電機 情報総研)

[データベース応用]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6K会場(知真館1F TC1-114) 座長 宝珍 輝尚(阪府大)
 LD-004 高度コミュニティ空間のためのインタラクティブなブラウザの実装 賀来健一・富井尚志(横浜国大)
 D-028 JAXA 技術文書管理支援システムについて 田中陽子・祖父江真一・小田部昌行(宇宙航空研究開発機構)・
 生川 剛(三菱スペース・ソフトウェア)
 D-029 遺伝性疾患データベースを利用した関連遺伝子検索システムの開発
 潘 洪涛・宮崎 純(奈良先端大)・渡邊日出海(北大)・植村俊亮(奈良先端大)
 D-030 WWW 画像検索システムを用いた有害サイト URL データベースの構築手法
 中川嘉之・獅々堀正幹・小泉大地・柘植 覚・北 研二(徳島大)
 D-031 JAXA におけるエンタープライズ・アーキテクチャ活動について
 祖父江真一・仲谷 元・下村裕司(宇宙航空研究開発機構)・山上正人(デュオシステムズ)
 D-032 時間経過の中での実データと仮想データの統合 山本大輔・島川博光(立命館大)
 D-033 相関ルールを利用した時系列健康診断データの解析
 石川亮一・小尾高史・山口雅浩・大山永昭(東工大)・佐々木敏雄(バイオコミュニケーションズ)
 D-034 柔軟なシステム連携を実現するためのインタフェースマッピング手法の提案
 中辻 真・三好 優・木村辰幸(NTT)

[メタデータ]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7J会場(知真館1F TC1-113) 座長 宇陀 則彦(筑波大)
 D-035 視聴者入力情報からの時系列キーワード抽出の改善に関する検討
 大黒泰平(早大)・加藤友規・土居清之(日本テレビ放送網)・亀山 涉(早大)
 D-036 抽出メタデータと字幕データを用いたテレビ番組のウェブ化とその閲覧方式
 宮森 恒(NICT)・田中克己(NICT / 京大)
 D-037 経路式に基づく RDF データのための索引手法とその構築法
 的野晃整・天笠俊之(奈良先端大)・吉川正俊(名大)・植村俊亮(奈良先端大)
 D-038 サーバー型放送で利用するメタデータのデジタル署名方式
 西本友成・馬場秋継・石川清彦・中村晴幸・栗岡辰弥(NHK)
 D-039 検索サイトにおける入力項目と検索結果のフィールド名の対応調査
 大森敬介・中藤哲也・原 由加里・廣川佐千男(九大)
 D-040 領域分割画像に基づく言語メタデータの自動生成手法
 小泉大地・大西正裕・柘植 覚・獅々堀正幹・北 研二(徳島大)
 LD-005 文書内の人名の個人特定に関する研究 「山田さん問題」の解決手法とその評価
 松平正樹・上田俊夫・大沼宏行・洲上正睦・森田幸伯(沖電気)
 D-041 オブジェクト関連を用いたセマンティクスの定義とその利用法 楓 仁志・中村絵美・島川博光(立命館大)

[WWW]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7K会場(知真館1F TC1-114) 座長 石川 博(都立大)
 D-042 リンク集の自動生成と視覚化 瀬川 修(中部電力)・河井 淳・坂内和幸(TIS)
 D-043 Web 検索解析によるクラスタリング手法の研究 丸山謙志(東北大)・王 冠超(日立)・徳山 豪(東北大)
 D-044 Web サイト管理の効率化に向けたテンプレート適用システム 長山淳一(日本IBM)
 D-045 言語横断情報検索における Web ディレクトリを利用した訳語の曖昧性解消 木村文則(奈良先端大)・
 前田 亮(立命館大)・宮崎 純(奈良先端大)・吉川正俊(名大)・植村俊亮(奈良先端大)
 D-046 Web コンテンツマイニングによる Web ページ間の類似性判定ツール 大藪 永・小柳 滋(立命館大)
 LD-006 Automatically Collecting, Monitoring, and Mining Japanese Weblogs ... 奥村 学・南野朋之・藤木稔明・鈴木泰裕(東工大)
 D-047 閲覧履歴を用いた個人用 Web アーカイブシステム 吉川晃生・阪口哲男(筑波大)
 D-048 Web 画像の自動分類とその評価 中平浩二・上野智史・相澤清晴・渡井康行(東大)

分野 E. 自然言語・文書・ゲーム (第2分冊)

[デジタルドキュメント]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3B会場(知真館1F TC1-102) 座長 鬼塚 真 (NTT)
- E-001 2項関係に基づく概念グラフによる自然言語処理の提案 今泉克己・田原恭二(凸版印刷)
- E-002 XML電子新書システム 矢島匡人・小池勇治(電機大)・高野明彦(国立情報学研)・絹川博之(電機大)
- E-003 Webサービスを利用した総合電子文書検索システム
..... 小池勇治・矢島匡人(電機大)・高野明彦(国立情報学研)・絹川博之(電機大)
- E-004 Webページに対するRDFメタデータ付与支援ツール開発 ... 佐藤邦俊・桂田浩一・山田博文・新田恒雄(豊橋技科大)
- E-005 Web上のシラバス情報の収集とXML変換 渡辺将尚・絹川博之(電機大)・井田正明・芳鐘冬樹・野澤孝之(大学評価・学位授与機構)・喜多 一(京大)
- E-006 文書構築のためのツールとしてのProlog ... 花川賢治・波多野賢治・天笠俊之・宮崎 純・植村俊亮(奈良先端大)

[テキストマイニング・検索]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3C会場(知真館1F TC1-103) 座長 菊井玄一郎 (ATR)
- E-007 構文グラフ集合を用いたKey Semanticsマイニング
..... 森永 聡(NEC)・有村博紀(北大)・池田崇博・坂尾要祐・赤峯 享(NEC)
- E-008 情報検索システム"CoreExplorer"を用いたメーリングリスト間の関連トピック分析
..... 塚原朋哉(日立東日本ソリューションズ)・原島一郎(日立)・佐藤俊也(日立東日本ソリューションズ)
- E-009 パラグラフの抽象化による新聞記事文章の自動構造化 石塚隆男(亜細亜大)・新行内康慈(十文字女子大)・大友拓也・高嶋啓介・山本久志(都立科技大)
- E-010 ユーザにとって潜在的に重要な単語を用いた対話的文書検索 松下大輔・足立鉱史・平澤茂一(早大)
- E-011 非専門家による日本語話し言葉をもちいた医療情報検索 佐藤敏紀・上原貴夫(東京工科大)

[翻訳・対話・知識表現]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5C会場(知真館1F TC1-103) 座長 井佐原 均 (NICT)
- E-012 英語-ウイグル語機械翻訳システムの基本検討~日本語とウイグル語の文法構造の比較~
..... プラトカデル・山田剛一・絹川博之(電機大)
- E-013 日本語話者の中国語運用能力との比較による日中翻訳評価の検討 ... 胡 新輝・安田圭志・竹澤寿幸・菊井玄一郎(ATR)
- E-014 日本語-ミャンマー語機械翻訳システムJaw/Myanmarにおける述語部構造の翻訳について
..... Khaw Cing Ma Ngin・福本真哉・池田尚志(岐阜大)
- E-015 複合語翻訳による異言語で記述された書誌情報の同定 谷口裕子・難波英嗣・相沢輝昭(広島市大)
- E-016 種会話からの派生による話し言葉コーパス構築 麻野間直樹・山田節夫・古瀬 蔵・奥 雅博(NTT)
- E-017 連結定数で結合された素子群による複文の述語知識表現法とそれへの変換法 佐々木智彦・石川 勉(拓大)

[ゲーム情報学]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5D会場(知真館1F TC1-104) 座長 上原 貴夫 (東京工科大)
- E-018 非ゼロ和ゲームにおける混合戦略の強化学習・1・2・5じゃんけんを例に ... 後藤 強・伊藤 昭・寺田和憲(岐阜大)
- E-019 四マスゲームを用いたミニマックスQ学習の動力学解析 杉原慎司・伊藤 昭・寺田和憲(岐阜大)
- E-020 対戦型不完全情報ゲームにおける人の戦略モデル 水野将史・伊藤 昭(岐阜大)
- E-021 コンピュータ囲碁におけるオイラーの公式と差分計算にもとづく死活の静的解析法 ... 今野 歩・中村克彦(電機大)
- E-022 不完全情報ゲームにおけるゲーム木探索アルゴリズム 小田和友仁・上原貴夫(東京工科大)
- E-023 RoboCupサッカーエージェントに対する強化学習を用いた行動選択手法の提案 ... 笹岡久行・村木俊介(旭川高専)
- E-024 サッカー試合の状況を表すアニメーション作成 鈴木悌正・六沢一昭(千葉工大)

[分類・要約]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6C会場(知真館1F TC1-103) 座長 奥村 学 (東工大)
- E-025 単語出現頻度の偏りを考慮した文書分類 山岸英貴・松井治樹・平澤茂一(早大)
- E-026 概念ベースを用いた新聞記事の分類 若月紀之・松田全弘・渡部広一・河岡 司(同志社大)
- E-027 新聞記事コーパスの共通文を利用した重要文抽出方式 ... 松村繁男・山田剛一・絹川博之(電機大)・中川裕志(東大)
- E-028 テーマ指向性単語重み付け方式の提案と単文書要約への適用
..... 渡辺修司(電機大)・木村 誠・久光 徹(日立)・絹川博之(電機大)
- E-029 国会会議録要約文生成のための文間の類似度計算 金丸浩司・関口芳廣・西崎博光(山梨大)
- E-030 アナウンスコメントを利用したサッカー番組のメタデータ自動生成の検討
..... 山田一郎・佐野雅規・住吉英樹・柴田正啓(NHK)
- E-031 Web新聞記事と携帯端末用記事における語句言い換え表現の対応付け ... 米村良介・山田剛一・絹川博之(電機大)

[単語抽出・入力]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7C会場(知真館1F TC1-103) 座長 森 辰則 (横浜国大)
- E-032 地名辞書を利用した地名特定方式 金木雄太・山田剛一・絹川博之(電機大)・中川裕志(東大)
- E-033 ウェブを利用した関連用語収集 小原恭介・山田剛一・絹川博之(電機大)・中川裕志(東大)
- E-034 決定木の逐次学習による固有表現抽出 工藤嘉晃・相園敏子(日立)
- E-035 共起漢字ベクトルを用いた同義語抽出方式 秋良直人・森本康嗣(日立)
- E-036 漢字字画による日本語漢字入力補助方法に基づくシステムの評価実験
..... 張 小剛・高 建斌・小倉久和・小高知宏・黒岩丈介・高橋 勇(福井大)
- E-037 入力予測手法における候補の尤度評価について 鳥 日娜・荒木健治(北大)・栃内香次(北海学園大)

分野 F. 人工知能 (第 2 分冊)

[語彙・意味]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1B会場(知真館1F TC1-102) 座長 福本 淳一(立命館大)
- F-001 Webを用いた新概念の自動学習 岡田信哉・村上淳哉・渡部広一・河岡 司(同志社大)
- F-002 概念ベースにおける属性の共起情報を用いた関連度計算方式の拡張
..... 辰巳直彦・青田正宏・渡部広一・河岡 司(同志社大)
- F-003 関連度における共通閾値の存在と応用 小島一秀(大阪外語大)・渡部広一・河岡 司(同志社大)
- F-004 出現状況の包含関係を利用した語彙の階層関係の自動構築 山本英子・神崎享子・井佐原 均(NICT)
- F-005 索引語ベアを用いた多言語ソーサスの自動構築 萩原正人・小川泰弘・外山勝彦(名大)
- LF-001 事典コーパスを用いた単語階層関係の統計的解析
..... 大石康智・伊藤克巨・武田一哉(名大)・藤井 敦(筑波大)・板倉文忠(名城大)
- LF-002 深層格の推測手法における自動クラスタリングの利用
..... 渋木英潔(北海学園大)・荒木健治(北大)・桃内佳雄・栃内香次(北海学園大)

[文書分類・QA]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2B会場(知真館1F TC1-102) 座長 秋葉 友良(豊橋技科大)
- LF-003 Skew Divergenceに基づく母語話者/非母語話者文書の判別 藤井 宏・田中省作・富浦洋一(九大)
- F-006 単語の系列及び依存木を用いた評価文書の自動分類 松本翔太郎・高村大也・奥村 学(東工大)
- F-007 学習機構を用いた迷惑メールの分類 増田明宏・福本淳一(立命館大)
- F-008 リスト型QAタスクにおける複数回答の抽出 糸井川 誠・福本淳一(立命館大)
- F-009 コンテキスト型QAタスクにおける後続質問の省略補充 松田 恩・福本淳一(立命館大)
- F-010 WWWを利用した企業情報比較支援システムの開発 ... 大沼宏行・松平正樹・上田俊夫・淵上正睦・森田幸伯(沖電気)

[自然言語理解]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4B会場(知真館1F TC1-102) 座長 中野 幹生(ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン)
- F-011 対話からの獲得知識に基づくユーザ適応型自由対話システム 弦間 健・石川 勉(拓大)
- F-012 ネットワーク知識表現に基づく応答文生成 福田雅志・延澤志保・太原育夫(東理大)
- F-013 暦に基づく時間指示表現に対する意味表現形式 溝淵昭二(近畿大)・安藤一秋(香川大)
- F-014 エージェントのための空間名詞の分類とその解釈方法について ... 小山智史・齋藤 豪・徳永健伸・中嶋正之(東工大)
- F-015 知識ベースと未知語処理による算数問題の意味理解 杉本晃紀・稲葉栄美子・渡部広一・河岡 司(同志社大)
- LF-004 自動言い換え技術を利用した三つの英語学習支援システム 村田真樹・井佐原 均(NICT)
- F-016 中途失明者用オンライン日本語入力システムにおける重ね書き文字の自動切り出し 長野宏輔(豊橋技科大)・江崎修央(鳥羽商船高専)・清田公保(熊本電波高専)・水野慎士・山本真司(豊橋技科大)
- F-017 「コミュニケーション知能」に関する工学研究の一提案 松澤和光・天沼 博(神奈川大)

[知能と複雑系]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4F会場(知真館1F TC1-106) 座長 河野 浩之(南山大)
- F-018 心理的要因を考慮した人工市場の構築 南 裕亮・長尾智晴(横浜国大)
- F-019 超頻度価格時系列の特徴と予測可能性 田中美栄子・元山智弘(鳥取大)・小牧信也(東芝プロセスソフトウェア)
- F-020 ネットコミュニティにおける多主体複雑系による情報マッチングの検証
..... 二宮智彦・西尾浩一・有賀 透・板橋真司・湊 賢治(NTTコムウェア)
- LF-005 遅延時間ベース自律分散ルーティングREIの適応性評価 柏崎礼生・高井昌彰(北大)
- F-021 ACOによる系統信号制御パラメータの最適化 篠原麻菜美・東海林健二・外山 史(宇都宮大)
- F-022 自動交渉に基づく協調型イーロード・マネージメント
..... 宇山政志・光岡 円(富士通研)・門間 仁(富士通)・神田陽治(富士通研)
- F-023 制約を用いたサービス合成方式に関する検討 坂本 啓・村山隆彦・新井克也(NTT)
- F-024 Using CLIPS and C++ to Realize the Rule-based Reasoning in Computer Animation Creation
..... Jinhong Shen・Seiya Miyazaki・Terumasa Aoki・Hiroshi Yasuda(The University of Tokyo)

[エージェント(1)]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4H会場(知真館1F TC1-108) 座長 櫛 肅之(NTT)
- LF-006 AIR-NMSにおけるネットワーク運用・管理知識の管理手法
..... 羽鳥秀明・今野 将・岩谷幸雄・阿部 亨・木下哲男(東北大)
- F-025 AIR-NMSにおける状態情報エージェントの設計 ... 吉村智志・今野 将・岩谷幸雄・阿部 亨・木下哲男(東北大)
- F-026 エージェントとして構成された動的輪郭モデルの協調による領域抽出 ... 村松孝俊・阿部 亨・木下哲男(東北大)
- LF-007 検索エンジンを用いた特異なウェブページの分類 広瀬雅之・鈴木英之進(横浜国大)
- F-008 エージェント型ミドルウェアによるやわらかいネットワーク層の実装と評価 ... 菅沼拓夫・北形 元・白鳥則郎(東北大)
- F-027 (講演取消)
- F-028 エージェント間交渉によるユーザ指向型座席予約システムの提案 永松大和・能登正人(神奈川大)

[人工知能一般]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5B会場(知真館1F TC1-102) 座長 小林 正樹(山梨大)
- F-029 嗜好を考慮した感情判断システムの構築 土屋誠司・渡部広一・河岡 司(同志社大)
- LF-009 履歴記憶復深化A*探索 マルチプルアライメントへの適用 村田裕章・越野 亮(石川高専)・木村春彦(金沢大)
- F-030 能動的情報資源を用いた学術情報検索支援システムの設計 千葉 祐・阿部 亨・木下哲男(東北大)
- LF-010 随伴する発話の韻律情報に基づく動作意図の理解 櫻井晴章・岡 夏樹(京都市織大)

- LF-011 収益基準に基づく株価不正操作発見システム 下平剛志・鈴木英之進(横浜国大)
 F-032 オントロジーを利用したクラス図設計支援とモデル駆動開発への適用
 福田直樹・上野真由美(静岡大)・和泉憲明(産総研)・山口高平(慶大)

[学習]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5F会場(知真館1F TC1-106) 座長 岩沼 宏治(山梨大)
 F-033 共有メモリ型並列計算機上での強化学習の並列学習法 森 紘一郎・山名早人(早大)
 F-034 サッカーシミュレータ環境における強化学習を用いたバスの学習 高橋昌生・岡 夏樹(京都工繊大)
 F-035 マルチエージェント強化学習における行動選択手法 渡辺 潤・延澤志保・太原育夫(東理大)
 F-036 マクロオペレータを用いた強化学習結果の他環境への適用 高尾大夢・延澤志保・太原育夫(東理大)
 F-037 階層型サーバ・クライアントモデルによる並列分散遺伝的アルゴリズム 小嶋和徳・石亀昌明(岩手県大)
 F-038 POMDPs環境下での知識利用型強化学習法 植村 渉・上野敦志・辰巳昭治(阪市大)
 F-039 ヒューマノイドロボットの動作記述言語を用いた形式知表出化
 前田郁夫・奥田隆史・左合佳美・井手口哲夫(愛知県大)

[Web・データマイニング(1)]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5H会場(知真館1F TC1-108) 座長 上田 修功(NTT)
 F-040 連携品質を考慮したオントロジーに基づくWebサービスの自動連携
 福田直樹・肥塚八尋(静岡大)・和泉憲明(産総研)・山口高平(慶大)
 F-041 Webサービスにおける意思決定支援に関する研究... 金城伊智子(北大)・木下正博(北海道工大)・嘉数侑昇(北大)
 LF-012 単一の長大なデータ系列上の系列パターンの出現尺度とその逆単調性
 高野 洋(日本システムデベロップメント)・岩沼宏治・鍋島英知(山梨大)
 LF-013 事後確率構造の可視化 岩田具治・斉藤和巳・上田修功(NTT)
 LF-014 文書分類体系間の対応関係の自動抽出 金田有二・斉藤和巳・上田修功(NTT)
 LF-015 高次元データに対して頑健な文書クラスタリング手法 金田有二・上田修功(NTT)

[エージェント(2)]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6B会場(知真館1F TC1-102) 座長 松原 繁夫(NTT)
 LF-016 On-line Profit Sharingによる複数AGVの自律走行
 村田賢太・吉井伸一郎(北大)・渡辺美知子・古川正志(旭川高専)・嘉数侑昇(北大)
 F-043 マルチエージェントシステムにおける知識の均質性と取得できる情報の関係
 井上寛康(ATR)・高玉圭樹(東工大)・下原勝憲(ATR)・片井 修(京大)
 F-044 マルチエージェント型人工株式市場の評価方法についての研究 荻野慎太郎・長尾智晴(横浜国大)
 F-045 自律的な行動学習を利用した教示の意味学習 野川博司・岡 夏樹(京都工繊大)
 LF-017 グラフィック・アクセラレータによるマルチエージェント・シミュレータの実装
 赤嶺有平・遠藤聡志・山田孝治(琉球大)
 F-046 マルチエージェントシステムを用いた貨幣システムの考察 貞方健太郎・原嶋勝美・久津輪敏郎(阪工大)
 F-047 分散グラフ色塗り問題によるモバイルエージェント通信の実験的評価... 遠藤博人・能登正人・豊嶋久道(神奈川大)
 F-048 灰色分析型自律エージェント協調形成手法への一提案
 水谷晃三・小林俊裕・池本 悟・赤羽根隆広・山口大輔・永井正武(帝京大)

[Web・データマイニング(2)]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7B会場(知真館1F TC1-102) 座長 今井 倫太(慶大)
 F-049 常識判断システムを用いた知的質問生成方式 西澤 優・渡部広一・河岡 司(同志社大)
 F-050 数値データベースに対するエキスパート付き決定木の構築
 全 眞嬉(東北大)・金子法正(富士重工)・定兼邦彦(九大)・徳山 豪(東北大)
 F-051 関連度を用いた概念ベースの新属性への重み付け手法 奥村紀之・渡部広一・河岡 司(同志社大)
 F-052 情報検索対話システムにおける事例に基づく意味解釈 尾崎光芳・岡 夏樹(京都工繊大)
 F-053 データマイニングにおけるルールの興味深さ指標の評価: 髄膜炎の検査データを用いた実験
 三木大司・大崎美穂(同志社大)・北口真也・岡本和也(静岡大)・山口高平(慶大)
 F-054 時間間隔を考慮した日報からの系列パターン抽出 植野 研・櫻井茂明・折原良平(東芝)

分野 G. 音声・音楽(第2分冊)

[対話・インタフェース]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1D会場(知真館1F TC1-104) 座長 中村 哲(ATR)
 LG-001 データベース検索音声対話システムにおける履歴を考慮した検索条件の管理
 神田直之・駒谷和範・尾形哲也・奥乃 博(京大)
 G-001 同一アプリケーションを異なる端末から利用する際のMMI記述における再利用性の向上
 青木一峰・桂田浩一・山田博文・新田恒雄(豊橋技科大)
 G-002 音声文書インデキシングのためのWEB文書を利用した自動誤り訂正
 伊藤友裕・西崎博光・関口芳廣(山梨大)・中川聖一(豊橋技科大)
 G-003 キーワード抽出に基づく統計的音声発話理解 内田佳孝・嶋田和孝・峯脇さやか・遠藤 勉(九工大)
 G-004 次世代情報家電操作のための音声コマンド設計に関する主観評価実験
 木原千伶・酒井俊幸(同志社大)・伊田政樹(オムロン)・柳田益造(同志社大)

[音声・話者認識]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2D会場(知真館1F TC1-104) 座長 相川 清明(東京工科大)
- LG-002 移動ベクトルのコース/ファイン学習法にもとづく音響モデル適応 渡部晋治・中村 篤(NTT)
- LG-003 強化学習に基づくオンライン逐次環境適応による雑音下音声認識 ... 西田昌史・間宮嘉誉・堀内靖雄・市川 薫(千葉大)
- G-005 骨導音声を用いた話者識別 横本由希・森 幹男・谷口秀次・高橋謙三(福井大)
- G-006 動的計画法を用いた音声による講義ビデオシーン自動分割 隅田飛鳥・金寺 登・池端孝夫(石川高専)
- G-007 ミッシングフィーチャー理論による音源分離と混合音声認識の統合型インターフェース 山本俊一(京大)・中臺一博・辻野広司(ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン)・奥乃 博(京大)

[音声一般]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3D会場(知真館1F TC1-104) 座長 篠田 浩一(東工大)
- LG-004 狭帯域-広帯域予測モデルに基づく帯域スケラブルLSP量子化 江原宏幸・押切正浩・吉田幸司(松下電器)
- G-008 デジタル補聴器信号処理のための合成FIRフィルタの応用 上田裕市(熊本大)・加藤正人(三菱)・濱川智哉(熊本大)
- G-009 ピッチの時間変化パターンを用いた合成音声判別法 ... 荻原昭夫(阪府大)・海野 仁(警察庁)・汐崎 陽(阪府大)
- G-010 複数自己相関関数の多数決に基づいた遅延時間推定による反射音除去法 大田健紘・柳田益造(同志社大)
- G-011 音源方位ヒストグラムを用いた遅れ時間推定による音源分離 龍田成揮(筑波大)・山下純司(Hewlett Packard)・平井有三(筑波大)

[音楽情報科学(1)]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6D会場(知真館1F TC1-104) 座長 平田 圭司(NTT)
- G-012 張力による非線形性を考慮した撥弦における物理モデリングの検討 古屋勝俊・南葉宗弘(東京学芸大)
- LG-005 実世界の音楽音響信号に対するドラムスの音源同定手法を利用したドラムイコライズシステムINTER:Dの開発 吉井和佳(京大)・後藤真孝(産総研)・奥乃 博(京大)
- G-013 確率推論に基づく自動採譜システムの検討 谷 真宏・久保田 優・大下隼人・佃 卓磨・山崎篤史・北原聡志・甲藤二郎(早大)
- G-014 鼻歌入力による音楽検索のための特徴量の比較 伊藤彰則(東北大)・許 盛弼(Korea Telecom)・鈴木基之・牧野正三(東北大)
- G-015 骨導音声による歌声の評価 森 幹男・荻原慎洋・谷口秀次・高橋謙三(福井大)・佐川晋也(宇都宮大)
- G-016 ハミングからの階名と音価の推定 清水 純・丸山剛志(同志社大)・三浦雅展(龍谷大)・柳田益造(同志社大)
- LG-006 音楽聴取に関する一検討:グループと頂点の推定 橋田光代(和歌山大)・片寄晴弘(関西学院大)・野池賢二(科学技術振興機構)・保科 洋(兵庫教育大)・河原英紀(和歌山大)
- G-017 調内音としての適合性と機能的適合性に基づく調の判定 江村伯夫(同志社大)・三浦雅展(龍谷大)・柳田益造(同志社大)

[音楽情報科学(2)]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7D会場(知真館1F TC1-104) 座長 片寄 晴弘(関西学院大)
- G-018 和音進行を用いた音楽ハイライト検出の一手法と、組み込みシステムへの応用 義山真一(バイオニア)
- G-019 楽曲レコメンドシステム 児玉泰輝・我山真一・鈴木康悟・小田川 智・松下文雄・塩田岳彦(バイオニア)
- G-020 音楽におけるアノテーションとその応用 梶 克彦・長尾 確(名大)
- G-021 リズム入力による音楽検索方式「タタタタップ」 池谷直紀・服部正典・大須賀昭彦(東芝)
- G-022 ページネットワークによる即興音楽生成システム・少ない曲例からのモデル推定 藤本 悠・村田 昇(早大)
- G-023 中高年のための符頭表示PC演奏システムの評価 ... 藤本慎一郎・金 寛・奥野竜平・藤井博之・赤澤堅造(阪大)
- G-024 与えられたメロディーとコード進行に基づくギター用編曲システムの構築 丸山剛志(同志社大)・三浦雅展(龍谷大)・柳田益造(同志社大)
- G-025 ギターコード演奏における最適押弦位置決定システム 三浦雅展(龍谷大)・江村伯夫・柳田益造(同志社大)

分野 H. 生体情報科学(第2分冊)

[ニューロコンピューティング(1)]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1A会場(知真館1F TC1-101) 座長 佐藤 俊治(東北福祉大)
- LH-001 逆モデル多層神経回路のための前向き伝播信号を用いた学習スキーム ... 大濱吉紘・福村直博・宇野洋二(豊橋技科大)
- H-001 複雑な運動パターン獲得のための強化学習モデル 徳永憲市・和田安弘(長岡技科大)
- H-002 相互情報量による最適受容野数の決定 加藤哲彦・松葉育雄(千葉大)
- H-003 動的輪郭法のエネルギー解析による図地反転現象の考察 佐藤俊治(東北福祉大)・三宅章吾(東北大)
- H-004 手続きの知識を獲得する連想記憶モデル 郷古 学・下村正夫・菅谷至寛・阿曾弘具(東北大)
- H-005 単純再帰ネットワークの定量的な評価方法の検討 ... 竹谷仁志・岩村雅一・大町真一郎・下村正夫・阿曾弘具(東北大)
- H-006 リアルタイム学習に向けた誤差逆伝搬網のハードウェア化 ... 間所洋和・佐藤和人・石井雅樹(秋田県工業技術センター)

[ニューロコンピューティング(2)]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4A会場(知真館1F TC1-101) 座長 栗田多喜夫(産総研)
- H-007 SVMにおける特徴写像の学習に関する考察 和田 健・斉藤弘紀・塚原裕史・趙 晋輝(中大)
- LH-002 H2学習における新たな重み空間方程式の導出 西山 清(岩手大)
- H-008 カオス時系列予測問題に対する自己生成ニューラルネットワークのアンサンブル学習特性に関する研究 中原正貴・井上浩孝(呉高専)
- H-009 アンサンブル自己生成ニューラルネットワークの効率的なオンライン枝刈り法 井上浩孝(呉高専)・成久洋之(岡山理科大)
- H-010 複合ニューラルネットワークによる効率的なカオス時系列予測に関する研究 濱田 翼・井上浩孝(呉高専)
- H-011 3層ニューラルネットワークを用いたヘテロ連想ネットワークに於ける学習データ識別、アトラクタ検出について 八塚陽太郎(KDDI研)・彭 楊(シーイーエム)

[医用画像処理と伝送]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6A会場(知真館1F TC1-101) 座長 清水 昭伸(農工大)
- H-012 時系列情報を利用した腹部 DSA 画像の画質改善法 平塚紘一郎・白井治彦・高橋 勇・黒岩丈介・小高知宏・小倉久和(福井大)・伊藤春海・山本和高(若狭湾エネルギー研究センター)
- H-013 拡張期 Color Kinesis 画像からの心機能特徴量の抽出 嘉田昌浩・汐崎 陽(阪府大)・平野 豊・上原久和(近畿大)・増山 理(兵庫医大)
- H-014 人体の変形のモデル化によるポリウムデータの位置合わせ手法の高度化 及川梨奈・清水昭伸・小畑秀文(農工大)・織内 昇・遠藤啓吾(群馬大)
- H-015 3D-ACTIT による 3D-PET 画像に対する臓器セグメンテーションの自動構築 中野雄太・長尾智晴(横浜国大)
- H-016 胸部 X 線 CT 像における肺壁付着微小陰影の抽出と偽陽性陰影の削減 原田 実・後野晋一・水野慎士・滝沢穂高・山本真司(豊橋技科大)・松本 徹・館野之男・飯沼 武(放射線医学総研)
- H-017 階層型 3 次元可逆画像圧縮による医用画像の伝送 明上山 温(都立保健科学大)・坂本雄児(北大)・松島恭治(関西大)

[ME とバイオサイバネティクス]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7A会場(知真館1F TC1-101) 座長 尾川 浩一(法政大)
- H-018 3つのエネルギーウィンドウを用いたニューラルネットによる 2 核種分離 須沢欣士郎・尾川浩一(法大)
- H-019 少数方向の投影データを用いた心筋 SPECT - 開口と吸収の補正 小宮山英明・尾川浩一(法大)
- LH-003 FDTD 法を用いた人頭部光パルス伝搬解析 時間領域測定 of 脳機能診断性能 谷藤忠敏・大友 隆・石川拓臣・市坪公太(北見工大)
- H-020 情報伝播時間ゆらぎが多次元有向情報量に与える影響 阪田 治・神山かおる(食品総合研究所)
- H-021 心拍間隔時系列の相関次元解析による糖尿病診断指標の検討 井上知也・汐崎 陽・丸岡玄門(阪府大)・小杉圭右(大阪警察病院)・増山 理(兵庫医大)
- H-022 SSA 法により 1/f ゆらぎの影響を排除した心拍間隔時系列解析による糖尿病の診断指標の検討 大内山琢磨・汐崎 陽・丸岡玄門(阪府大)・小杉圭右(大阪警察病院)・増山 理(兵庫医大)
- H-023 視認性を考慮した自己組織化マップによる Web カラーセット予測方式の検討 納富一宏・平松明希子(神奈川工科大)・斎藤恵一(電機大)
- H-024 Web サイトの配色に基づく視認性に関する検討 平松明希子・納富一宏(神奈川工科大)・斎藤恵一(電機大)

分野 I. 画像認識・メディア理解 (第 3 分冊)

[映像インタフェース]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1M会場(知真館1F TC1-117) 座長 亀田 能成(筑波大)
- I-001 さりげなく作業支援を行う映像メディア 小阪拓也(筑波大)・中村裕一(京大)・大田友一・亀田能成(筑波大)
- I-002 画面構成の連続性による多視点映像の切替え提示における注目対象誘導 東海彰吾・橋本昌憲・長谷博行(福井大)
- I-003 タブレットを利用した自由手書きメモからの情報入力(電話応対システムへの応用) 中島健次・田中 宏・秋山勝彦・岩山尚美・石垣一司(富士通研)
- I-004 閲覧者によるオンラインビデオアノテーションとその応用 山本大介・長尾 確(名大)
- I-005 ビデオアイコンダイアグラムのための自動レイアウト手法 - 要約・再配置を可能にするための検討 - 服部 傑(筑波大)・中村裕一(京大)・大田友一(筑波大)
- I-006 Relevance Feedback 用いた個人行動記録の検索 小泉敬寛(筑波大)・中村裕一(京大)・大田友一・亀田能成(筑波大)
- I-007 映像インデキシングのための物体追跡と変化の認識 津吹陽介(筑波大)・中村裕一(京大)・大田友一(筑波大)

[ロボット・三次元]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1N会場(知真館1F TC1-118) 座長 八木 康史(阪大)
- I-008 視差解析画像を用いたステレオマッチング 井田 智・糸井清晃・小林幸雄(千葉工大)
- I-009 全方位ステレオによる環境マップ生成に関する検討 後藤 望・鈴木基之・伊藤彰則・牧野正三(東北大)
- I-010 近赤外光源を用いた格子パターン相関法による三次元物体認識の検討 吉川宣一(埼玉大)
- I-011 オプティカルフローを用いた単眼による三次元視法 - 進路外のノイズ除去に関する一考察 - 伊達 誠・広永美喜也・長江貞彦(近畿大)
- I-012 Localization of Humanoid Robot from Monocular Image Sequence using Two Large Template Matching SOE NI NI・JUN OHYA・SHUJI HASHIMOTO・KENJI SUZUKI(WASEDA UNIVERSITY)
- I-013 画像センシング情報に基づく自律移動ロボットの障害物回避に関する研究 幸喜奈月・長山 格(琉球大)

[文字 (1)]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1O会場(知真館1F TC1-119) 座長 坂野 鋭(NTT データ)
- I-014 手書き漢字文字におけるつづれの検出と回復 鈴木啓人・塚本 新・伊藤彰義(日大)
- I-015 疑似中間調表現の 2 値文字画像に対するパターン復元の一手法 嶋 好博・越智慎介・久保田裕紀・黒田 玲・関口 諒(明星大)
- I-016 骨格ベクトルによるオフライン手書き漢字の構造解析 鈴木道孝(無所属)
- I-017 オフライン手書き文字における自己相似性特徴の抽出と認識手法の提案 篠沢佳久(慶大)
- I-018 部分領域の探索による孤立文字認識 根岸和也・岩村雅一・大町真一郎・阿曾弘具(東北大)
- I-019 部分領域を用いた古文書文字列認識に関する研究 玉澤重人・中山英久・和泉勇治・加藤 寧・根元義章(東北大)
- I-020 古文書標題の一括認識における非線形正規化法 中山英久・和泉勇治・加藤 寧(東北大)・柴山 守(京大)・根元義章(東北大)

[画像認識・メディア理解優秀論文(1)]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2M会場(知真館1F TC1-117) 座長 横矢 直和(奈良先端大)
- LI-001 全方位物体検出のための複合球面鏡ステレオ 栗田尚樹・佐川立昌・越後富夫・八木康史(阪大)
- LI-002 自然特徴点を利用したマルチベースラインステレオによる全方位奥行き画像推定
..... 佐藤智和・池田 聖・横矢直和(奈良先端大)
- LI-003 カメラパラメータ推定による超解像ビデオモザイク 池谷彰彦・中島 昇(NEC)・
佐藤智和(NEC/奈良先端大)・池田 聖(奈良先端大)・神原誠之・横矢直和(NEC/奈良先端大)
- LI-004 時空間周波数の異なる画像列からの高解像度動画画像の合成 ... 渡邊清高・岩井儀雄・長原 一・谷内田正彦(阪大)
- LI-005 スポーツ映像の二段階カット検出と自動構造化 森田裕士・棕木雅之・浅田尚紀(広島市大)
- LI-006 動的イベントの分節化・学習・認識のための Hybrid Dynamical System ... 川嶋宏彰・堤 公孝・松山隆司(京大)

[物体検出領域抽出]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2N会場(知真館1F TC1-118) 座長 川西 隆仁(NTT)
- I-021 枝刈り規則の簡素化と回転状走査による高速物体検出 田口真吾・大町真一郎・阿曾弘具(東北大)
- I-022 適応的段階法を用いたスケールスペース法による領域分割 許容誤差に関する一考察
..... 松岡昌利(近畿大)・富永哲貴(所属なし)・広永美喜也・長江貞彦(近畿大)
- I-023 可変観測窓を用いた歩行者の頭部検出
..... 川瀬慎司(北大)・金 義鎮・藤井敏史(北海道情報大)・長谷山美紀・北島秀夫(北大)
- I-024 バスケットボール試合におけるボール認識法の検討
..... 西松 均(神奈川工科大)・久保山潤一(日本電産)・山内俊明・関 靖夫(神奈川工科大)
- I-025 ドローン四面体分割を用いたタンパク質構造比較 寺本やえみ・輪湖 博・甲藤二郎(早大)
- I-026 デジタルHPIV法専用計算機システム 増田信之・加山和也・杉江崇繁・伊藤智義(千葉大)・
功刀資彰(京大)・佐竹信一(東理大)・佐藤一穂(豊田自動織機)

[文字(2)]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2O会場(知真館1F TC1-119) 座長 澤木美奈子(NTT)
- I-027 多重仮説検定を用いた割書・振り分け行に対応した文字行抽出方式
..... 高橋寿一・古川直広・今泉敦博・藤尾正和・永崎 健・渡辺 成・酒匂 裕(日立)
- I-028 (講演取消)
- I-029 MPEG符号化映像からのテロップ検出方法に関する一検討 倉橋 誠(バイオニア)
- I-030 明度情報とカラー情報を用いた情景画像中からの文字列抽出 平山勝裕・大町真一郎・阿曾弘具(東北大)
- I-031 視覚障害者のエレベータ操作における筆記動作認識 望月広一・西村広光・富川武彦(神奈川工科大)
- I-032 ストローク情報と筆圧情報を利用したオンラインサイン認証 小南嘉史・西村広光・富川武彦(神奈川工科大)

[画像認識・メディア理解優秀論文(2)]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3M会場(知真館1F TC1-117) 座長 中村 裕一(京大)
- LI-007 動的シーンに対する仮想光学パターンの投影 永井悠文・向川康博・大田友一(筑波大)
- LI-008 Feature Selection By AdaBoost For SVM-Based Face Detection Duy Le(総研大)・佐藤真一(総研大/国立情報学研)
- LI-009 画像オブジェクト追跡に基づくサッカーオフサイドラインの可視化
..... 三須俊彦・小田原邦治・高橋正樹・合志清一・宮越 肇・藤田欣裕(NHK)
- LI-010 フラクタル符号のベクトル集合間類似度に基づく画像検索手法 横山貴紀・渡辺俊典・古賀久志(電通大)
- LI-011 固有ベクトルの変動を考慮した共分散行列 ... 酒井 充・米田政明(富山大)・長谷博行(福井大)・丸山 博(富山大)
- LI-012 重回帰四角形推定による水彩絵の具の2色分解法の基礎検討
..... 寺井友一(早大)・水野慎士(豊橋技科大)・岡田 稔(早大)

[トラッキング]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3N会場(知真館1F TC1-118) 座長 日浦 慎作(阪大)
- I-033 特徴ベクトルを用いた時空間エネルギー最小化型変形モデルによる動き推定 ... 倉林 有(東理大)・影井清一郎・
後藤敏行(横浜国大)・岩澤多恵(神奈川県立循環器呼吸器病センター)・井上登美夫(横浜市大)
- I-034 (講演取消)
- I-035 選手の動きに基づいたバスケットボール映像における選手の推定 田代陽介・青木由直(北大)
- I-036 色特徴に基づく指定人物追跡 先山卓朗・三浦 純・白井良明(阪大)
- I-037 ビデオ画像からの動物体の追跡 金 亨燮・原田 努・石川聖二(九工大)
- I-038 サッカー選手の追跡撮影のための複数首振りカメラの切り替え撮影法
..... ヒシャム ブシナイフ・亀田能成・向川康博・大田友一(筑波大)

[画像検索・インデキシング]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4M会場(知真館1F TC1-117) 座長 目加田慶人(中京大)
- I-039 特徴次元圧縮による長時間映像中における同一区間映像の高速検出手法
..... 野田和広(名大)・目加田慶人(中京大)・井手一郎・村瀬 洋(名大)
- I-040 縮退特徴量を用いた疑似クラスタリングによる高次元近接点探索の高速化
..... 山岸史典(東大)・片山紀生・佐藤真一・坂内正夫(国立情報学研)
- I-041 Semantic Retrieval for large-scale Video Database by Integrating Image and Text Features
..... 于 川(東大)・孟 洋・片山紀生・佐藤真一(国立情報学研)・浅野正一郎(東大)
- I-042 携帯電話を用いた花の情報検索システム
..... 原 幸司(ティエスティ)・田畑悠太郎・岩崎 慶・高木佐恵子・吉本富士市(和歌山大)
- I-043 局所平均の階層的符号化による画像の類似判定 栗田涼平・渋谷勝久・岸波建史・金井 理(北大)
- I-044 ニュース映像アーカイブの構造化に基づくキー画像の取得 孟 洋(国立情報学研)・山岸史典(東大)・
井手一郎(名大)・片山紀生・佐藤真一・坂内正夫(国立情報学研)

- I-045 映像インデキシングのための注目領域検出と言語との対応付けの検討
..... 山本治由(筑波大)・中村裕一(京大)・大田友一(筑波大)
- I-046 音響信号処理に基づくサッカー映像のインデキシング手法
..... 塩崎 崇(早大)・大平茂輝(名大)・菅田雅彰・白井克彦(早大)

[コンピュータビジョン基礎]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4N会場(知真館1F TC1-118) 座長 佐藤 洋一(東大)
- I-047 画像の局所的構造と大域的構造を利用した画像変換 小平俊輔・西原弘晃・長尾智晴(横浜国大)
- I-048 グレースケールフラクタル次元分布によるテクスチャ解析 小川真生・横田宗樹・坂東敏博(同志社大)
- I-049 照明光の変化を考慮したカテゴリカル色知覚モデル 矢田紀子・長尾智晴(横浜国大)・内川恵二(東工大)
- I-050 顔画像認識のための仮想部分空間における照明条件推定 松尾賢治・橋本真幸・小池 淳(KDDI研)
- I-051 動的輪郭モデルSnakesの分散協調による高精度化 松本倫子・吉田紀彦(埼玉大)・植崎修二(長崎大)
- I-052 視体積交差のためのシルエット分割 坂本さやか・東海林健二・外山 史(宇都宮大)
- I-053 Shape from Shadingと入力画像のアフィン変換を用いた水面の法線ベクトル推定方法の検討 ... 寺島哲平・大谷 淳(早大)

[複合現実感・キャリブレーション]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4O会場(知真館1F TC1-119) 座長 佐藤 清秀(キヤノン)
- I-054 サッカーの自由視点映像のネットワークを用いたライブ配信... 古山孝好・向川康博・亀田能成・大田友一(筑波大)
- I-055 View MorphingとVisual Hullを用いた自由視点画像生成 石川智也・山澤一誠・横矢直和(奈良先端大)
- I-056 全天球動画を用いた屋外環境の新視点画像生成 池田 聖・佐藤智和・横矢直和(奈良先端大)
- I-057 ウェアラブルカメラによる人物行動の認識と複数メディアを用いた要約表現
..... 青木茂樹(熊本電波高専)・加藤亮一・小島篤博・福永邦雄(阪府大)
- I-058 歩行装置と没入型ディスプレイを用いた移動ロボットのネットワーク遠隔操縦
..... 峠田正樹・山澤一誠・横矢直和(奈良先端大)
- I-059 視点依存を考慮した全方位画像列の圧縮手法 尾池治郎・oo thanda・川崎 洋・大澤 裕(埼玉大)
- I-060 自然特徴点によるランドマークデータベースを用いたカメラ位置・姿勢推定
..... 大江統子・佐藤智和・横矢直和(奈良先端大)
- I-061 消失点を用いた多視点カメラキャリブレーション 小島有弥・藤井俊彰・谷本正幸(名大)

[顔画像処理]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6M会場(知真館1F TC1-117) 座長 川出 雅人(オムロン)
- I-062 監視カメラ映像からの実時間顔検出手法の一検討 飯村葉子・金子賢一・小林哲則・甲藤二郎(早大)
- I-063 顔検出システムの高度化のための特徴量抽出方法の検討 額賀良平・黄 琳琳・清水昭伸・小畑秀文(農工大)
- I-064 自己組織化マップを用いた画像中からの顔領域検出手法の提案 川瀬嘉紀・長尾智晴(横浜国大)
- I-065 隠れに頑健な顔検出法 堀田一弘(電通大)
- I-066 GAとマルチウィンドウを用いた顔画像からの両眼探索 薦田大典・西村広光・富川武彦(神奈川工科大)
- I-067 非線形写像学習アルゴリズムPaLM-treeを用いた顔方向推定 ... 佐藤 哲(NICT)・和田俊和・中村恭之(和歌山大)
- I-068 表情差分マップを用いた表情認識 根岸秀行(富山大)・長谷博行(福井大)・
米田政明・酒井 充(富山大)・東海彰吾(福井大)
- I-069 Laughter and Smile Recognition From Natural Conversation Video
..... XinYue Wang・Motoyuki Suzuki・Akinori Ito・Shozo Makino(Tohoku University)

[パターン認識基礎]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6N会場(知真館1F TC1-118) 座長 鷲見 和彦(京大)
- I-070 パターンの変換群構造と類似性判断に関する実験的研究
..... 荒木正人(愛媛大)・小西敏雄(松山東雲女子大)・岡野 大・緒方秀教・天野 要(愛媛大)
- I-071 MRFモデルに基づいた人工衛星リモートセンシング画像のカテゴリ分類 ... 川口修治・山崎謙介(東京学芸大)
- I-072 手形状の面積時系列を用いた本人認証 荻原昭夫・松村博之・汐崎 陽(阪府大)
- I-073 Gait Volume: Spatio-Temporal Analysis of Walking 小原ゆう・佐川立昌・越後富夫・八木康史(阪大)
- I-074 Understanding Concurrent Activities of Human in Daily Lives by Hierarchical Interpretation of Each Body Part
..... Juanda Lokman・金子正秀(電通大)
- I-075 プロアクティブヒューマンインタフェースのためのジェスチャの早期認識に関する検討
..... 内田誠一・倉爪 亮・谷口倫一郎・長谷川 勉・迫江博昭(九大)

[ITS・歩行者計測]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6O会場(知真館1F TC1-119) 座長 呉 海元(和歌山大)
- I-076 車載カメラ映像中のランドマーク認識 高橋祐介・平田恭二(NEC)
- I-077 予測追跡処理による信号機特定判別手法の一考察 ... 菊江 寿(近畿大)・廣瀬健一(産業技術短大)・長江貞彦(近畿大)
- I-078 車載カメラ映像による一般道における他車両の検出 古谷仁志・長谷川為春(千葉工大)
- I-079 路面画像からのクラック抽出方式 田中直樹・平田仁久(神戸大)
- I-080 構造情報を用いた白線・横断歩道検出に関する検討 ... 米山昇吾・宮原景泰・岡野祐一・川又武典・岡田康裕(三菱)
- I-081 マルチレーザスキャナを用いた通行人数の自動計測 中村克行・趙 卉菁・柴崎亮介(東大)・
坂本圭司(JR東日本)・大鋸朋生(アジア航測)・鈴川尚毅(JR東日本コンサルタンツ)
- I-082 高視点撮影映像における歩行者カウントの検討
..... 目黒 徹(神奈川工科大)・曲山良祐(日本デジタル研究所)・山内俊明・関 靖夫(神奈川工科大)
- I-083 動的群集密度のリアルタイム推定に関する基礎検討 高野光雄・小林研司・三田地成幸(東京工科大)

分野J. グラフィクス・画像 (第3分冊)

[ストリーミング・伝送]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1S会場(知真館1F TC1-125) 座長 今泉 浩幸 (NHK)
- J-001 リアルタイムIP通信に適した疑似同期型マルチメディア再生方式 ... 馬場昌之・黒川弘幸・横山幸雄・小川文伸(三菱)
- J-002 地上デジタル放送携帯受信端末に対する番組配信用ストリーミング方式の検討
..... 内藤 整・小林亜令・高木幸一・小池 淳・松本修一(KDDI研)
- J-003 双方向映像通信MPEG-2ソフトウェアCODEC向き低遅延FECの一検討
..... 大西隆之・岩崎裕江・長沼次郎・八島由幸(NTT)
- J-004 双方向映像通信向け低遅延MPEG-2CODEC小型システム ... 稲森 稔・大西隆之・岩崎裕江・池田充郎・長沼次郎(NTT)
- J-005 特微量抽出方式によるIPベース映像配信サービスの自動画質監視方式
..... 杉本 修・川田亮一・小池 淳・松本修一(KDDI研)
- J-006 動画情報取得モデルの提案 児玉 明・鈴木俊哉(広島大)
- J-007 中間蓄積方式とスケラビリティ構成による複数品質動画画像データ配信方式の提案 ... 鈴木俊哉・児玉 明(広島大)

[イメージ、ペースト、レンダリング]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1T会場(知真館1F TC1-126) 座長 斎藤 隆文(農工大)
- J-008 輝度・傾き変換によるルックアップテーブル光線空間補間法の高性能化 ... 原 正憲・藤井俊彰・谷本正幸(名大)
- LJ-001 イメージフュージョンによる任意視点画像の鮮鋭化手法 久保田 彰・相澤清晴(東大)
- J-009 遠隔視線一致コミュニケーションのための実時間IBR処理 味八木 崇・山崎俊彦・相澤清晴(東大)
- J-010 合焦判定に基づく全焦点Light Field Viewer 高橋桂太・苗村 健(東大)
- LJ-002 Skin-off:2次元平面への展開による3次元ビデオ映像の表現と圧縮 ... 曽良洋介・波部 斉・Martin Boehme・松山隆司(京大)
- J-011 自由視点映像通信のための多視点符号化の一検討 ... 木全英明・北原正樹・志水信哉・上倉一人・八島由幸(NTT)
- J-012 動的に更新される背景バッファを用いた高画質多視点VoDシステムのソフトウェア実装
..... 松村篤志・川田亮一・小池 淳・松本修一(KDDI研)

[画像処理(1)]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2S会場(知真館1F TC1-125) 座長 内藤 整(KDDI研)
- J-013 アスペクト比画面の多重解像度解析システムの一検討 今井幸雄(東海大)
- J-014 自然光下における画像解析による視線入力システムの垂直方向解像度 阿部清彦・大山 実・大井尚一(電機大)
- J-015 自然光下における視線入力システムの初期キャリブレーション ... 大和田厚祐・阿部清彦・大山 実・大井尚一(電機大)
- J-016 画像フィードバックを用いた高精度ズーム率推定 赤嶺耕司・青木恭太(宇都宮大)
- J-017 CT画像の画素値選択型符号化に関する検討 橋本真幸・松尾賢治(KDDI研)・林 弘樹(NICT)・
小池 淳(KDDI研)・下野哲雄(北海道東海大)
- J-018 画像処理を利用した下水道管渠における継目検出手法の検討 林 智成・沼尾信二・張本紀行(日本工営)・
大坂昂資(東京都下水道サービス)・東郷喜一郎(東京電子工業)

[レンダリング]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2T会場(知真館1F TC1-126) 座長 斎藤 豪(東工大)
- J-019 対数輝度の非線形拡散プロセスによる照明成分と反射率の分離推定 高橋広美・小松 隆・齋藤隆弘(神奈川大)
- J-020 ハードウェアを用いた実時間描画を実現するためのBTF合成手法
..... 川崎 洋・徐 慶大・大澤 裕(埼玉大)・古川 亮(広島市大)
- J-021 カラー画像の点再配置法を用いた描画法によるスケッチ風画像の生成 南葉宗弘・長船光紘(東京学芸大)
- J-022 多重スケール分解を用いた非写実的画像生成
..... 瀬川大勝・岡部めぐみ・白倉健太郎・斎藤隆文・宮村(中村)浩子(農工大)
- J-023 高速ユークリッド距離変換に基づく一般化ポロノイ図の生成 井上光平・浦浜喜一(九大)
- LJ-003 仮想銅版画技法とそのドライポイントとエングレービングへの応用
..... 田崎大輔(早大)・水野慎士(豊橋技科大)・岡田 稔(早大)

[画像処理(2)]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3S会場(知真館1F TC1-125) 座長 相澤 清晴(東大)
- J-024 オーバーラップした分光感度を用いる1画素多色撮像方式のためのRGB原色生成 ... 小松 隆・齋藤隆弘(神奈川大)
- J-025 ベクター変換における曲線最適化アルゴリズムの一検討 河村 圭・渡辺 裕(早大)
- J-026 テレビ映像に入るパルスノイズの実時間除去方式 橋本健太郎・佐々木敬泰・大野和彦・近藤利夫(三重大)
- J-027 英文対応の書籍原稿スキャン画像の歪み補正方式 ... 篠田真希(リコーシステム開発)・荒木禎史・小島啓嗣(リコー)
- J-028 画像鮮鋭化のための連立非線形拡散法の適応的パラメータ設定 安養寺重光・小松 隆(神奈川大)・齋藤隆弘
- J-029 連立非線形拡散法による動きぼけの鮮鋭化
- 非等方性拡散と方向性ピーキングの導入 - 原田寛之・小松 隆・齋藤隆弘(神奈川大)

[CG応用]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3T会場(知真館1F TC1-126) 座長 岡田 稔(早大)
- J-030 モーションキャプチャデータからの特徴抽出による合成動作の自動生成 ... 竜門保郎・西尾孝治・小堀研一(阪工大)
- LJ-004 ヴィジュアルグリッドのための仮想会議システム ... 相楽恭宏(北大)・高井那美(北海道情報大)・高井昌彰(北大)
- J-031 立体映像におけるクロマキー合成の効果に関する研究
..... 青木輝勝(東大)・沼田秀穂・池田佳代(エクセリドテクノロジー)
- J-032 立体視における適切なテキスト表現と表現手法の拡張に関する研究
..... 沼田秀穂・池田佳代(エクセリドテクノロジー)・青木輝勝(東大)

[電子透かし]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4S会場(知真館1F TC1-125) 座長 川田 亮一 (KDDI研)
- LJ-005 MPEG画像の真正性を証明する電子透かしの方法
..... 伊藤 浩・木村智広・鈴木光義(三菱)・ト部辰一・福岡隆律(ブロード)
- J-034 デジタル放送番組に対する電子透かしによる画質劣化の定量的評価 中村晴幸(NHK)・和田 稔(三菱)・大竹 剛・真島恵吾・合志清一(NHK)・伊藤 浩・鈴木光義(三菱)
- J-033 符号化後の画質と耐性を維持する電子透かし埋込み方法の検討 和田 稔(三菱)・中村晴幸・大竹 剛・真島恵吾(NHK)・伊藤 浩・鈴木光義(三菱)・合志清一(NHK)
- J-035 色空間範囲を考慮した電子透かし埋込み方法の検討 片山 淳・中村高雄・山室雅司(NTT)
- J-036 カメラ入力画像からのリアルタイム電子透かし検出方式 中村高雄・宮武 隆・林 良一・片山 淳・山室雅司(NTT)
- J-037 ウェブレット変換と遺伝的アルゴリズムを用いた画像圧縮耐性を有する電子透かし埋込み法の開発
..... 井上大輔・吉富康成(京都府大)
- J-038 フレネル変換の距離パラメータの変化による透かし画像への攻撃 姜 錫・青木由直(北大)
- J-039 DRM技法のためのデータ埋込み技術 加藤幸親・姜 錫・青木由直(北大)

[ホログラフィ]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4T会場(知真館1F TC1-126) 座長 藤井 俊彰 (名大)
- J-040 並列システムのための専用計算チップと高精細LCDを搭載した動画ホログラフィ再生ユニット
..... 伊藤智義(千葉大)・下馬場朋禄・杉江崇繁(理研)・増田信之(千葉大)
- LJ-006 リアルタイム再生を可能にする並列型電子ホログラフィ専用計算機システム HORN-5
..... 伊藤智義・増田信之(千葉大)・下馬場朋禄(理研)
- J-041 ホログラフィック3次元画像の高倍率無歪拡大 佐藤邦弘・中崎智史・藤井健作・森本雅和(兵庫県大)
- J-042 ホログラムの情報量低減と奥行き表示 濱田裕介・佐藤邦弘・藤井健作・森本雅和(兵庫県大)
- J-043 カラー動画ホログラフィと視域・視野の拡大 杉田篤彦・藤井健作・佐藤邦弘・森本雅和(兵庫県大)
- J-044 波面記述による3次元空間情報の記録 坂本雄児(北大)

[品質評価・マルチメディア]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5S会場(知真館1F TC1-125) 座長 遠藤 真 (NTTレゾナント)
- J-045 変調画像に対する各種客観評価法に関する検討 川崎順治・宮下宗士(金沢高専)・金田将人・加藤恭子(金沢工大)・飯島泰蔵(東工大)
- LJ-007 固定型等価近似法による変調画像の評価に関する検討
..... 川崎順治(金沢高専)・北村直人・加藤恭子(金沢工大)・飯島泰蔵(東工大)
- J-046 視覚モデルにおける視点・視野の近似度からの検討
..... 川崎順治(金沢高専)・武田康佑・加藤恭子(金沢工大)・飯島泰蔵(東工大)
- J-047 人間型ソフトウェアロボットを用いたCyber Assistant Professor(CAP)の開発 伊藤悠也・松田 洋・新藤義昭(日本工大)
- J-048 JAVA言語によるオープンソース画像処理環境JIPLISの開発
..... 仲里尚士(琉球大)・比嘉永哲(日本情報システムサービス)・長山 格(琉球大)
- J-049 映像コンテンツ解析によるBGMサウンドトラックの自動生成 茂出木敏雄(大日本印刷)
- J-050 多義性を有する位相差から推定された2次元音像 真の点音源の抽出法について 霜山竜一・山崎 憲(日大)

[3Dモデリング]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5T会場(知真館1F TC1-126) 座長 高橋 成雄 (東大)
- J-051 3次元グラフィックモデルのデータ圧縮 早瀬和也・山崎俊彦・相澤清晴(東大)
- J-052 Wavelet解析に基づく曲率変化の滑らかな曲線の構成法 宇田川隆之・田代裕子・高橋時市郎・齊藤 剛(電機大)
- J-053 2値ボクセルからの境界表現モデルの生成に関する一手法 中村徳裕・西尾孝治・小堀研一(阪工大)
- J-054 Extraction of Boundary Points from 3D Scattered Points 邱 沢陽・青木由直(北大)
- J-055 映像ポストプロダクション利用のための領域分割に基づくレンジデータ補間法
..... 橋口正幸・小松 隆・齊藤隆弘(神奈川大)
- J-056 テクスチャマッピングを用いた3次元電子透かし法の提案 西村輝義・勅使河原可海(創価大)
- J-057 A Mesh Watermarking Approach using Subdivision Techniques 李 安・青木由直(Hokkaido University)

[画像符号化(1)]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6S会場(知真館1F TC1-125) 座長 高村 誠之 (NTT)
- LJ-008 拡張適応補間フィルタを用いた動き補償予測 安田豪毅・中條 健(東芝)
- J-058 新しい動き予測モード選択方式を用いた動画像符号化効率改善 軽部 勲・村上智一・鈴木芳典(日立)
- J-059 参照フレームの動きベクトルを用いたH.264 Intra/Interモード判定方法
..... 谷田隆一・清水 淳・上倉一人・八島由幸(NTT)・米原紀子(NTTソフトウェア)
- LJ-009 適応量子化によるAVC/H.264イントラフレームのフリッカ抑制 境田慎一・井口和久・合志清一・藤田欣裕(NHK)
- J-060 MPEG-4 AVCのフレーム内符号化効率検証 山田悦久・加藤嘉明・浅井光太郎(三菱)
- J-061 再探索予測信号を用いた量子化雑音低減方法の検討
..... 清水 淳・谷田隆一・上倉一人・八島由幸(NTT)・米原紀子(NTTソフトウェア)
- J-062 H.264の量子化特性に関する一検討 蝶野慶一・仙田裕三・宮本義弘(NEC)
- LJ-010 H.264/MPEG-4 AVCの重み付き動き補償における高速重み係数推定の一検討 加藤晴久・中島康之(KDDI研)

[映像検索]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6T会場(知真館1F TC1-126) 座長 内海 章 (ATR)
- J-063 番組視聴制御方式における番組代替方式の検討
..... 関 亜紀子・細野一樹・亀山 涉(早大)・宮林 聡・浦野丈治・土居清之(日本テレビ放送網)
- J-064 番組視聴制御方式における制御語彙の検討とプロトタイプの評価 細野一樹・関 亜紀子(早大)・土居清之・浦野丈治・宮林 聡(日本テレビ放送網)・亀山 涉(早大)

- J-065 MPEG-7 Based Personal Digital Photograph Library Syttem Pei-Jeng Kuo・Terumasa Aoki・Hiroshi Yasuda(東大)
 J-066 カメラ付き携帯電話を用いた MPEG-7 による電子図鑑システムの検討
 工藤大樹・関口俊一・山田悦久・西川博文・加藤嘉明(三菱電機情報技術総合研究所)
 J-067 テロップの局所的な出現確率に基づく素材映像検出手法 岩元浩太・山田昭雄(NEC)
 J-068 サッカー映像における環境に左右されない試合状況抽出手法の提案 天野幸則(早大)
 J-069 高度画像検索のための直感的インターフェース 小池真由美(エスパリエ)・青木輝勝(東大)・
 池田佳代(エクセリードテクノロジー)・伊藤 学(東大)・日高宗一郎(国立情報学研)
 J-070 映像検索のためのクエリー生成とインターフェース構築 伊藤 学(東大)・小池真由美(東大/エスパリエ)・
 池田佳代(エクセリードテクノロジー)・日高宗一郎(国立情報学研)・青木輝勝(東大)

[画像符号化 (2)]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7S 会場(知真館 1F TC1-125) 座長 渡辺 裕 (早大)
 J-071 H.264/MPEG-4 AVC インター予測フレームにおける高速符号化手法
 清水智行・高木幸一・米山暁夫・中島康之(KDDI 研)
 LJ-011 CABAC 圧縮率推定を用いた H.264 におけるレート・歪み最適化モード判定の高速化 ... 浅野 渉・古藤晋一郎(東芝)
 J-072 MPEG-4INTER 符号化における誤り伝播特性 宝蔵寺優介・木本伊彦(東洋大)
 J-073 MPEG-2 720/30P 映像伝送システム 中島靖之・大西隆之・田代 豊・長沼次郎(NTT)
 J-074 並列 MPEG-2 HDTV リアルタイムソフトウェアエンコーダ 岩崎裕江・長沼次郎(NTT)
 J-075 リフレッシュビクチャの分割送出による動画像符号化の遅延低減 ... 奥野 剛・近藤利夫・大野和彦・佐々木敬泰(三重大)
 J-076 JPEG2000 Precinct 構造による低遅延 HDTV 符号化方式 佐野雄磨(早大)・内藤 整(KDDI 研)・渡辺 裕(早大)
 J-077 (講演取消)

[動き探索・オブジェクト抽出]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7T 会場(知真館 1F TC1-126) 座長 如澤 裕尚 (NTT レゾナント)
 J-078 適応的なフィルタリングを用いた画像の性質にロバストな動き探索
 間宮靖裕・近藤利夫・大野和彦・佐々木敬泰(三重大)
 J-079 段階的探索開始位置決定による螺旋状動き探索の高速化 宮前元紀・近藤利夫・大野和彦・佐々木敬泰(三重大)
 J-080 多重 1 次元プロフィールによる高精度動き推定 小林孝弘・青木恭太(宇都宮大)
 J-081 赤外パターン投影を利用した人物追跡手法の検討
 神原大輔(ATR / 立命館大)・内海 章・桑原和宏(ATR)・山内寛紀(立命館大)
 J-082 輪郭の自己相似性を用いた被写体抽出の高速化アルゴリズム 竹島秀則・井田 孝(東芝)
 J-083 リアルタイム仮想試着のためのマッピング領域抽出の一検討 田口哲典・青木輝勝・安田 浩(東大)
 J-084 修復画像との誤差を用いた 2 値低解像度画像片の分類 山田 憲・青木恭太(宇都宮大)

分野 K. ヒューマンコミュニケーション & インタラクション (第 3 分冊)

[マルチメディア・仮想環境基礎 (1)]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1C 会場(知真館 1F TC1-103) 座長 原 雅樹 (NEC)
 K-001 C³モデルに基づいたネットコミュニティプラットフォームの提案と実装
 西尾浩一・二宮智彦・有賀 透・板橋貢司・中村長寿・湊 賢治(NTT コムウェア)
 K-002 マッチングによる C³モデルに基づくコミュニティの活性化の検討
 有賀 透・二宮智彦・西尾浩一・板橋貢司・中村長寿・湊 賢治(NTT コムウェア)
 K-003 Research on expressing method of audience in a cyber-theater ... Ying-Chen Huang・Dong-Wan Kang・Jun Ohya(早大)
 K-004 (講演取消)
 K-005 仮想空間上における位置関係がもたらす現実世界の行動への影響 宮井俊輔・吉野 孝・宗森 純(和歌山大)
 K-006 仮想環境を用いた観光支援システムにおけるユーザ適応機能について
 杜 娟・鄭 成・齋藤健司・斎藤 一・前田 隆(北海道情報大)
 K-007 Communicating People Identification in Multimedia Streams -Audiovisual Fusion Approach
 Tomasz Rutkowski(京大)・Victor Kryssanov(立命館大)・角所 考・美濃導彦(京大)
 K-008 ステレオ計測による身体揺動の解析 船富卓哉・飯山将晃・角所 考・美濃導彦(京大)

[表情認識と情報提供支援]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1E 会場(知真館 1F TC1-105) 座長 蒲池みゆき (ATR)
 K-009 blog の機能を利用した位置情報コミュニケーションシステム(第 2 報) 携帯電話への対応
 渡邊正弘・大倉典子(芝浦工大)
 K-010 個人嗜好を学習する歩行者情報提供エージェントシステム 奥 健太(奈良先端大)・内田 敬(阪市大)
 K-011 音響構造モデルの提案とスペクトル推定成分との対応 吉田秀樹・Wei Xie・藤原祥隆(北見工大)
 K-012 体験記録の特徴箇所抽出に関する性能評価 山口 仁・太田昌克・山口正泰(NTT)
 K-013 顔表面からの法線を用いた顔表情認識 伊森宏樹・東海彰吾・長谷博行(福井大)
 K-014 顔画像による本人認証システムにおける異人種の顔への適応性
 Eigenface と GaborJet による顔パターン表現法の比較 田中健一・加藤博之・赤松 茂(法大)
 K-015 曲線近似による表情部品の実時間パラメータ抽出 叶 冠峰・伊藤 昭・寺田和憲(岐阜大)

[教育システム開発]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1F 会場(知真館 1F TC1-106) 座長 中村 直人 (千葉工大)
 K-016 協調学習支援におけるアノテーションの共有と利用について
 鄭 成・杜 娟・齋藤健司・斎藤 一・前田 隆(北海道情報大)
 K-017 多様な学習情報を統合管理する学習基盤 mLMS の提案 香山瑞恵(専修大)
 K-018 リアルタイム処理コードを自動生成する遠隔制御システム 古賀雅伸・矢野健太郎(九工大)

- K-019 モデルチェックを用いたアセンブリ並行プログラミング学習支援システム 吉田英輔・角川裕次(広島大)
 K-020 ユビキタス基板構築と知能教室への応用 劉 学軍・青木由直(北大)
 K-021 Web ベーススライド同期システムにおけるゲータイを活用した支援機能の実装と評価
 田中 充・勅使河原可海(創価大)
 K-022 携帯電話を用いる電子学生証の実現方式と評価 金 幸郁・小林哲二・町田則文(日本工大)
 K-023 手数字による出席確認方式と評価 町田則文・小林哲二(日本工大)

[ユーザ支援・要求支援]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1P 会場(知真館 1F TC1-121) 座長 郷 健太郎(山梨大)
 K-024 ユビキタス環境下でのペジアンネットを利用したサービス制御方式の検討
 宮脇健三郎・榊上義彦(阪工大)・佐野睦夫(阪工大/NICT)
 K-025 視覚表現を用いたユーザー・オリエンテッドなシステム要求定義手法の提案;
 ~ユーザー指向視覚的要求定義手法"すがた"の提案~ 磯部 大(日本総研)・吉田健一・久野 靖(筑波大)
 LK-001 心象情報空間における主観的幾何学の基本的性質
 -視対象の見えの大きさの近接作用- 梶谷哲也・渡部 和(文化女子大)
 K-026 運転者の位置を反映するミラーによる安全運転の支援 田森裕邦・坂根 裕・稜川友宏・竹林洋一(静岡大)
 K-027 A study of the planning support using the floor plan database 桑川栄一・渡邊勝正(奈良先端大)
 LK-002 人体動作に対する遠隔教育システムのインタフェースによる提示方法の研究
 高内一平(近畿大)・飯田尚紀(産業技術短大)・長江貞彦(近畿大)
 K-028 視線情報を用いたレトロスペクティブインタビュー法の開発とその効果 湯澤秀人・戸崎幹夫(富士ゼロックス)

[マルチメディア・仮想環境基礎(2)]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2C 会場(知真館 1F TC1-103) 座長 荒川 佳樹(ATR)
 K-029 再帰性反射マーカと赤外線カメラを用いた位置姿勢同定システム... 中里祐介・神原誠之・横矢直和(奈良先端大)
 K-030 動画像とGPS測位データからのカメラ運動の推定 横地裕次・池田 聖・佐藤智和・横矢直和(奈良先端大)
 K-031 時系列視体積からの多関節剛体の形状と運動の同時獲得手法 飯山将晃・美濃導彦(京大)
 LK-003 協調型複合現実空間のためのアイコンタクトの復元
 ~視線認知実験と顔映像の高精細化~ 竹村雅幸・大田友一(筑波大)
 K-032 屋外環境下での広範囲における強化現実端末の自己位置・姿勢検出精度向上法の基礎的検討
 藤原裕也・大谷 淳(早大)
 K-033 色画像処理と時系列情報による人物の3次元姿勢推定に関する検討 小沼裕一・姜 東完・大谷 淳(早大)

[ヒト運動解析]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2E 会場(知真館 1F TC1-105) 座長 矢野 澄男(NHK)
 K-034 スポーツフォーム練習支援のための生体情報可視化 浦脇浩二・増田 泰・眞鍋佳嗣・千原國宏(奈良先端大)
 K-035 A Frame Work for Analysis and Synthesis of Actor's Stylistic Action Jieun Cho・Jun Ohya(University of Waseda)
 K-036 モーションキャプチャを用いたゴルフスイングコーチングシステム 櫻川直紀・西尾孝治・小堀研一(阪工大)
 LK-004 運転行動信号に含まれる個人性に関する検討
 小澤晃史・伊藤克巨・武田一哉(名大)・脇田敏裕(豊田中研)・板倉文忠(名城大)
 K-037 マルチエージェント支援による可視化感性自動計測インタフェースへの一提案
 赤羽根隆広・池本 悟・山口大輔・小林俊裕・水谷晃三・永井正武(帝京大)

[教育評価・分析手法]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2F 会場(知真館 1F TC1-106) 座長 赤倉 貴子(東京理科大)
 K-038 記号粒子蓄積型ニューロンモデルによる教育への応用の可能性 宮本和典(九州女子大)
 LK-005 読解過程検定ツールOPERATION2の評価
 小谷克則(NICT)・吉見毅彦(龍谷大)・九津見 毅・佐田いち子(シャープ)・井佐原 均(NICT)
 K-039 データマイニング手法を用いたマークシートテストの分析 橋本一成・小柳 滋(立命館大)
 K-040 学習活動別時間に基づく Web 調べ学習履歴の分析 森谷友昭・地神聡美・高橋時市郎(電機大)・
 瀬下仁志・田中明通・藤本 強・丸山美奈・鈴木英夫(NTT)
 K-041 学習活動代表値に基づく Web 調べ学習履歴の分析 地神聡美・森谷友昭・高橋時市郎(電機大)・
 瀬下仁志・田中明通・藤本 強・丸山美奈・鈴木英夫(NTT)

[コミュニティ・コミュニケーション]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2P 会場(知真館 1F TC1-121) 座長 垂水 浩幸(香川大)
 K-042 クライアント・サーバ・システムを利用した紙飛行機討論スキームの実現検討 棚橋純一(中京大)・
 岩瀬洋平(富士通中部システムズ)・大久保 隆(第1コンピュータリソース)・
 野村佳史(岡谷システム)・三宅伸昭(中京大)
 K-043 LifeLog を利用した癒しのコミュニティ空間に関する研究
 金西計英・後藤田 中・松浦健二・光原弘幸・矢野米雄(徳島大)
 K-044 Communication system by the black "prompter". Lijen Chen・大谷 淳(早大)・加藤哲也・徳永幸生(芝浦工大)
 K-045 対話型ロボットにおける連想しりとり型対話戦略実現メカニズム 佐藤 淳(奈良先端大/NICT)・
 近間正樹・上田博唯(NICT)・木戸出正継(奈良先端大/NICT)
 LK-006 動的スケジューリングによるタスク特性とポリシの変動への対応 佐藤慎也・島川博光(立命館大)

[福祉情報工学(1)]

- 9月7日(火) 13:00 - 15:00 2Q会場(知真館1F TC1-122) 座長 中山 剛(国立身体障害者リハビリテーションセンター)
- K-046 生活空間情報を伝達する非インタラクティブなコミュニケーション端末の試作 小山智史(弘前大)
- K-047 高次脳機能障害者を想定したマウストレーニングツール 福田耕大・佐藤基次・森本大資・縄手雅彦(島根大)
- K-048 高次脳機能障害者を想定したソフトウェアキーボードの性能評価 縄手雅彦・佐藤基次・森本大資(島根大)
- K-049 手ぶれ補正機能つきペイントツールにおけるマウスカーソル位置補正の効果 森本大資・縄手雅彦(島根大)
- K-050 視線入力により定形文を選択するメール操作支援システム 佐藤寛修・阿部清彦・大山 実・大井尚一(電機大)
- K-051 視線入力により制御可能なパソコンテレビ観賞システム 叶世智士・阿部清彦・大山 実・大井尚一(電機大)

[心理評価とオブジェクト]

- 9月7日(火) 15:30 - 17:30 3E会場(知真館1F TC1-105) 座長 喜多 伸一(神戸大)
- LK-007 シェッフェの対比較法を拡張した感性評価法 大島裕子・小泉孝之・辻内伸好・羽鳥裕史(同志社大)
- K-052 医薬品に関するヒヤリ・ハット事例の解析手法の検討
..... 青砥哲朗・高橋雄太・木村正臣・大倉典子(芝浦工大)・土屋文人(東京医歯大)
- K-053 オブジェクト再考 高原利生(無所属)

[e-learning]

- 9月7日(火) 15:30 - 17:30 3F会場(知真館1F TC1-106) 座長 香山 瑞恵(専修大)
- K-054 普及型数学 e-Learning システムの開発 崔 英康・渡部大志(埼玉工大)・小松川 浩(千歳科技大)
- K-055 言語運用データを使った英語教育教材の作成 岩倉隆幸・新井雅之・佐野 洋(東京外語大)
- K-056 3DCG を利用した中医学学習システムの学習ナビゲーション 韓 暎蓄・張 世海・浦野義頼・河合隆史(早大)
- LK-008 中小製造業における熟練技能者と若手技能者のコミュニケーションモデルに基づく e-Learning System の開発
..... 白沢 勉(東理大)

[映像・音響]

- 9月7日(火) 15:30 - 17:30 3P会場(知真館1F TC1-121) 座長 梅本あずさ(シャープ)
- K-057 体験記録映像を用いたユーザ行動モデル作成の検討 山城貴久・平野 靖・梶田将司・間瀬健二(名大)
- K-058 体験映像の日記インタフェース 志村将吾・平野 靖・梶田将司・間瀬健二(名大)
- K-059 ユーザ体験の時空間サンプリングによるライフログ映像のキーフレームの抽出
..... 河崎晋也・石川尊之・山崎俊彦・相澤清晴(東大)
- K-060 (講演取消)
- LK-009 リアルタイムな音響構成配信システムの開発 入場健仁・吉田秀樹・藤原祥隆・岡田信一郎(北見工大)

[福祉情報工学(2)]

- 9月7日(火) 15:30 - 17:30 3Q会場(知真館1F TC1-122) 座長 坂井 忠裕(NHK)
- K-061 視覚障害者のための歩行経路学習支援方法に関する一提案 清水孝哲(東海大)
- K-062 教育環境における視覚障害学生のための RFID の使用 村井保之・浅岡 卓(神奈川工大)・
巽 久行・宮川正弘(筑波技術短大)・徳増眞司(神奈川工大)
- K-063 教育環境における視覚障害学生のためのバーコードの使用 浅岡 卓・村井保之(神奈川工大)・
巽 久行・宮川正弘(筑波技術短大)・徳増眞司(神奈川工大)
- K-064 日本語テキストから手話表記テキストへの機械翻訳の試み
..... 松本忠博・田中伸明・吉田鑑地・谷口真代・池田尚志(岐阜大)
- K-065 聴覚障害者支援を目的とした報知音の振動呈示の有効性について - 健聴者による検討 -
..... 織田修平(NTT)・水島昌英(国際通信基礎技術研究所)・古家賢一・羽田陽一・片岡章俊(NTT)
- K-066 ハイブリッド型人工内耳シミュレータにおける刺激マッピング機能とその評価 佐藤正幸(熊本技術短大)・
西口直宏・坂田 聡(熊本大)・渡邊 亮(熊本技術短大)・上田裕市(熊本大)

[マルチメディア・仮想環境基礎(3)]

- 9月8日(水) 9:00 - 12:00 4C会場(知真館1F TC1-103) 座長 中川 雅通(松下電器)
- K-067 偏光パララックスリア方式 3D ディスプレイ 阪本邦夫・木村理恵子・高木美和(島根大)
- K-068 複数台 PC を用いた没入型ディスプレイのためのソフトウェア環境に関する一検討
..... 石田善彦・橋本直己・佐藤 誠(東工大)
- K-069 仮想弾性物体の運動の操作手法に関する検討 渡辺隆史・大谷 淳(早大)
- K-070 3次元 VR による機関室訓練シミュレータと開発環境に関する考察 長尾和彦(弓削商船高専)
- K-071 対話型動的 3DCG システム 柳瀬龍郎・松田大樹・田村信介(福井大)
- K-072 全方位画像を用いた会議記録・閲覧システム 大江展弘・平野 靖・梶田将司・間瀬健二(名大)
- K-073 サッカー映像における近景切替の要因分析
..... 加賀明久・白井克彦・菅田雅彰(早大)・村上 真(東洋大)・大平茂輝(名大)
- LK-010 話者の注目喚起行動による机上作業映像の自動編集 - ユーザインタフェースの側面からの評価 -
..... 尾関基行(筑波大)・中村裕一(京大)・大田友一(筑波大)

[認識応用インタフェース]

- 9月8日(水) 9:00 - 12:00 4P会場(知真館1F TC1-121) 座長 竹林 洋一(静岡大)
- K-074 視線情報を利用したテレビ用ユーザインタフェースの開発
..... 小峯一晃・澤島康仁・後藤 淳・小早川 健・浦谷則好(NHK)
- K-075 頭部の自由な動きを許容する視線測定システム 澤島康仁・小峯一晃・浦谷則好(NHK)
- K-076 眼球運動を用いた ALS 患者用コミュニケーションシステム
..... 片田貴学・田中幹也・水上嘉樹・若佐裕治(山口大)・岡野 仁(広島県立東部工業技術センター)
- K-077 TV Program Rating System Using Facial Expressions
..... Uwe Kowalik・Terumasa Aoki・Hiroshi Yasuda(University of Tokyo)

- K-078 モーションキャプチャデータを用いた多様な歩行動作制御手法の検討
..... 板野貴之・森野岳宏・長船大毅・菅田雅彰(早大)・村上 真(東洋大)・白井克彦(早大)
- LK-011 パースペクティブウィンドウにおける鑑賞者の位置検出システム 津田貴生・深谷崇史・柴田正啓(NHK)
- K-079 情報家電操作のためのマルチモーダル・インタフェースの可能性
..... 酒井俊幸・木原千怜(同志社大)・伊田政樹(オムロン)・柳田益造(同志社大)
- K-080 1次元タッチセンサを用いたジェスチャ認識の検討 川又武典・岡田康裕(三菱)

[福祉情報工学(3)]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4Q会場(知真館1F TC1-122) 座長 河井 良浩(産総研)
- LK-012 広報へのユニバーサル・ユビキタスアクセスの実現 立花健二・荒木雅弘(京都工繊大)
- LK-013 白色背景における文字色の視認性検討
..... 齋藤大輔・斎藤恵一(電機大)・納富一宏(神奈川工科大)・斎藤正男(電機大)
- LK-014 三次元音響VRエデュテイメントシステムによる視覚障害者の空間認識能訓練効果
..... 大内 誠・岩谷幸雄・鈴木陽一(東北大)・棟方哲弥(国立特殊総合研究所)
- K-081 能動的把握を補助する視覚補償機器 采 泰臣・碓川友宏・坂根 裕・竹林洋一(静岡大)
- K-082 ユビキタスサービスを目指す手頃な情報保障の実現に関する実践的検討 ... 碓川友宏(静岡大)・岡本 明(筑波技術短大)
- K-083 点訳機能を有する講演原稿受付システムによる手頃な点字資料作成方式の検討 ... 安念克洋・碓川友宏(静岡大)・
岡本 明(筑波技術短大)・河井良浩(産総研)・坂根 裕・竹林洋一(静岡大)
- K-084 プレゼンテーション画面の手頃な手元配信方式の検討 ... 采 泰臣・安念克洋・碓川友宏・坂根 裕・竹林洋一(静岡大)
- K-085 プレゼンツールのノート機能を利用した手頃な字幕提示システムの検討
..... 坂根 裕・山本 剛・碓川友宏・竹林洋一(静岡大)

[センサ・アクチュエータ応用インタフェース]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5P会場(知真館1F TC1-121) 座長 福本 雅朗(NTTドコモ)
- K-086 超音波を利用した手書き用電子ペン 関口英紀・浜 壮一・藤井 彰(富士通研)
- LK-015 小型平面スピーカを用いた複合現実感聴覚ディスプレイの開発 渋谷亮輔(東北大)・石田泰久(秋田大)・
岩谷幸雄(東北大)・坂田真人(秋田大)・鈴木陽一(東北大)
- LK-016 感覚特性に基づいた反力と振動による流れ場の可触化 ... 小俣昌樹・石原雅巳・Misa Grace Kwok・今宮淳美(山梨大)
- K-087 Fundamentals of RFID and its Application Analysis in Smoky Area Yasmin Rubaiyat・小池公二(早大)・
青木義満(芝浦工大)・大谷 淳(早大)・高木幹雄(芝浦工大)
- K-088 演舞者のパフォーマンスをアシストするIT楽器の開発 ... 青木直史(北大)・棚橋 真・岸本英一(シーワーク)・
桑野晃希・安田星季・岩越睦郎(北海道立工業試験場)
- K-089 The Research of the Ubiquitous Interface Using Acceleration Sensor ... 張 紅芳(北大)・棚橋 真(シーワーク)・青木由直(北大)
- LK-017 Behind Touch 2:視覚障害者のための触覚・音声による携帯電話インタフェース
..... 平岡茂夫(福岡工大)・宮本一伸(アイム)・富松 潔(九大)・高橋 広(柳川リハビリテーション病院)

[ヒューマンコミュニケーション(1)]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6F会場(知真館1F TC1-106) 座長 青木 義満(芝浦工大)
- LK-018 音声の韻律的特徴が人の態度や行動に与える影響 藪田洋平・竹内勇剛(静岡大)・鈴木紀子・片桐恭弘(ATR)
- K-090 漫画的似顔絵における顔特徴の強調に関する考察 吉澤勇気・張 慧漣・青木由直(北大)
- K-091 話題構造の可視化による医師・患者コミュニケーション支援手法 神山祐一・平野 靖・
梶田将司・間瀬健二(名大)・勝山貴美子(阪府看護大)・山内一信(名大)
- K-092 トポロジカルなシステム論の試み-人とモノを貫くデザインの方法論にむけて-
..... 下川信祐(ATR)・新上和正(ヴィジィー)
- K-093 メッセージ圧縮表現での圧縮による理解度への影響 小田桐良一(園田学園女子大)
- K-094 ヒューマノイドを用いた遠隔作業指示 西平樹広・日浦慎作・佐藤宏介(阪大)
- K-095 実用性と親和性を融合するロボットインタフェース-模倣行動による親和性の検討-
..... 山本大介・土井美和子・松日崇信人(東芝)・上田博唯(NICT)・木戸出正継(奈良先端大)

[視覚化・検索]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6P会場(知真館1F TC1-121) 座長 小池 英樹(電通大)
- LK-019 グラフ上の動画作成を可能にする動画記述言語と動画生成エンジンの設計および実現
..... 佐々木敏晃・片山喜章・高橋直久(名工大)
- K-096 利用者にぎわい情報可視化システム World Wide Navi 宮原伸二・安部伸治・大久保雅且・外村佳伸(NTT)
- LK-020 人間の空間記憶特性に基づく略地図生成システム
..... Misa Grace Kwok(山梨大)・土屋良貴(YSK e-com)・今宮淳美(山梨大)
- K-097 ブロック線図を用いたダイナミックシステムのモデル化・シミュレーションツール ... 古賀雅伸・筒井勇介(九工大)
- K-098 ダイナミック携帯ブリクラ帖 棚橋純一・奥村太志(中京大)
- K-099 ユーザの背景情報を利用した検索ワード推論に基づく多義語対応の情報検索手法の提案 ... 稲毛光一・勅使河原可海(創価大)
- LK-021 有用性評価のためのウェブページ構造の特徴分析法 蓬萊一朗・岩谷幸雄・阿部 亨・木下哲男(東北大)

[ヒューマンコミュニケーション(2)]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7F会場(知真館1F TC1-106) 座長 竹内 勇剛(静岡大)
- K-100 A study on the context information for supporting the advanced knowledge videoconference
..... Thitiporn Lertrudachakul・青木輝勝・安田 浩(東大)
- K-101 身体的ビデオコミュニケーションにおける合成対話配置の官能評価 石井 裕(神戸大)・渡辺富夫(岡山県大)
- K-102 A Study of Intelligent nonverbal communications System on the INTERNET Cyberspace ... 張 慧漣・青木由直(北大)
- K-103 ハンブルク記号を用いた3DCG手話辞書の検討 大石和男・糸井清晃・小林幸雄(千葉工大)
- K-104 灰色分析を適用した学習マップと学習経路提示則によるWeb教育への一提案
..... 小林俊裕・水谷晃三・山口大輔・池本 悟・赤羽根隆広・永井正武(帝京大)

[GUI]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7P会場(知真館1F TC1-121) 座長 田村 弘昭(富士通研)
- K-105 操作レンズ型デバイスのソフトウェア処理系の検討 山口 巧・岡本高幸・島村和典(高知工科大)
- K-106 A File Selector Based on Bayesian Network Wei Xie・Hideki Yoshida・Yoshitaka Fujiwara(北見工大)
- K-107 キー配置を利用した位置指示方式の開発 星 善光・斎藤正男(電機大)
- K-108 電子文書に対する手書きアノテーションの付せん表示 大賀 暁・仙田修司・旭 敏之(NEC)
- K-109 携帯電話リモコンによるポインティング制御の実現 渡邊岳彦・牛木一成・中村 誠・西田真啓・湊 賢治(NTTコムウェア)
- K-110 グラフで設計仕様を与えることができる制御系設計支援ツール 古賀雅伸・森 智宏(九工大)

分野L. インターネット(第4分冊)

[グリッドとP2P技術]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2K会場(知真館1F TC1-114) 座長 中山 雅哉(東大)
- L-001 グリッド技術によるポリシーベースのクラスター間リソース融通 崎山伸夫・吉田英樹・木村哲郎(東芝)
- L-002 Designated Confirmer Proxy signature を適用したGRID環境におけるセキュリティ手法の提案・評価 猪俣敦夫(科学技術振興機構)・大山義人(北大)・岡本 健・岡本栄司(筑波大)
- L-003 グリッドへのWebアプリケーション実装について 薄田昌広(関西電力)
- L-004 適応型階層構造を形成するピアツーピアGridシステム 佐藤琢也・吉田紀彦(埼玉大)
- LL-001 適応型ピアツーピアシステムにおける動的検索誘導 ... 佐藤 崇(埼玉大)・内田良隆(NTTドコモ)・吉田紀彦(埼玉大)
- L-005 P2P-based Self-coordination of CDN Surrogates Merdan Atajanov・Chenyu Pan・吉田紀彦(埼玉大)
- L-006 遺伝的アルゴリズムのためのグローバルコンピューティング機構に関する研究 山本将蔵・新井浩志(千葉工大)

[SPAM対策とネットワーク管理]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2L会場(知真館1F TC1-115) 座長 上原哲太郎(京大)
- LL-002 発信者詐称 spam メールに起因するエラーメール集中への対策手法 山井成良(岡山大)・繁田展史(三菱)・岡山聖彦・宮下卓也(岡山大)・丸山 伸・中村素典(京大)
- L-007 経路情報を用いたベイズスパムフィルタ作成に関する検討 山崎 仁・白川正知・古川泰男(豊橋技科大)
- L-008 多数サーバ環境におけるサービスレベル向上技術の実装 高本良史・爲重貴志・宇都宮直樹(日立)・三林弘和(日立超LSIシステムズ)
- L-009 バイオメトリクス認証を用いたManaged VLAN サービス 吉井英樹・明石正則・村上 誠・山口英子・芦萱吉喜(日本テレコム)
- L-010 パーソナル用途向けインターネットVPNの自動設定方式 堀 賢治・吉原貴仁・堀内浩規(KDDI研)
- L-011 ネットワークにおけるCell Wall(細胞壁)モデルの提案 吉村真弥・奥野 拓(北大)
- LL-003 SNMPを用いた汎用プリント枚数取得システム 榎田秀夫・齋藤明紀・中宮広揮・増澤利光(阪大)

[エージェントと分散システム構築]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3L会場(知真館1F TC1-115) 座長 榎田 秀夫(阪大)
- L-012 モバイルスレッドとタプル空間を用いた随伴エージェントシステム 澤田行弘・吉田紀彦(埼玉大)
- L-013 移動エージェントを用いた負荷分散システム 古木靖啓・菅谷至寛・阿曾弘具(東北大)
- LL-004 Webサービスを適用した遠隔可視化システムの実現 高垣 元・長尾光悦・奥野 拓・大谷 真(北大)
- LL-005 Design of Adaptive Network against Flash Crowds Chenyu Pan・Merdan Atajanov(埼玉大)・Toshihiko Shimokawa(九州産業大)・Norihiko Yoshida(埼玉大)
- L-014 大災害時安否確認用IVR音声自動応答システムの開発 趙 キョクヒョウ(早大)・程 洪(グロースジャパン)・浦野義頼(早大)
- L-015 A Knowledge-Based File Allocation Method for Real-Time Environments Akiko Nakaniwa(Kansai University)・Wesley W. Chu(UCLA)・Hiroyuki Ebara・Hiromi Okada(Kansai University)

[XMLとWebサービス]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4E会場(知真館1F TC1-105) 座長 奥乃 博(京大)
- L-016 XML技術の情報化施工への応用 西垣重臣・杉浦仁志(キック)・高村禎二(高知工科大)・小倉 弘・羽鳥佳二(日立建機)
- LL-006 ProxyにおけるXML処理プラグイン呼出し方式 井口圭一・小山和也・細野 繁・藤田 悟(NEC)
- L-017 XMLを使った相互交流型電子地図システムの開発 門倉大輔(イー・アンド・アイシステム)・梅山直樹・高村禎二(高知工科大)
- L-018 検索エンジンからのメタ情報創出に関する研究 池辺正典・田中成典・中村健二・吉田 均(関西大)
- L-019 WebサービスにおけるBtoCのためのレーティングサービスについて 南 智彦・宮崎収兄(千葉工大)
- L-020 RSSの存在に依存せず新設/更新された情報を即座に収集する分散Web検索システムの提案 豊田正隆・山崎賢悟・勅使河原可海(創価大)
- L-021 リモートポートレットの検索方式の研究 伊藤真澄・奥野 拓・大谷 真(北大)
- L-022 更新頻度に応じた地域WWWページの動的更新調査方法 山内慎祐・白澤秀斗・白川正知・古川泰男(豊橋技科大)

[経路制御とネットワーク性能]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4L会場(知真館1F TC1-115) 座長 阪田 史郎(千葉大)
- L-023 アドホックネットワークにおける適応型経路制御の設計 田中健介・吉田紀彦(埼玉大)
- L-024 リンクステート型ルーティングプロトコルの拡張による自律的トラフィック制御の実現 辰巳真一郎・山崎 仁・白川正知・古川泰男(豊橋技科大)
- L-025 インターネット回線下での"SRFS on Ether"の性能測定 大川博文・藤田直行(宇宙航空研究開発機構)
- L-026 Webサービス機能を搭載した組込み機器のためのアクセス管理方式 炭崎竜平・井上勝行・阿部一裕・荒井兼秀・遠藤義雄(三菱)

- L-027 無線ネットワークにおける MPLS ベース高信頼通信方式の提案 柏木岳彦・柳生智彦・地引昌弘(NEC)
 L-028 エッジルータにおける DDoS 防御機能配備法に関する一検討 吉田順一・片山 勝・山田博希(NTT)

[QoS とトラフィック解析]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5L 会場(知真館 1F TC1-115) 座長 寺田 松昭(農工大)
 L-029 アプリケーションから見たネットワーク遅延とネットワーク帯域の関係 大山義仁(北大)・猪俣敦夫(科学技術振興機構)
 L-030 経路帯域測定に基づくストリーム配送品質推定法の評価 小松義幸・島村和典(高知工科大)
 L-031 Ethernet 上における SIP を用いた簡易伝送容量割当方式の提案と実装 井上敬介・戸倉信之(オプトウェーブ研)
 L-032 低遅延映像通信に向けた FEC 中継方式に関する一検討 大西隆之・池田充郎・長沼次郎・八島由幸(NTT)
 L-033 自律的帯域制御のための通信管理システムの設計と実装 白澤秀斗・白川正知・古川泰男(豊橋技科大)
 L-034 トレンド除去変動解析法による IP トラフィック長期記憶性の自己組織化解析 馬杉正男(NTT)
 LL-007 イベントに基づく BGP トラフィックの解析 福田健介・廣津登志夫・明石 修・菅原俊治(NTT)
 LL-008 ローソク足チャートを用いた TCP トラフィックの表示法 清水 奨・福田健介・廣津登志夫・菅原俊治(NTT)・後藤滋樹(早大)

分野 M. ネットワーク・モバイルコンピューティング(第4分冊)

[グループウェア]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1J 会場(知真館 1F TC1-113) 座長 関 良明(NTT)
 M-001 マルチエージェントシミュレータを用いたコンテンツ配信網における流通モデルの評価 山崎重行・奥田隆史(愛知県大)
 M-002 利用者の利便性を考慮した匿名権利譲渡方式の提案 廣田啓一・山本隆二・萬本正信・山室雅司(NTT)
 M-003 PeerToPeer をもちいたナレッジマネジメントシステム 大塚雅史・佐藤敏紀(東京工科大)
 M-004 画面共有機能を持つ買い物支援グループウェアの開発と適用 宗森 純・兼安敦子・吉野 孝(和歌山大)
 M-005 協調型マルチメディア会議録システムの重要度に着目した閲覧インターフェースの開発 平島大志郎・田中 充・勅使河原可海(創価大)
 M-006 P2P を用いたマルチユーザー Web 作成と編集支援システムの開発 Abdul Manan Mazwir Bin・早川栄一(拓大)
 M-007 生体情報に基づく会議状態推定 心拍変動共鳴現象と会議参加者による主観評価値の比較 細田真道・中山 彰・小林 稔・岩城 敏(NTT)
 M-008 WWW ページ履歴を使用したグループサーベイスシステム 仲條友子・早川栄一(拓大)

[ネットワークアプリケーション]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1L 会場(知真館 1F TC1-115) 座長 西山 智(YRP)
 M-009 XML 文書に適合する RELAX NG スキーマの自動生成実験 稲葉健治(日立 INS ソフトウェア)・野口健一郎(神奈川大)
 M-010 インターネットを利用した大規模ソフトウェアのバージョンアップ方式に関する検討 栗原まり子・清原良三・渡辺 拓・古嶋寛之・橘高大造(三菱)
 M-011 (講演取消)
 M-012 マッチングエンジンの分散配置による個人嗜好に合わせたコンテンツ自動配信システムの実現 中村 誠・牛木一成・渡邊岳彦・西田真啓・湊 賢治(NTT コムウェア)
 M-013 デジタル放送におけるリアルタイムユーザ支援手法の提案 桐村昌行・清水直樹・齋藤正史(三菱)
 M-014 JPEG2000 スケーラブル配信を用いた映像監視システムの検討 出原優一・上野幾朗・横里純一・小川文伸(三菱)
 M-015 Effect of Quality Control on Adaptive Distributed Source Coding for Multi-view Images Mehrdad Panahpour Tehrani・Michael Droese・Toshiaki Fujii・Masayuki Tanimoto(Nagoya University)
 M-016 チャンネル間相関を用いた多チャンネル信号の可逆圧縮符号化 鎌本 優(東大)・守谷健弘(NTT/東大)・西本卓也・嵯峨山茂樹(東大)

[センシング]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1U 会場(知真館 1F TC1-127) 座長 福本 雅朗(NTT ドコモ)
 M-017 加速度センサを用いた手の動きの認識 菅野 剛・姜 錫・青木由直(北大)
 M-018 IC カードを用いたモバイル情報サービスシステムの提案 三科雄介・佐藤暁子・本林正裕・及川正規(日立)
 M-019 Proxy-based privacy protection for RFID system Toshiharu Sugiyama・Hiroaki Hagino・Kenichi Yamazaki(NTT ドコモ)
 M-020 無線情報端末における蓄積伝播型情報流通方式を用いたセンシング情報流通モデル 福田郁美・籠田将慶・備瀬竜馬(大日本印刷)
 M-021 センサネットワークのためのオンデマンドアドレス割当方式の実装と評価 茂木信二・吉原貴仁・堀内浩規(KDDI 研)
 M-022 クラスタリングプロトコルの最適化を図るクラスタ内処理機構 首藤幸司(立命館大)・ランバツェン ゲウエテ(JST)・西尾信彦(立命館大)
 M-023 仮想センサにより実空間情報を管理するフレームワークの設計と実装 田坂和之(KDDI 研)・川喜田佑介(慶大)・和泉順子(奈良先端大)・羽田久一(慶大)・堀内浩規(KDDI 研)・砂原秀樹(奈良先端大)

[モバイル通信]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1V 会場(知真館 1F TC1-128) 座長 山本 幹(阪大)
 M-024 次世代モバイル通信における ALL-IP 網での帯域割り当て方式の評価 阿部伸俊・勅使河原可海(創価大)
 M-025 プライベート IP アドレスにより独立に管理されたモバイル IP ネットワーク間のグローバルローミング方式 辻野康一郎・加藤聡彦・伊藤秀一(電通大)・横田英俊・井戸上 彰(KDDI 研)
 M-026 ハンドオフ/伝送誤り/バックボーンの輻輳を考慮したモバイル IP のための TCP 通信高速化手法 海老原 成・桑川一也・加藤聡彦・伊藤秀一(電通大)
 M-027 地理情報を含むアドレスを利用した Mobile IPv6 高速ハンドオフ手法の提案 久保 健・横田英俊・井戸上 彰(KDDI 研)

- M-028 番組録画予約情報を利用した携帯電話への広告配信の実現
..... 西田真啓・牛木一成・渡邊岳彦・中村 誠・湊 賢治 (NTTコムウェア)
- M-029 Web 高速化技術のキャッシュ量削減方式 石丸 大・庄野篤志・佐藤英昭 (東芝)
- M-030 複合現実感手法によるネットワークシミュレータの電波状況反映機構
..... 竹田和弘 (立命館大)・滝本栄二 (ATR)・Gaute Lambertsen (JST)・西尾信彦 (立命館大)

[コンテキストウェアネス]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4V 会場 (知真館 1F TC1-128) 座長 愛川 知宏 (NTT)
- M-031 ボランタリーな情報共有掲示板の活性化のために必要な要因についての考察
- 電子掲示板システム「IS-Board」の分析を通して - 篠沢佳久 (慶大)・植竹朋文 (専修大)
- M-032 プレゼンス情報を利用したコミュニケーション支援システムの提案 大屋篤史・勝間田 仁 (日本工大)
- M-033 位置情報とユーザの嗜好に基づく情報提供システムの設計と実装 間瀬哲也・中山泰一 (電通大)
- M-034 ユーザプロフィールを用いた情報公開のサービスモデルの提案 山崎賢悟・田中 充・勅使河原可海 (創価大)
- M-035 利用者間に構築したネットワークを利用する分散型 URL フィルタの提案 ... 大井恵太・林 憲亨・向垣内岳弥 (NTT)
- M-036 IRC におけるグループコミュニケーションの規模調査とその傾向の分析 井出和典・武田正之・松澤智史 (東理大)
- M-037 添付ファイル付きメーリングリストの解析 岡田陽平・片岡 亨・金田重朗・芳賀博英 (同志社大)
- M-038 コミュニティ支援機能を有する地域活性ポータルサイトの構成法に関する研究
- コミュニティ制御機能の実現に関する一考察 - ... 羽賀弘典・大高祐一・水田 豊・藤本 洋・武内 惇・金子正人 (日大)

[アドホックネットワーク]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6E 会場 (知真館 1F TC1-105) 座長 阪田 史郎 (千葉大)
- M-039 アドホックネットワークにおける双方向リンクを優先したルーティングプロトコルの接続性向上
..... 草野光寿・松山 実・安井浩之 (武蔵工大)
- M-040 MANET 上での島モデル GA を用いた経路制御のための一手法 高島栄一・村田佳洋 (奈良先端大)・
柴田直樹 (滋賀大)・安本慶一・伊藤 実 (奈良先端大)
- M-041 高密度アドホックネットワークにおける端末位置に応じた経路確立の効率化に関する検討
..... 野一色裕人・横田英俊・井戸上 彰 (KDDI 研)
- M-042 端末の移動を考慮した OLSR の性能評価 近藤 毅・加藤聡彦・伊藤秀一 (電通大)
- M-043 モバイル IP による AODV アドホックネットワークとインターネットの相互接続方式に対する制御オーバーヘッドの評価
..... 有本俊礼・加藤聡彦・伊藤秀一 (電通大)
- M-044 A Method for Selfish Node Detection and Avoidance in Wireless Ad Hoc Networks
..... Antoine Bourlon・Bing Zhang・Oyunchimeg Shagdar (ATR)
- M-045 無線通信ネットワークにおける位相拡散時分割通信タイミング制御
..... 関山浩介・久保祐樹 (福井大)・福永 茂・伊達正晃 (沖電気)

[ユビキタスコンピューティング]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6L 会場 (知真館 1F TC1-115) 座長 堀内 浩規 (KDDI 研)
- M-046 Web サービス技術を実装した情報家電プラットフォームの作成実験
..... 阿部 巧 (シグマアイテック)・野口健一郎 (神奈川大)
- M-047 エンドユーザが容易に動作規定可能なユビキタスサービス連携フレームワーク
..... 岩田哲弥・大石哲矢・武本充治・島本憲夫 (NTT)
- M-048 スケジュール情報を用いたコンテキストの生成と提供をする機構 横井一輝・西尾信彦 (立命館大)
- M-049 KNOPPIX Linux における MAS を用いたマルチサービス提供環境構築への一提案
..... 池本 悟・水谷晃三・赤羽根隆広・小林俊裕・山口大輔・永井正武 (帝京大)
- M-050 UPnP エミュレータとテストの実装 吉原貴仁・堀内浩規 (KDDI 研)
- M-051 管理主体の異なるサービス群を安全に連携可能にする機構 榎堀 優・谷川善紀・西尾信彦 (立命館大)
- M-052 ユビキタスパーソナルエージェントによるドライブプラン推薦システムの開発
..... 岡本雄三・長 健太・服部正典・大須賀昭彦 (東芝)
- M-053 家庭内ユビキタス環境における探し物サービスに関する検討
..... 藤井哲也・上田博唯 (NICT)・美濃導彦 (京大 / NICT)

[モバイルアプリケーション]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6Q 会場 (知真館 1F TC1-122) 座長 國頭 吾郎 (NTT ドコモ)
- M-054 infoMirror: 携帯電話と連携する鏡型情報アプライアンス 宮奥健人・東野 豪・外村佳伸 (NTT)
- M-055 潜伏型情報配信方式における嗜好情報管理の提案 羽藤淳平・佐々木幹郎・齋藤正史 (三菱)
- M-056 携帯電話での既存リモコンコード学習の実現 ... 牛木一成・渡邊岳彦・中村 誠・西田真啓・湊 賢治 (NTTコムウェア)
- M-057 モバイル環境におけるサービスナビゲーションのためのユーザコンテキストモデルに関する研究
..... 岡峰 正・磯田佳徳・倉掛正治 (社 NTT ドコモ)
- M-058 観光のためのパーソナルナビゲーションシステム P-Tour の携帯端末上への実装と評価 永田宗伸・白石貴之・
村田佳洋 (奈良先端大)・柴田直樹 (滋賀大)・安本慶一・伊藤 実 (奈良先端大)
- M-059 モバイル端末を用いた情報ナビゲーションと評価法に関する検討
..... 工藤 淳・岡崎哲夫・小澤正徳・佐久間幸平 (北海道工大)
- M-060 (講演取消)
- M-061 迅速なアプリケーション開発のための DB 非依存ミドルウェア構築 若山史郎 (東芝)

[データ保護とシステムセキュリティ]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6V会場(知真館1F TC1-128) 座長 西垣 正勝(静岡大)
- M-062 耐タンパプロセスにおけるプロセス切り替え方式 春木洋美・橋本幹生・川端 健(東芝)
- M-063 カーネル内の不正プログラムを検出するシステムの設計 花田智洋・多田好克(電通大)
- M-064 医療分野における個人情報保護に対応したアクセス制御方法の提案 丸山 剛・鈴木裕之(東工大)・喜多 一(医療情報システム開発センター)・小尾高史・谷内田益義・山口雅浩・大山永昭(東工大)
- M-065 階層型セキュアデータベースの提案とプロトタイプシステムの実装 山崎修司・宮西洋太郎・高橋 修(はこだて未来大)
- M-066 電子文書の訂正・流通を考慮した部分完全性保証技術の提案 吉岡孝司・武仲正彦(富士通研)
- M-067 安全なアドホック情報共有のための動的ACL設定システム 森田陽一郎・中江政行・小川隆一(NEC)
- M-068 スケジュールとGPS情報を利用した認証方法の検討 長谷容子・青木輝勝・安田 浩(東大)
- M-069 アドホックネットワークにおけるセキュアな通信方法の提案 山口健輔・中山雅哉(東大)

[アドホックネットワークとITS]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7E会場(知真館1F TC1-105) 座長 久保田浩司(NTT)
- M-070 モバイルルータのための異種通信メディアの逆多重方式の性能評価 磯村 学・今井尚樹・吉原貴仁・堀内浩規(KDDI研)
- M-071 (講演取消)
- M-072 高スループットのための電力制御アドホックルーティング 柚 信吾・西島康之・小野真和・桧垣博章(電機大)
- M-073 場所ごとに認識アルゴリズムを適応させる位置情報機構 松井 実・西尾信彦(立命館大)
- M-074 移動端末のためのトポロジ変化に強いクラスタリング手法 羅 勇・天笠俊之・波多野賢治・宮崎 純・植村俊亮(奈良先端大)
- M-075 消防活動のためのアドホックネットワークを指向したマルチキャストルーティングプロトコルに関する一検討 加藤聡彦(電通大)・高梨健一(消防研究所)・伊藤秀一(電通大)・浦野義頼(早大)

[ネットワークプロトコル]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7Q会場(知真館1F TC1-122) 座長 串田 高明(日本IBM)
- M-076 フォワード・バックワード複合型WDM波長予約プロトコル 加村 誠・高須晴久・角田 隆・桧垣博章(電機大)
- M-077 ネットワーク構成変更に対応したWDM波長選択手法 柚 信吾・高須晴久・加村 誠・桧垣博章(電機大)
- M-078 ホームネットワークのためのアプリケーションフレームワークの提案 早川裕志・佐藤健哉(同志社大)
- M-079 IEEE1394のホームネットワークへの適応:問題点とその解決案 高木厚伸・佐藤健哉(同志社大)
- M-080 マルチパスにおけるTCP Spoofingの検証 柳生理子・齋藤正史(三菱)
- M-081 XMLを用いたWebコンテンツ共有のためのP2Pプロトコルの提案と実装 永谷真吾・植崎修二(長崎大)・吉田紀彦(埼玉大)
- M-082 P2P環境でのネットワークゲーム向け負荷分散機構とその評価 山本真也・村田佳洋・安本慶一・伊藤 実(奈良先端大)
- M-083 SAMLを利用したWebサービスの認証方式の検討 中尾 一(日立システムアンドサービス)・野口健一郎(神奈川大)・門脇吉彦(eSEC)

[ネットワークセキュリティ]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7V会場(知真館1F TC1-128) 座長 宇田 隆哉(東京工科大)
- M-084 サービスを秘匿するTCPコネクション確立方式の設計 梅澤健太郎・高橋俊成・鬼頭利之(東芝)
- M-085 ユーザのネットワーク環境に対応したホスト・ネットワーク連携型シグネチャの作成手法の提案 田辺光昭・勅使河原可海(創価大)
- M-086 鍵の自動取得機構を装備したIPsec通信のモニタリングシステムの実装 中村元彦・寺田真敏・千葉雄司・矢田健一・土居範久(中大)
- M-087 ふるまいに基づくサーバ攻撃防御方式 中江政行・小川隆一(NEC)
- M-088 バッファオーバーフロー発生要因の特定方法 岩村 誠・富士 仁(NTT)
- M-089 通信ネットワーク利用放送における映像暗号鍵管理方法の提案 小尾高史・鈴木裕之・谷内田益義・山口雅浩・大山永昭(東工大)
- M-090 2者間暗号通信における鍵交換の計算コスト・通信コスト削減 榎木康二・費田里詩(早大)・梅澤克之(日立)・平澤茂一(早大)
- M-091 個人間認証方式を用いたセキュリティ手法とそのメールへの適用 須貝雅之・鈴木 優・川越恭二(立命館大)

分野N. 教育・人文科学(第4分冊)

[人文科学とコンピュータ]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1G会場(知真館1F TC1-107) 座長 村上 晴美(阪市大)
- N-001 ドキュメント共有・翻訳機能をもった電子会議システムの日中間への適用 丸野善治・重信智宏・吉野 孝・宗森 純(和歌山大)
- N-002 日中間のコラボレーションを支援する絵文字付き翻訳チャットシステム 尾崎裕史・重信智宏・吉野 孝・宗森 純(和歌山大)
- LN-001 異文化コラボレーションにおける共有ホワイトボードの効果 大野純佳・重信智宏・吉野 孝・宗森 純(和歌山大)
- N-003 シームレスな知識創造スパイラルを支援する多次元情報流通グループウェアの開発 由井園隆也・榎野晶文(島根大)・重信智宏・吉野 孝・宗森 純(和歌山大)
- N-004 科目分類支援システムの改善とその応用 宮崎和光・井田正明・芳鐘冬樹・野澤孝之(大学評価・学位授与機構)・喜多 一(京大)
- LN-002 ロシア語タグ付きコーパスの作成 成定久美子・佐野 洋(東京外語大)
- N-005 コーパスを利用したスペイン語後置修飾句の分析の試み 須藤武文・佐野 洋(東京外語大)
- N-006 遺物の形状計測のための点群の解析及び支援手法 松本道和・井村誠孝・安室喜弘・真鍋佳嗣・千原國宏(奈良先端大)

[ソフトウェア/プログラミング教育(1)]

- 9月7日(火) 13:00 ~ 15:00 2G会場(知真館1F TC1-107) 座長 竹田 尚彦(愛知教育大)
- N-007 コード依存関係に基づくプログラミング作法のチュータリング 上野敦子・島川博光(立命館大)
- N-008 プログラミング教育におけるペア学習の試み 寺川佳代子(常磐会学園大)・喜多 一(京大)
- LN-003 プログラミング教育における個人の理解度に応じた学習順序の決定 田口 浩・島川博光(立命館大)
- LN-004 SIEMによるプログラミング教育の客観的評価 土肥紳一・宮川 治・今野紀子(電機大)
- LN-005 グループワーク支援システムを用いた実践的ソフトウェア工学教育 ... 松浦佐江子・青沼俊介・吉田明広(芝浦工大)
- N-009 システムソフトウェア教育支援環境「港」におけるOS可視化コンポーネントの開発
..... 大角圭吾・小久保政樹・西野洋介・早川栄一(拓大)

[ソフトウェア/プログラミング教育(2)]

- 9月7日(火) 15:30 ~ 17:30 3G会場(知真館1F TC1-107) 座長 高岡 詠子(千歳科技大)
- N-010 プログラミング演習問題の技術要素に基づく理解度の把握 小柳順一・島川博光(立命館大)
- N-011 プログラミング演習の総合支援システムの概要 内藤広志(阪工大)
- N-012 プログラミング演習を対象としたナレッジ・マネジメントの提案 南野謙一・阿部昭博・渡邊慶和(岩手県大)
- N-013 (講演取消)
- N-014 計算機アーキテクチャ理解支援システム 棚橋純一・鈴木裕也(中京大)
- LN-006 TCP/IP学習のための可視化シミュレータの研究 立岩佑一郎・安田孝美・横井茂樹(名大)

[教育システム]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4G会場(知真館1F TC1-107) 座長 中平 勝子(長岡科技大)
- N-015 eラーニング用個人向けカリキュラムの自動生成方法の一提案 石川雄太郎・大原茂之(東海大)
- N-016 リメディアル教育向けの個別学習指導型e-Learningシステムの実証開発
..... 渡邊文子・山川広人・小松川 浩・今井順一(千歳科技大)・大河内佳浩(北海道札幌稲雲高等学校)
- N-017 映像ストリーミングを用いた学習支援情報システムに関する検討 曾我聰起(Hokkaido Bunkyo University)・
塩谷浩之・杉岡一郎(Muroran Institute of Technology)
- N-018 (講演取消)
- N-019 大学における演習・実験管理支援システムの開発 百井美由紀・早川栄一(拓大)
- N-020 相関係数による事前・事後テスト特性平面と難易度・学習時間特性平面の分類 池 金華・坂本康治(日本工大)
- N-021 自然言語表現に基づく学生アンケート分析システム 酒井哲也(東芝)・石田 崇(早大)・
後藤正幸(武蔵工大)・平澤茂一(早大)

[授業管理・支援]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5G会場(知真館1F TC1-107) 座長 金子 敬一(農工大)
- N-022 携帯電話を用いた授業管理システムの検討及び実装
..... 松村健児(読売新聞社)・黒岩丈介・高橋 勇・小高知宏・小倉久和(福井大)
- LN-007 Javaプログラミング演習向け課題レポート提出・管理機能を付加した授業支援システム
..... 熱田智士・松浦佐江子(芝浦工大)
- N-023 操作前後の画面と操作方法を自動表示できるソフトウェア操作説明支援ツールの提案と試作
..... 坂東宏和(福岡工大)・大郎洋子(農工大)・澤田伸一(東京成徳短大)
- N-024 セルフラーニング授業におけるエージェントキャラクタによる学習支援 渡辺博芳・水柿 恵(帝京大)
- N-025 KNOPPIXによるセキュアなComputer Based Testingの実践 千葉大作・大橋拓朗・丹 英之・
上原光晶・松元絹佳(アルファシステムズ)・須崎有康・飯島賢吾・八木豊志樹(産総研)
- N-026 フラッシュメモリから起動するKNOPPIX 小菅貴彦・丸山 亮(日本電子専門学校)

[教育環境・社会]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6G会場(知真館1F TC1-107) 座長 井出 明(大阪経法大/GLOCOM)
- N-027 OPEにおけるマルチデスクトップインストールの手法 桐山和彦(鳥羽商船高専)・
山本喜一(アルファオメガ)・原 元司(松江高専)・白濱成希(北九州高専)・
本間啓道(奈良高専)・岡田 正(津山高専)・白石啓一(詫間電波高専)
- N-028 教育用オープンプラットフォーム(OPE)開発の経緯と現状 原 元司(松江高専)・桐山和彦(鳥羽商船高専)・
山本喜一(アルファオメガ)・白濱成希(北九州高専)・本間啓道(奈良高専)・
岡田 正(津山高専)・白石啓一(詫間電波高専)
- N-029 シラバスデータベースの構築と利用
..... 井田正明・野澤孝之・芳鐘冬樹・宮崎和光(大学評価・学位授与機構)・喜多 一(京大)
- N-030 学生からのフィードバックに基づくデジタル教材の改良 松浦 葵・島川博光(立命館大)
- LN-008 ユビキタス環境における権利管理システムの適用範囲とプライバシー保護との相関問題
..... 児玉晴男(メディア教育開発センター)
- N-031 対抗要件としてのRFID 井出 明(大阪経法大/GLOCOM)
- N-032 PDF文書中の数式情報抽出に関する研究 松島一平・古賀雅伸(九工大)

[各種教育とコンピュータ]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7G会場(知真館1F TC1-107) 座長 北上 始(広島市大)
- N-033 幼児教育における情報技術活用を課題としたPBLの実践-「デジタル紙芝居」の制作と保育実践-
..... 新谷公朗(常磐会短大/同志社大)・井上 明(甲南大)・
平野真紀・植田 明(常磐会短大)・金田重郎(同志社大)・宮田保史(常磐会短大)
- N-034 Java3Dを利用した音響工学教材の開発 山岸大樹・須田宇宙・三井田惇郎(千葉工大)
- N-035 (講演取消)
- N-036 「総合的学習の時間」におけるカリキュラム提供システム-SCOPES- ... 吉正健太郎・上野山 智・高田秀志(京大)
- N-037 文型パターン解析を用いた日本語e-learningコンテンツ管理システムの構築 ... 山本 樹・芝野耕司(東京外語大)

分野O. 情報システム (第4分冊)

[環境と情報システム]

- 9月7日(火) 9:00 ~ 12:00 1R会場(知真館1F TC1-124) 座長 辻 秀一(東海大)
- O-001 学習コンテンツの蓄積・流通・利用システムの一形態 児玉晴男(メディア教育開発センター)
- O-002 NewsMLを用いたイベント情報のワンストップサービス化
..... 永井智子・佐野嘉紀・小林 聡(同志社大)・井上 明(甲南大)・金田重郎(同志社大)
- O-003 沖縄県地区におけるモバイルハザードマップシステムの研究 宮内祐二・宮城大輔・長山 格(琉球大)
- O-004 移動体通信ネットワークによる災害安全支援システムに関する研究 宮城大輔・宮内祐二・長山 格(琉球大)
- O-005 企業間トレーサビリティシステムの提案 太田延之・小林雄一・谷口洋司(日立)
- O-006 コミュニティ活性化を支援するブローカレス型トラスト制御方式 山田真史・星合隆成・木村正二(NTT)
- O-007 実ITシステム開発・導入に基づくPBL(Problem Based Learning)
..... 金田重郎(同志社大)・井上 明(甲南大)・新谷公朗(常磐会短大)
- O-008 シングルサインオン実現方法に関する考察 菊地克朗(日立)

[情報システムと評価]

- 9月8日(水) 9:00 ~ 12:00 4R会場(知真館1F TC1-124) 座長 片岡 信弘(電通大)
- O-009 システム思考を用いた情報化促進策に関する考察 笹平敏昭(アドバンスクリエイト)・金田重郎(同志社大)
- LO-001 子育て支援を目指した「e-子育てNETシステム」の提案
..... 笹田慶二郎(同志社大)・新谷公朗(常磐会短大)・金田重郎(同志社大)
- LO-002 プロセスシミュレーションモデルによる料金所渋滞分析 伊藤照明・平本知之(徳島大)
- O-010 JAXAにおけるフローティングライセンス導入の有効性について ... 小林 悟(宇宙航空研究開発機構情報化推進部)
- O-011 qn24b: N-queensの解を計算するベンチマークプログラム ... 吉瀬謙二・片桐孝洋・本多弘樹・弓場敏嗣(電通大)
- LO-003 低コストなJavaプログラムの生産量計測 五味 弘・小川浩司・鈴木 剛(沖ソフトウェア)
- O-012 実行可能なモデルによるWebシステム設計手法とその評価 ... 上西 司・北島聡史・中村幸幸・小泉寿男(電機大)
- O-013 マルチメディア資料検索/管理システムの再構築とその評価
..... 児山享弘・坂本龍太・植木泰博・冬木正彦・荒川雅裕(関西大)

[情報共有と知識獲得支援]

- 9月8日(水) 15:00 ~ 17:30 5R会場(知真館1F TC1-124) 座長 関 良明(NTT)
- O-014 JAXAにおける全社共有ファイルサーバシステムの構築と今後の展望について
..... 植田泰士・久留真治・成松健一・祖父江真一(宇宙航空研究開発機構)
- O-015 複数システムを統合する開発プロセスナビゲータ 原島一郎・岩原光太郎・土井敬司(日立)
- O-016 サポートセンタにおけるオペレータの業務スキル自動推定とシミュレーション
..... 山中英樹・柳瀬隆史・難波 功(富士通研)
- O-017 情報の整理に焦点をあてたフォーラムシステム 田中秀樹・伊藤 篤・真野博子・小川泰嗣(リコー)
- O-018 サムネイル配置情報からのRDF及びRDFスキーマ抽出方式の提案 飯塚京士・向垣内岳弥・村山隆彦(NTT)
- O-019 学習者の性格と行動パターンの分析と教育支援手法の一検討 若原俊彦(福岡工大)

[ネットワークと情報システム]

- 9月9日(木) 9:00 ~ 12:00 6R会場(知真館1F TC1-124) 座長 刀川 眞(NTTデータ)
- O-020 複数ディスプレイ環境でのWebブラウジング実現方式の提案 佐々木幹郎・羽藤淳平(三菱)
- O-021 セキュリティ機能の設計手法とその支援ツールの実装 鬼頭利之・秋山浩一郎(東芝)・
小島健司(東芝ソリューション)・梅澤健太郎(東芝)
- O-022 Webサイト訪問者の分類を行うアクセス解析ツール 橋間智博(兵庫県大)
- O-023 DDoS検出のためのトラフィック分析方法
..... 方 孝燦・羅 重燦(韓国電子通信研究院)・金 美嬪(Ewha Wamans University)
- O-024 (講演取消)
- O-025 n-gramモデルを用いた日本語スパムフィルタの設計及び構築 朝居宏明・水野勝教・伊藤 雅(愛知工大)
- O-026 新聞記事作成へのモバイル技術の適用 3G携帯電話を用いた新聞記事の新しい編集スタイル
..... 佐野嘉紀・村田隆二(同志社大)・井上 明(甲南大)・金田重郎(同志社大)
- O-027 (講演取消)

[情報システムの構築]

- 9月9日(木) 13:00 ~ 16:00 7R会場(知真館1F TC1-124) 座長 金田 重郎(同志社大)
- O-028 視覚次元互動システム:対話的な展示支援システムに関する提案
..... 恩田 淳・奥 智行・Pei-Yi Chiu・横井真紀・長 幾朗・大谷 淳(早大)
- O-029 実践的運用を目指した授業支援システムの開発 大河原麗偉・内木哲也(埼玉大)
- O-030 RELAX NGによるUBLスキーマライブラリの開発 衣川勇樹・内藤広志(阪工大)
- O-031 金融商品の柔軟な変更を支援するオブジェクトモデルの設計 山田仁志夫・難波康晴・小野俊之(日立)
- O-032 実時間制御システムのための設計モデルとその実現 小山恭平・島川博光(立命館大)
- O-033 気象観測者側からの観測装置について 茶木平哲哉(気象庁稚内地方気象台高層課)
- LO-004 組み込みプロセッサを使ったIAMS対応情報端末の開発 篠原 隆・佐藤利光・網島健次・三嶋英俊(三菱)・
川口 靖(NTTコミュニケーションズ)・柏木千里(ACCESS)